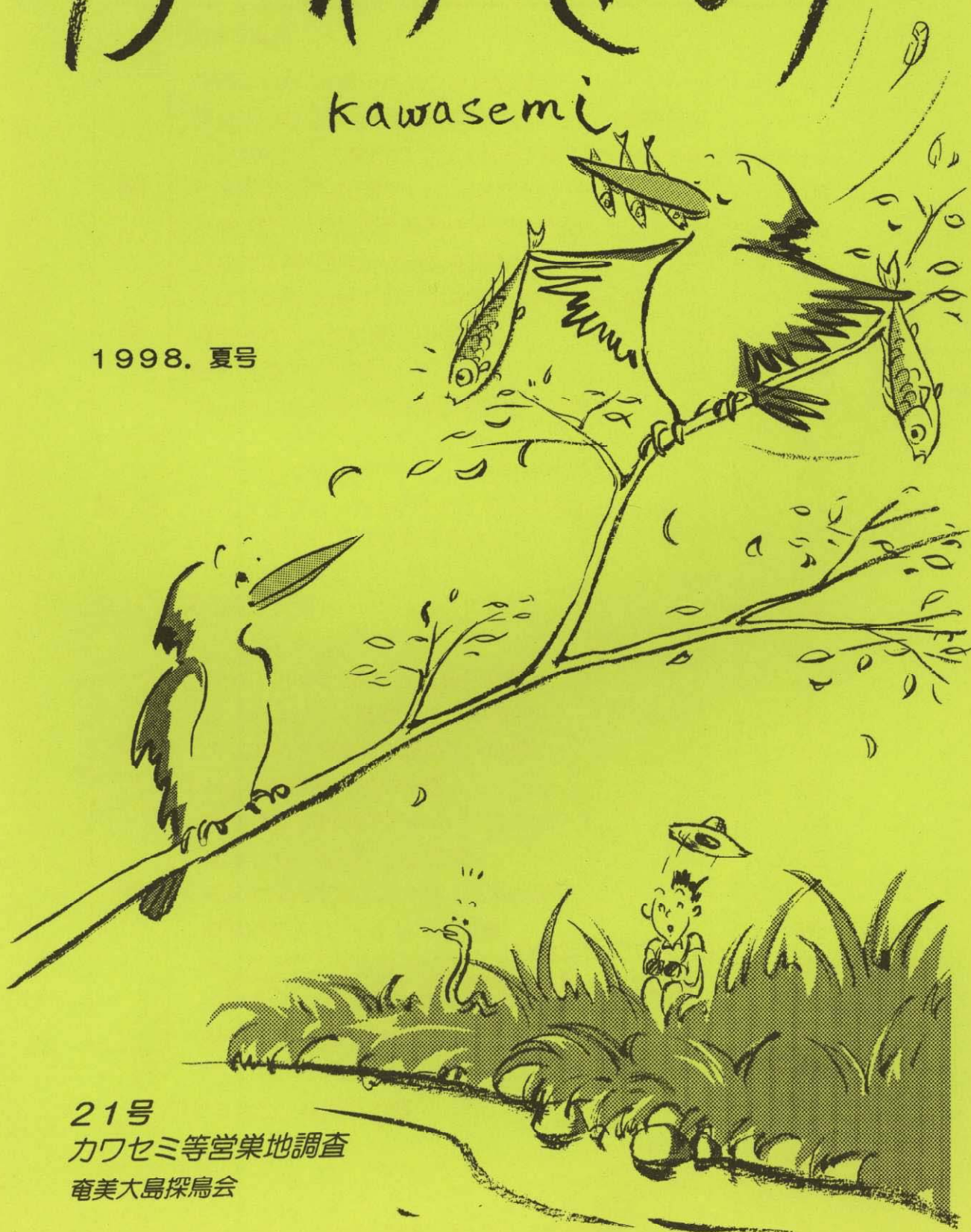


# かわせみ

kawasemi

1998. 夏号



21号

カワセミ等営巣地調査

奄美大島探鳥会

八王子カワセミ会は  
浅川周辺の野鳥を観察する市民グループです





## CONTENTS

### 浅川周辺の風景

調 査	平成10年 冬鳥一斉カウント結果	・・・ 4
	平成10年 浅川流域野鳥繁殖状況メッシュ調査結果	・・・ 10
	ハクセキレイの集団ねぐら (1997年7月~1998年6月)	・・・ 16
	ヒメアマツバメの動向 (1998年1月~6月)	・・・ 18
	平成10年 カルガモ繁殖状況調査結果	・・・ 19
	平成10年 オオルリ他夏鳥調査結果	・・・ 22
	平成10年 浅川のカワセミ等営巣地調査結果	・・・ 26
	高尾山カウント結果 (1997年)	・・・ 36
	谷地川カウント結果 (1997年)	・・・ 39
	城山川上流・河川改修地区の野鳥 (その2)	・・・ 40
鳥 信	(主として1997年1月~6月までのもの)	・・・ 42
	(カイツブリ・カルガモ他の繁殖観察記録)	・・・ 51
	(ハシボソガラスの繁殖観察記録)	・・・ 54
ニュースクリップ	・・・ 56	
通 信	カッコウは減ったか? (粕谷和夫)	・・・ 60
	ツグミは減ってなかった (粕谷和夫)	・・・ 62
	アサギマダラ驚異の渡り (大関豊)	・・・ 63
	探鳥会の記録 (門口一雄)	・・・ 64
	奄美大島探鳥会を担当して (鈴木章七)	・・・ 74
	奄美大島探鳥会 (佐伯直寛)	・・・ 82
	奄美大島探鳥語呂あわせ (青木繁昌)	・・・ 85
	安曇野だより No.8 (大関豊)	・・・ 86
	楽しかった白馬山麓探鳥会 (鈴木章七)	・・・ 87
	年々減って行く自然 (小助川千恵子)	・・・ 92
探鳥日誌 (京都深泥池) (阿江範彦)	・・・ 93	

カワセミ会の主な調査範囲



CONTENTS

# 浅川周辺の風景

01 . . . . . 栗原 登志子 (1998年1月～1998年5月) 浅川周辺の風景

16 . . . . . (1998年1月～1998年5月) 浅川周辺の風景

81 . . . . . (1998年1月～1998年5月) 浅川周辺の風景

開



08 . . . . . (栗原 登志子) 浅川周辺の風景

17 . . . . . (栗原 登志子) 浅川周辺の風景

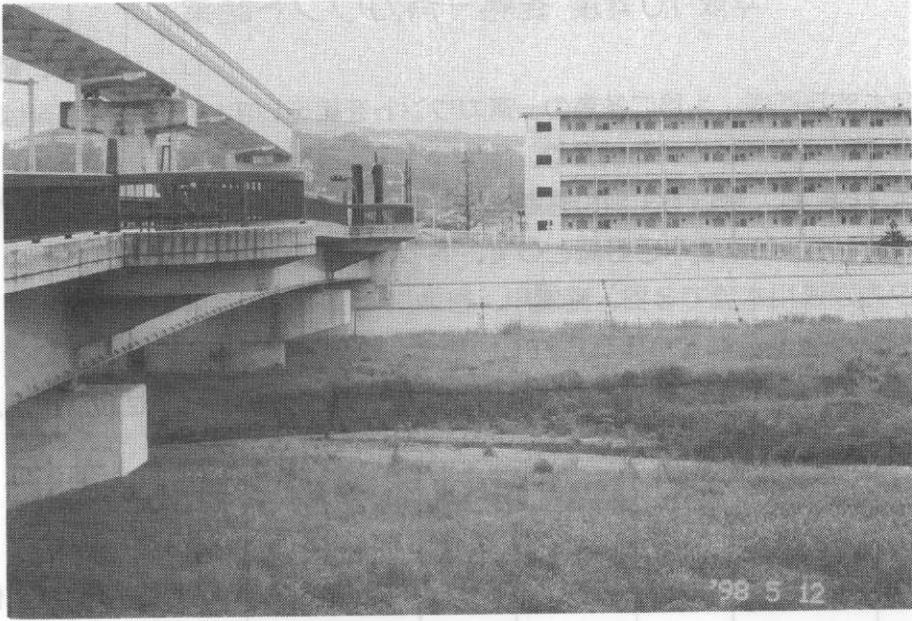
29 . . . . . (栗原 登志子) 浅川周辺の風景

目にも止まらぬ速さで巣穴から飛び出てくるカワセミ (本文P28)

1998.5.16 / 浅川松枝橋下流 (撮影: 栗原 勝)

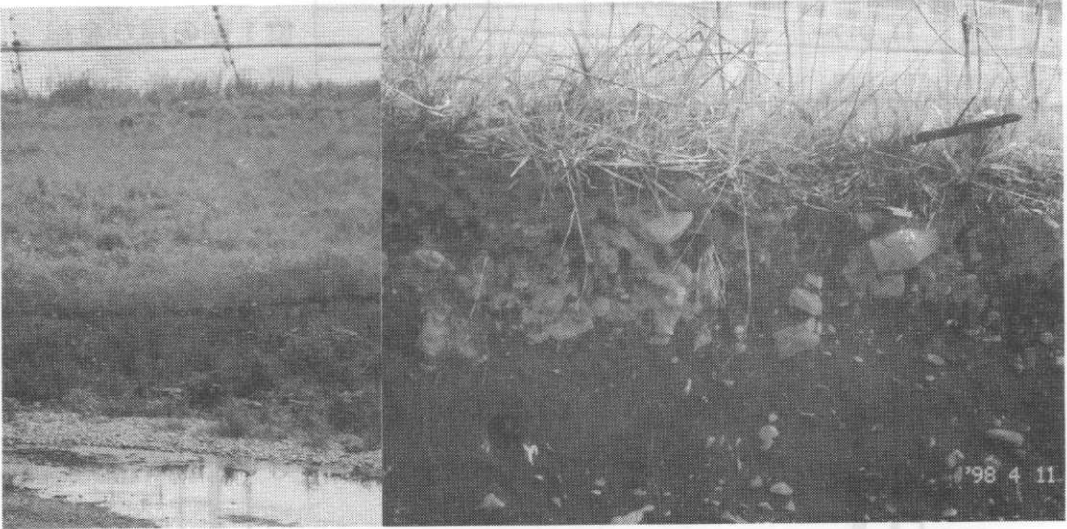
栗原 登志子 (1998年1月～1998年5月) 浅川周辺の風景





（1-図）お堀のト  
、式じうのほろの  
土内66種の内全

41	—	—	28	12,852	1982
40	—	—	80	13,227	1983
40	—	—	89	12,787	1984



パーで巣穴掘りを観察、その後放棄された（本文P29）  
新井橋下流（撮影：小塩 菊子）

## 平成 10 年度 冬鳥一斉カウント結果

阿江 範彦

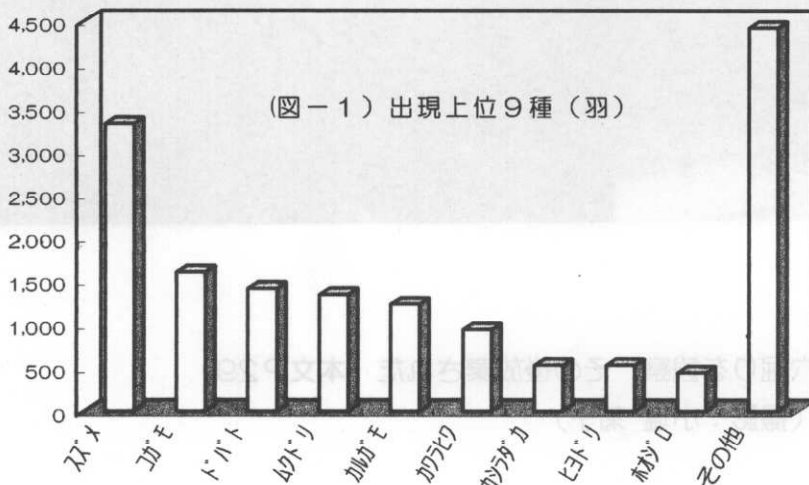
本年も昨年同様、1月に冬鳥の一斉カウントを実施しました。この調査は、1984年から実施している調査で、本年で15年目となります。結果は、66種、15,753羽の野鳥を67名の会員の協力のもとに数え上げました(表-1,3) 特筆すべき野鳥として、トラフズクが浅川上流部で1羽。オオタカが浅川本流で3羽、南浅川、谷地川で各1羽の合計5羽。クイナ4羽。バンが2羽それぞれ確認されています。昨年確認された、ハイロチュウヒ、マヒワ、ベニマシコ、ウソはいずれも今回は確認されませんでした。

(表-1)

年次	浅川本・支流		程久保・谷地川		調査人数
	総数	種類	総数	種類	
1991	11,356	60	—	—	31
1992	12,825	59	—	—	41
1993	13,557	60	—	—	46
1994	12,787	60	—	—	40
1995	11,917	61	—	—	41
1996	11,615	62	—	—	67
1997	12,226	66	1,682	42	82
1998	13,936	64	1,817	40	67

1991からの総括表

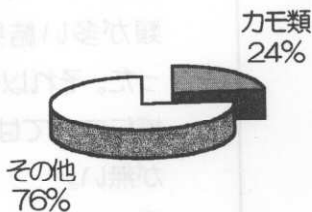
出現数の多い上位10種は、(図-1)のとおりでした。全体66種の内上位1割の種が全総数の70%を占めています。





## (1) カモ類の割合

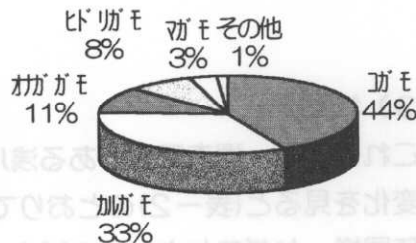
(図-2) 総出現数に占めるカモ類の割合



(40羽)、ミコアイサ(6羽)、オカヨシガモ(1羽)、マルガモ(2羽)、雑種ガモ(1羽)であった。(図-3)

全区域における全羽数 15,753羽の内、カモ類は10種(昨年は6種・マルガモ、雑種ガモ含む)出現し3,719羽で24%(昨年も24%)を占めた(図-2)。種類別には、多い順にコガモ、カルガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、マガモと続き、その他、1%の内訳は、ハシビロガモ

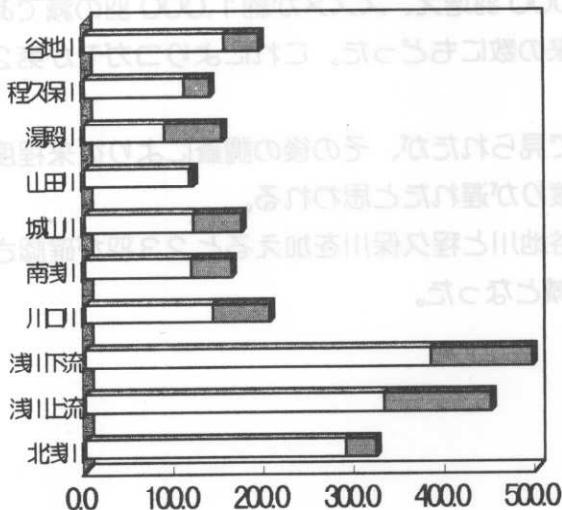
(図-3) カモ類の種類ごとの比率



## 2) 1km当たりの数

区域ごとの1km当たりの総出現数は、(図-4)のとおりである。グラフの右はカモ類の数、左はカモ以外の数を表す(図-5共)。

(図-4) 1km当たりの総数(羽)

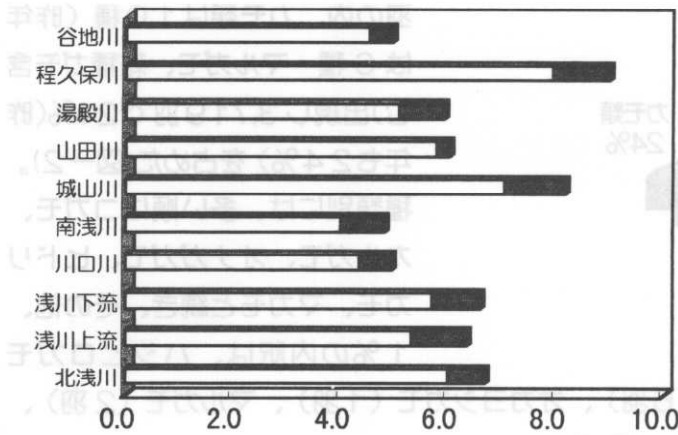


野鳥の数は、浅川本流と北浅川に多く、山田川、南浅川、程久保川に少ない結果となった。これは昨年と同じ傾向であった。

カモ類の数について見ると、浅川本流に多く、山田川、程久保川に少ない結果となった。これは、野鳥全体の数の傾向と同じである。

山田川は、カルガモ(19羽)の1種のみであった。

(図-5) 1 Km当たりの種類数(種)



1 km 当たりの種類数では、程久保川、城山川が、野鳥の種類が多い結果となった。それ以外の区域については、大差が無い。  
程久保川は、総数 403 羽（昨年は 243 羽）、種類数 26 種（昨年は 21 種）であった。

### (3) 年次変化

これまでの、調査区域である浅川本・支流の範囲について、主な野鳥の年次変化を見ると(表-2)のとおりである。

昨年同様、セグロセキレイの減少。ドバトの増加が見られる。本年はコサギが多く確認されており昨年比 4 割増となった。

また、昨年はカワラヒワが約 1,000 羽増え、スズメが約 1,000 羽の減であったが、本年はこれが逆転し従来の数にもどった。これによりコガモが第 2 位に復帰した。

また、ツグミの減少が調査時点で見られたが、その後の調査により従来程度確認されていることから本年の渡りが遅れたと思われる。

カワセミは、5 羽減の 17 羽、谷地川と程久保川を加えると 23 羽が確認された。1996 年から 2 年連続の減となった。



(表-2) 出現数の多い野鳥及び主な水辺の野鳥の年次変化 (浅川本・支流)

	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998
スズメ	1,987	2,543	2,736	2,414	2,120	2,846	1,968	2,837
カラビト	819	835	1,593	956	1,100	905	1,907	882
コガモ	1,326	1,797	1,944	1,605	1,510	1,193	1,381	1,450
トハト	544	616	663	1,203	1,060	830	1,238	1,356
カルガモ	1,087	1,097	1,054	943	892	996	897	1,022
ムクドリ	609	958	664	586	762	532	622	1,100
カワウ	108	76	230	236	120	110	83	94
コサギ	54	66	93	168	167	125	110	236
ハクセキレイ	182	200	165	197	219	202	183	256
セグロセキレイ	236	275	237	213	226	183	173	184
カワセミ	13	24	14	16	19	33	22	17
ツグミ	179	279	235	126	199	218	227	83



(表-3) 集計表

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	小計	⑰	⑱	⑲	小計	合計	
1998.1.1	大沢	殿北	松枝	鶴巻	大和	長沼	一番	万歩	川口	明治	案内	敷島	月夜	山田	白旗	騎田	小宮	月見	左入	合流	小計	合計	
	殿北	松枝	鶴巻	大和	長沼	一番	万歩	合流	明治	合流	敷島	合流	合流	合流	騎田	合流	合流	左入	合流			####	
合計(種)	718	1,209	392	1,684	1,467	1,345	1,671	392	556	353	412	803	467	538	398	531	13,936	403	809	605	1,817	66	
合計(種)	33	36	38	41	46	41	48	38	29	28	22	33	22	27	23	36	64	26	28	31	40	66	
参加者(人)	9	3	2	6	2	1	6	3	3	5	3	1	3	5	2	5	59	1	4	3	8	67	
5 カツリ		3						1									4					4	
40 加カ		2	1	6	20	11	23	21		5		3				2	94	5		3	8	102	
52 丁伊キ						13	12		2	1					1	1	30					30	
57 丁伊キ		2	1	1	9	9	12	5			1	2		4		4	50				2	52	
58 加カ																			1		1	1	
59 コキ		15	8	12	41	50	49	18	6		10	3		4	20	236	7	13	5	25	261		
62 アキ		1		3	11	2		2	1								20	3		1	4	24	
69 加カ						1	1										2					2	
87 加カ	3	2	14	1	1	2	4	9	2	8	51	27					124					124	
88 加カ	35	44	10	77	71	66	88	21	62	144	39	146	58	19	60	82	1,022	63	71	76	210	1,232	
89 加カ	34	83	40	229	217	141	150	89	54	99	7	46	68		83	110	1,450	12	52	80	144	1,594	
92 加カ					1												1					1	
93 ヒトカ			5	32	79	79	97	20			2						314					314	
95 加カ		5	76	56	55	36	17	6	57		16	18			35	11	388	8		8	16	404	
97 アキ	1			1	17	6	7							4	4		40					40	
115 ミア							2	4									6					6	
120 ヒ	1	2	1	2	2		1	2							1	12	1				1	13	
123 加カ					1	1	1				1						4			1	1	5	
145 加カ			1	1			1	1									4					4	
149 コキ	1	2															3				1	4	
151 加カ	1	2					1										5					5	
160 加カ				1	1	1	1										4					4	
167 バソ		2															2					2	
177 加カ	3	3	1	6	7	5	10	3									38					38	
196 アキ					3	8											11					11	
218 アキ		2	6	2	3	1	7	7		1			4	1	1	3	38					38	
230 加カ			3		6								1				10					10	
245 コキ				70	81	46	112	55		1		1			1	10	377	3			3	380	
246 加カ			2	3	2	5	2									1	15					15	
296 加カ	17	26	22	38	35	17	33	50	20	13	10	16	13	30	6	3	349	16	27	21	64	413	
309 トラス				1													1					1	
319 ヒトカ						20	35										55					55	
326 加カ	2	2	1	2	1	1	3		2			1			1	1	17	1	2	3	6	23	
331 アカ			1														3					3	
339 コキ	2	5	5		5	1	4	2	4	3		1		5		2	39			7	7	46	
344 ヒバ					2		10			1							13			1		14	
354 ヒバ	2	2	2	3	3	1	1		3	6	9	1	4	3	1	2	43	1	2		3	46	
355 ヒバ	2	3	4	27	21	33	23	21	20	16	5	19	15	13	12	22	256	12	6	10	28	284	
356 加カ	11	16	11	10	10	40	13	4	7	19	13	11	7			9	3	184	5	16	11	32	216
363 ヒバ	2		2	5	25	23	35	16		10		6		1	3	7	135	3	5	6	14	149	
367 ヒト	40	45	11	8	29	16	22	35	16	29	15	21	20	56	6	25	394	47	57	30	134	528	
369 ヒ	2	4	5	5	3	3	4	1	1			1		2		1	32			7	1	8	40
387 ギョウ	4	2	1	1	3		2		2	1	6	1	1			2	26	2		1	3	29	
400 アカ					1					1							2					2	
405 コキ	7	12	9	11	14		13	4	3	2		1	3	3		1	83		9	4	13	96	
410 加カ	2	7	2		1	1	1	1			1		1	1		1	19					19	
435 アカ																	7					7	
441 ショウ	15	18	11	26	10	17	14	7	18	27	3	6	2	16	4	5	199	9	9	21	39	238	
444 ショウ			2	2	3			1	3		14	3		10	5	43	7	5	11		23	66	
449 ショウ	70	70	17	41	30	16	50	70	5	2				16	2	3	392	5	4	40	49	441	
455 カラ	183	124	41	23	43	27	35	7	2	5	10		15	10			525				6	531	
461 アカ	10	20	7	17	5	9	10	4	4	1	4	5		6	3	1	106		4	6	10	116	
464 ショウ							1				1						2					2	
471 カラ	21	195	22	139	73	115	99	90	14	41	3	38		27		5	882	4	20	30	54	936	
485 ヒバ	10																10					10	
486 シ	17	6	1	1	5	2	2	1				11		4		1	51		3	2	5	56	
488 シ	112	258	100	454	241	225	307	150	240	174	80	122	82	102	110	80	2,837	91	270	120	481	3,318	
493 ヒト	55	136	9	122	107	145	70	37	30	62	60	40	78	57	37	55	1,100	43	140	60	243	1,343	
498 アカ	15				9		1						13				38		6	13	19	57	
503 ショウ	14	8	5	7	21	20	23	34	10	19	6	32	10	7	3	5	224	6	31	9	46	270	
504 ショウ	1	16	3	4	71	6	4	1	3	2	14	24	1	5	9	40	204	17	28	5	50	254	
A ヒバ									1								1		2		2	3	
B ヒト	23	69		212	70	110	232	80	15	104	60	187	50	130	3	11	1,356	22	17	12	51	1,407	
バソ																	10				10	10	
アキ												1					2					2	
加カ				2													2					2	



(表-4)調査区域と調査担当者

	調査区域	延長	参加者
1	北浅川	大沢橋～陵北大橋	3.3 今井達郎 前田善明 柚木鎮夫 柚木育子 白川史子 白川司 渡辺仁 笹川佳子
2		陵北大橋～松枝橋	2.7 河村洋子 河村道寛 由井孝明
3	浅川本流	松枝橋～鶴巻橋	2.1 福井司郎 清水茂
4		鶴巻橋～大和田橋	3.1 田中英吉 田中清子 藤江豊 倉本修 傍嶋玲子 守谷美恵子
5		大和田橋～長沼橋	2.7 湯原直彦 湯原ひろみ
6		長沼橋～一番橋	3.5 丸山二三夫
7		一番橋～ふれあい橋	2.1 馬場裕 馬場百合亜 下重光正 下重喜代 木村正子 原田佳世
8	ふれあい橋～合流部	2.3 阿江範彦 小塩菊子 星野美美子	
9	川口川	川口橋～明治橋	3.1 鈴木章七 杉森熊二 川戸恵一
10		明治橋～合流部	3.8 三好恒雄 小沢礼子 小沢節子 永見博子 佐伯直寛
11	南浅川	案内橋～敷島橋	3.3 川上圭 横山由美子 福本順吉
12		敷島橋～合流部	4.2 古山 隆
13	城山川	月夜峰新橋～合流部	2.7 木村晴美 小池一男 千葉槇子
14	山田川	山田橋～合流部	4.5 門口一雄 門口裕子 青木一男 平井国二 平井智恵子
15	湯殿川	白旗橋～時田橋	2.3 三富恒男 桑原文夫
16		時田橋～合流部	3.8 粕谷和夫 栗原友子 加藤六郎 小笠原敏子 (波田)
17	程久保川	小宮橋～合流部	2.9 青木紫昌
18	谷地川	月見橋～左入橋	3.2 井手龍世 新田茂 平井牧 平井芳子
19		左入橋～合流部	4.1 大川征治 大川香 神谷古牧
合 計		59.7 (Km)	

## 平成10年 浅川流域野鳥繁殖状況メッシュ調査結果

取りまとめ: 粕谷和夫

国土地理院2万5千分の1地形図を縦横それぞれ10等分して得られるメッシュ(1メッシュの大きさは縦横それぞれ約1km)単位に、浅川流域の野鳥のメッシュ調査を行った。この調査は昨年、東京都環境保全局が日本野鳥の会研究センターに委託して行った野鳥の繁殖状況調査を踏襲したもので、本年は40メッシュについて調査した。

調査は各メッシュ毎に担当者を決め、4月～7月の繁殖期に担当者が現地に数回出向き、そこに出現した野鳥の行動を観察して「5」繁殖確実、「4」多分繁殖、「3」繁殖可能性有り、「2」不明、「1」繁殖していない、の5段階に繁殖ランクを評価した。

結果は次表の通りで、40メッシュで82種の野鳥(ドバト等含む)を記録し、内繁殖段階「5又は4」は46種であった(第1表)。なお、オオタカ等営巣場所をこのメッシュで出すことが望ましくないものは日本野鳥の会東京支部が使用するメッシュであらわした(第2表)。

繁殖期における野鳥の繁殖段階基準(1997年東京都野鳥繁殖調査を準用)

ランク	基準	観察事項
5	確実に繁殖	①雛のいる巣、②巣と卵、③成鳥が使用されている巣のあるらしい所に入入り、④成鳥の糞運び、⑤巣立ち直後の雛、⑥巣立ち直後の巣の発見、⑦偽傷
4	多分繁殖している	①成鳥のエサ運び、②巣立ち雛連れ家族群、③造巣行動、④巣のあると思われる所にいた、⑤求愛行動、交尾行動、威嚇行動、警戒音、⑥繁殖期、営巣し得る環境で、数日以上の間隔をおき、同じ場所でさえずり
3	繁殖の可能性あり	営巣しそうな場所で、繁殖期に鳥を認めたが、他には徴候が認められない
2	繁殖不明	繁殖期に鳥の姿を見たが何ともいえない
1	繁殖しないを可とする	繁殖期に鳥の姿を見たが、営巣していないこと明らか

(第1表) 繁殖段階4又は5の野鳥一覧及びそれが観察されたメッシュ数

52	ジイギ	1	354	キキイ	13	441	ツウカ	28
59	ジギ	1	355	ワキキイ	6	444	ツ	11
88	カガモ	8	356	ツキキイ	8	449	ツ	17
149	ツウカ	11	367	ヒトリ	21	471	カ	14
151	キ	4	369	ス	2	488	ス	31
218	イツギ	1	376	ミツギ	1	493	ヒトリ	25
296	キバト	21	399	クツミ	5	496	カ	1
304	ホトギス	1	409	ヤサメ	7	498	カ	2
319	ヒメアマツバメ	1	410	ウグイス	21	503	ハツカ	14
326	カモ	2	416	オヨソ	3	504	ハツカ	15
331	アケラ	5	422	シロイ	3		ドバト	6
336	アケラ	2	425	ツカ	1		ガビ	1
339	ケラ	12	427	ヒ	6			
344	ヒバリ	1	430	オ	6			
347	ツバメ	26	425	カ	5			
349	ツバメ	1	439	カ	2			
350	イツバメ	7	440	マ	7			

種類数	46種
-----	-----



浅川流域野鳥繁殖状況メッシュ調査(1998年)

繁殖ランク (5繁殖確定、4多分繁殖、3繁殖可能性有り、2不明、1繁殖してない、注:ランク後記号別掲)											
2万5千地形図	五日市	五日市	与瀬	与瀬	与瀬	与瀬	与瀬	与瀬	与瀬	揖島	揖島
メッシュ番号	7C	8B	4J	5K	8F	9F	8E	9E	OC	OA	
東京支部メッシュ	T26	T26	T21	T27	T27	T27	T28	T28	T33	T33	
主要地点	小津小山農	小津バス停	案下川上流	関場	小仏城山東	日影沢	奥高尾一丁	高尾山頂	美山町	下郷方河原	
調査者	三好恒雄	三好恒雄	古山隆	古山隆	小池一男	小池一男	中村啓二	中村啓二	粕谷和夫	前田善明	
40 カワ											
52 コイギ											
57 ヤイギ											
59 コギ										2	
62 アギ											
88 カガモ	1								2	2	
89 コガモ		1									
120 ヒ		2					2		2	2	
129 ノリ							3				
130 シバ											
149 コジユク	4⑤	2							4⑥	4②	
151 シ		2		2						2	
177 イハヒドリ											
217 キアシ											
218 イシ											
230 シ											
296 シバト	3	3	3	3	4④	3		3	3	5①	
298 アト								2			
303 ヲドリ	2		2			2	2	2			
304 トトリス			2		2	2			3		
319 ヒメマヅメ											
320 マヅメ									1	2	
321 ヤマヒ											
326 カヒ		3								2	
331 アガラ		3	3	2			3	3	3	2	
336 アガラ											
339 コガラ	4⑤	4⑤		4①		4②	3	3	3		
344 ヒバリ											
347 ヲノ		2	3	2	2				5①	5①	
349 コシカヅメ											
350 イワヅメ					2			2			
354 キキ	5③	5③	3	3		3		2		5①	
355 ハキ											
356 ヒメ										4②	
360 ヒノシ							2				
367 ヒヨドリ			3	3	4②	4②	3	3	3	4②	
369 ヒ		3								4②	
376 ミソサザ	3		4⑥	3		3			2		
385 コ											
386 トビ											
396 トウキ				2							
399 コウキ			4①⑥	4②	4⑥	4⑥	4⑥	3	2		
400 アハラ							1		1		
402 シハラ											
405 ヲ							1				
409 ヤブサ	3	3	5⑤	3		3	3	4⑥	4⑥		
410 ヲノ	4⑥	4⑥	4⑥	3	4⑤	4⑤	4⑥	4⑥	4⑥	4②	
416 オノ										4⑥	
422 ヒメ	4⑥	4⑥		3		3	4⑥	3			
424 ヒメ											
425 ヒ											
427 ヒ	5①		3	3	4⑥		4⑥	4⑥	4⑥		
430 ヒ	4⑥	4⑥	4⑥	4⑤	4⑥			4⑥			
433 コノ							2				
434 コノ	3	3					3	3	4③	3	
435 ヒ							3	3			
439 ヒ	3		4⑥	4⑥			3	3			
440 ヤマ			3	3	4②	4②	4①	3	3	2	
441 シユカ	4⑤	4⑤	4②	4②		4②	4⑥	4⑥	4⑥	5⑤	
442 コシユカ											
444 シロ		3	3	3		4②	4⑥	3	4⑥	3	
449 ヒ	3	3	4②	4①	3	3	4⑥	4⑥	5⑤	4⑥	
455 ヒ											
461 ア							1		1		
471 カワ		3	2	2	3	3	4⑥	3	4⑥	2	
483 ヲ								2			
485 ヒ	2						3	3	3	2	
486 シ							1				
488 ヒ		5③		3					5①	5①	
493 ヲ									5①	5①	
496 ヒ	3	3	2	5⑤	3	3	3	3	3	2	
498 ヒ										3	
503 ヒ				2		3			3	4②	
504 ヒ	3	3	2	2	4⑤	3	3	3	3	4②	
A ヒ											
B ト								3		3	
カヒ	1	1		2	3	3			5⑤	2	
コノ											

「ランク後記号」は東京都鳥類繁殖分布調査(平成9年)に準ずる。本表には材料、コノ、カヒ、ヒ、カヒ、カヒは含まれていない。



浅川流域野鳥繁殖状況メッシュ調査 (1998年)

繁殖ランク (5繁殖確実、4多分繁殖、3繁殖可能性有り、2不明、1繁殖してない、注: ランク後記号別掲)										
2万5千地形図	拝島	拝島	拝島	拝島	拝島	拝島	八王子	八王子	八王子	八王子
メッシュ番号	2D	2C	5C	5B	7C	9B	OK	1G	1F	3K
東京支部メッシュ	T33	T33	T39	T39	T39	T39	T34	T34	T34	T34
主要地点	川口橋	川口小学校	谷野町	工学院大学	滝山町1丁	小宮駅	松竹	小仏開所跡	高尾山口	元八王子
調査者	新田茂	新田茂	井手龍世	井手龍世	新田茂	神谷古牧	前田善明	青木一男	青木一男	川上憲
40 アウ		1				1	1			
52 ゴイサギ					1	2				
57 ゴイサギ						2				
58 ツルギ										
59 コサギ		1		2	1	2	1			
62 アサギ						2				
88 カササギ	3	3	1	3	4②	5⑤	2	2	3	
89 コサギ		1			1		2	2		
120 トビ						2	2			
129 ノスリ										
130 ツルギ										
149 コノサギ	4⑥	4⑥	3		4⑥	4⑥	4⑥	2		
151 キジ	4⑥	4⑥	2		4⑥		3			
177 イカルドリ										
217 キツバタ										
218 イソサギ										
230 ツルギ										
296 キジバト	4⑥	4⑤	2	3	4⑥	4①③	4③	3	3	4④
298 アオバト										
303 ヲトリ										
304 トビ							4⑥			
319 ヒメマツバメ										
320 マツバメ										
321 ヤマシ										
326 カササギ					4③	4①	2	3		
331 アサギ	3		4⑥		4⑤	3				
336 アサギ										
339 コノサギ	4②	4⑤	4⑥		4⑥	3	4⑥	3		
344 ヒバリ					4⑥					
347 ツルギ	5①	5①	3	4①	5①	4②	5①	5①	5①	5③
349 コノサギ										
350 イソサギ					2	5①	2	5①	5①	
354 キツバタ	4⑥	4⑥			4⑥	3	4③	4①	5⑤	
355 ヒメツルギ						3		4①	5⑤	3
356 ヒメツルギ	4②	4②		3	4②	3	3	5③	5⑤	
360 ビンズイ										
367 イカルドリ	4⑥	4①	4⑥	4⑥	4②	2	5①	4②	4②	4④
369 エス		3			4②		2			
376 ミソサギ										
385 コサギ										
386 ツルギ										
396 トビ										
399 コノサギ							3			
400 アサギ										
402 シロサギ						2				
405 ツルギ		1				1			1	
409 ヤブサギ	3		4⑥			2	3	2	2	
410 コノサギ	4⑥	4⑥	3			2	3	3	3	4⑥
416 オオサギ						3				
422 センダクイ						2	3		3	
424 キツバタ										
425 ツルギ						3				
427 ツルギ	3		2				3			
430 オオサギ							3		2	
433 コノサギ										
434 コノサギ							3			
435 ツルギ	3	4②	3		4②	3				
439 ツルギ										
440 ヤブサギ	3		3		4⑥		3		3	
441 ツルギ	4②	4②	3	3	4②	4②	5①	3	3	
442 コノサギ										
444 ツルギ	4⑥	4⑥	4⑥	3	4⑥	3	3	3	3	3
449 ツルギ	4⑥	4⑥	3		4⑥	3	3	4⑤	2	2
455 カササギ										
461 ツルギ	1	1			1					
471 コノサギ	3	3		3	4②	4⑥	5⑤	2	2	3
483 ツルギ										
485 ツルギ			2		3			2	2	
486 ツルギ		1			1					
488 ツルギ	5①	5①	5⑤	5⑤	5①	4②	5①	5③	5③	5③
493 ツルギ	5①	5①	3	4⑥	5①	3	5①	5③	5③	4①
496 ツルギ		3	2				3		2	
498 ツルギ		4②	2	3	3	2	3	3	2	3
503 ツルギ	4②	3	4⑥	4⑥	3	5①	3	3	2	
504 ツルギ	4②	4②	4⑥	4⑥	5②	2		2	2	4①
A ツルギ	1	1								
B ツルギ		3			3		5①		3	4⑤
ツルギ	3	3	2		3		2	2	2	

「ランク後記号」は東京都鳥類繁殖分布調査(平成9年)に準ずる。本表には材物、ツルギ、ツルギ、ツルギは含まれていない。

浅川流域野鳥繁殖状況メッシュ調査 (1998年)

〔調査方法〕 繁殖メッシュは繁殖地を100m×100mのメッシュで調査した。

繁殖ランク (5繁殖確実、4多分繁殖、3繁殖可能性有り、2不明、1繁殖してない、注：ラシ後記号別掲)										
2万5千地形図	八王子	八王子	八王子	八王子	八王子	八王子	八王子	八王子	八王子	八王子
メッシュ番号	3J	3H	4F	4E	5J	6J	6H	7E	7D	9H
東京支部メッシュ	T34	T34	T34	T35	T40	T40	T40	T41	T41	T40
主要地点	長房町	南浅川橋	館町	寺田町	西八王子駅	天神町	台町	東京工大大	鎌水	西平山
調査者	川上憲	千葉慎子	桑原文夫	桑原文夫	平井国二	粕谷和夫	粕谷和夫	門口一雄	門口一雄	丸山二三夫
40 前ウ								1		1
52 ゴイサキ										5①
57 ゴイサキ										2
59 コサキ		1								5③
62 マサキ										
88 加サキ		3	4⑤	4⑤	2		2			5⑤
89 コサキ		1								1
120 トビ					1					1
129 ノスリ										
130 キジ										
149 コジユカイ	2	4⑥	3					3	3	
151 キジ			3	3				3		
177 加サキ										
217 キアサギ										
218 イソサキ										2
230 ササキ										1
296 キジバト	4④	4③	4⑤	4⑤	5①	4⑥	4⑤⑥	3		4③
298 マサキ									3	
303 ヲドリ										
304 朴ノキ										
319 ヒメアマノハ					5①		1			
320 マサキ										
321 ヤマヒ										
326 加サキ										
331 マサキ		4⑥					3		3	
336 マサキ										
339 コサキ			3		1	2	4⑤		3	2
344 ヒバリ										
347 カサキ	5③	5⑤①	4③	4③	5①	5①	3	3	4③	5③
349 コサキ										
350 アサギ		1	3		5①	5①				3
354 キサキ		4①⑤		4⑤	2		4⑤⑥			1
355 ノサキ		3	3	2	2	2	3			1
356 キサキ		3			1					3
360 ヒメノスリ										
367 ヒメノスリ	4④	4②	5⑤	4①	2	3	3	3	3	4⑤
369 ヒメ					2					2
376 ミサギ										
385 コサキ										
386 ノサキ										
396 トサギ										
399 コサギ										
400 マサキ						1			1	
402 ノサキ							1			
405 ヲドリ						1	1			
409 ヤマヒ		3	4⑥							
410 コサキ	4⑥	3	4⑥	4⑥		4⑥	4⑥	3	3	3
416 マサキ										4⑥
422 センダク										
424 マサキ										
425 マサキ										2
427 マサキ									4①	
430 マサキ										
433 マサキ										
434 マサキ										
435 マサキ			3				3	3	3	
439 マサキ										
440 マサキ		4⑥							3	
441 コサキ	3	5①③	4①	4①	4②	4②	4⑥	3	3	3
442 コサキ									3	
444 マサキ	3	4⑥				4⑥	3		3	3
449 マサキ		4①	3	4④	1			4③	3	4⑥
455 マサキ							1			
461 マサキ						1	1			
471 マサキ		4③⑤		4④	4⑤	4⑥	4⑥		3	3
483 ヲドリ										
485 マサキ										
486 マサキ							1		1	
488 マサキ	5③	5①⑤	4①	4①	4②	5①	5①	4①	3	4①
493 マサキ	5③	5③	4⑤	4②	5①	5③	3	4③		4①
496 マサキ										
498 マサキ	3	2	3			3	4②			
503 マサキ		5③⑤	4③	4①	5①	4③	3		3	4⑤
504 マサキ	4①	3	3	2	1	4③	3	3	3	4⑤
A マサキ										
B マサキ	4⑤	3			4⑤	3	3			3
マサキ								3	3	
マサキ										

「ラシ後記号」は東京都鳥類繁殖分布調査(平成9年)に準ずる。本表にはマサキ、マサキ、マサキ、マサキは含まれていない。

浅川流域野鳥繁殖状況メッシュ調査 (1998年)

繁殖ランク (5繁殖確実、4多分繁殖、3繁殖可能性有り、2不明、1繁殖してない、注:ランク後記号別掲)											
2万5千地形図	八王子	立川	武蔵府中	武蔵府中	武蔵府中	武蔵府中	武蔵府中	武蔵府中	武蔵府中	武蔵府中	武蔵府中
メッシュ番号	9G	1A	0F	1K	1G	2F	2E	3H	4K	4J	
東京支部メッシュ	T40	T44	T45	T45	T45	T45	T46	T45	T45	T45	
主要地点	長沼町	大阪上	南陽台	東豊田	多摩テック	堀之内2丁	京王堀之内	高幡台団地	日野カントリー	京王百草園	
調査者	丸山二三夫	金子凱彦	木村正子	金子凱彦	木村正子	登坂久雄	登坂久雄	青木繁昌	青木繁昌	青木繁昌	
40 ヲウ	1						1		1		
52 コイサキ											
57 イサキ				武蔵府中	1				2		
58 ヲウサキ				1Kは							
59 コサキ							1		3	3	
62 フササキ			1	立川1A	1				2		
86 オトリ				に含まれている							
88 ヲウサキ	5(5)	2	1		2	2	1		5(5)	5(5)	
89 ヲウサキ	1								1		
119 ヲウサキ											
120 トビ			1		3						
125 ツミ											
126 ヲウサキ											
129 ノリ											
130 ヲウサキ					1						
149 コジユカイ	2		4(6)		4(2)(5)	3		3	3	3	
151 ツグ						3			4(5)		
177 イサキ									3		
217 キツツキ									1		
230 ヲウサキ											
218 イサキ	4(5)					2			3		
296 キジバト	4(5)	4(5)	5(1)		4(3)		4(5)	3	3	3	
298 フサバト											
303 ヲウサキ			2		2						
304 トビ							2				
319 ヒメツバメ											
320 ツバメ					1						
321 ツバメ					3				3	3	
326 ツバメ											
331 ツバメ	2	3	5(1)		5(5)					3	
336 ツバメ			4(6)		4(5)(6)						
339 ツバメ	1	3	5(4)		4(2)	3	3	3		3	
344 ツバメ									4(1)		
347 ツバメ	5(3)	5(1)	5(1)		4(2)	3	4(3)(4)	5(5)	3	5(1)	
349 ツバメ								5(3)			
350 ツバメ	5(1)		1		1	2	4(3)(4)	2	3	2	
354 ツバメ	1	2	4(6)						3		
355 ツバメ	1		3		2	5(3)	4(1)	3	5(5)	4(2)	
356 ツバメ	5(5)				2	3	3		5(5)		
360 ツバメ			1		1				1		
367 ツバメ	4(5)	4(1)	5(5)		5(5)	3	3	3	3	3	
369 ツバメ			3						3		
376 ツバメ			1		2						
385 ツバメ											
388 ツバメ					1						
396 ツバメ											
399 ツバメ											
400 ツバメ											
402 ツバメ			1		1						
405 ツバメ			1		1						
409 ツバメ			4(6)		4(6)						
410 ツバメ	4(6)		4(6)		4(6)		3	3	4(6)	3	
416 ツバメ						2			4(6)		
422 ツバメ			1		1						
424 ツバメ											
425 ツバメ	2								4(6)		
427 ツバメ					3						
430 ツバメ											
433 ツバメ											
434 ツバメ								3			
435 ツバメ	1		5(5)		5(5)						
439 ツバメ											
440 ツバメ	1		5(5)		5(5)						
441 ツバメ	4(6)	4(2)	5(5)		5(5)	3	4(2)	4(1)	4(1)	4(3)	
442 ツバメ											
444 ツバメ	3	2	5(5)		5(5)	3	3	3	3	3	
449 ツバメ	4(6)		5(5)		5(5)	3	3	3	3		
455 ツバメ											
461 ツバメ			1		1			3			
471 ツバメ	4(3)	3	5(5)		4(2)	2	5(3)	3	3		
483 ツバメ											
485 ツバメ					2						
486 ツバメ											
488 ツバメ	5(3)	4(1)	5(3)(5)		5(3)	5(3)	5(3)	5(5)	5(5)	4(1)	
493 ツバメ	4(1)	4(1)	5(3)(5)		4(2)	5(3)(4)	5(3)(4)	3	3	4(1)	
496 ツバメ			2		2						
498 ツバメ	1	2	3		2	2		3	3	3	
503 ツバメ	4(1)	3	5(1)		5(1)	3	3	3	3	3	
504 ツバメ	4(5)	4(2)	5(1)		4(1)	3	3	3	3	3	
A ツバメ									3		
B ツバメ	3	2	3		4(5)	2	5(3)	3	3	3	
ツバメ			2		2						
ツバメ											

「ランク後記号」は東京都野鳥繁殖分布調査(平成9年)に準ずる。本表にはツバメ、ツバメ、ツバメ、ツバメは含まれていない。

## ハクセキレイの集団ねぐら（97年7月～98年6月）

取りまとめ：粕谷和夫

浅川流域のハクセキレイの集団ねぐらは従来、横山町三角広場（八王子6J）と西東京三菱北野ショップ（八王子8J）の2ヶ所だったが、98年5月7日に梶田町（八王子3G）で横山由美子さんが新たな集団ねぐらを発見した。今期、横山町の街路樹も北野町の街路樹も強度の剪定（枝切り）が行われた。

なお、セグロセキレイの秋に形成される季節的な集団ねぐらは、川町（拝島2A）に1ヶ所ある。

### （1）八王子市横山町三角広場（田中英吉調査）

1990年以来、毎月1回、日の出前の集団ねぐら（ヤマモモ及びクスノキ）からの朝の飛び出し数のカウント調査を継続して行っている。今期（97年7月～98年6月）の結果は次の通りです。

97年7月 1日	4時01分～4時30分	11羽	計11羽
8月29日（晴）	4時01分～4時30分	2羽	
	4時31分～5時00分	16羽	計18羽
9月28日	4時31分～5時00分	38羽	
	5時01分～5時30分	5羽	計43羽
10月30日	5時01分～5時30分	4羽	
	5時31分～6時00分	10羽	計14羽
11月25日	5時31分～6時00分	13羽	計13羽
12月26日	5時31分～6時00分	23羽	
	6時01分～6時30分	126羽	計149羽
98年1月27日（晴）	6時01分～6時30分	175羽	計175羽
2月28日	5時01分～5時30分	171羽	
	5時31分～6時00分	55羽	計226羽
3月31日	4時31分～5時00分	171羽	
	5時01分～5時30分	11羽	計182羽
4月29日	4時01分～4時30分	66羽	
	4時31分～5時00分	7羽	計73羽
5月28日	3時31分～4時00分	10羽	
	4時01分～4時30分	18羽	計28羽



6月28日 3時31分～4時00分 1羽  
4時01分～4時30分 15羽 計16羽

\*10月、11月が9月より少なくなったことの考察(田中英吉)

ヤマモモ等の木が整枝され、丸坊主にされて、枝に止まっているのが下から見えてしまうので、他に分散してしまったのではないか。10月28日夕(16時30～16時45分)の観察では、第1集合地の道路を挟んで隣の富士銀号の屋上には約100羽のハクセキレイがいた。したがって約85羽は他へ行ってしまったことになる。しかし、12月以降は慣れたのか、復活の兆しがある。

## (2) 八王子市北野町西東京三菱北野ショップ(丸山二三夫調査)

こちらは日の入り直後の夕方、ねぐら(クスノキ3本)入り数をカウントしている。ねぐら入り調査は、朝のねぐらからの飛び出し数調査と異なり、夕はねぐらへの出入りが何度か繰り返されるため、カウントに正確さを欠き、概数となる。ここのねぐらのクスノキは97年5月末に剪定され、丸坊主にされてしまった。このため、三菱自動車構内にある木より歩道にある木の方に移動した。98年6月中旬に更に丸坊主にされ、歩道の木は切られてしまった。

1997年10月18日 17時08分～17時25分 約150羽

11月24日 16時46分～17時01分 約370羽(日の入り時刻16:29)

1998年2月11日 17時34分～18時10分 約76羽(日の入り時刻17:18)

5月17日 18時41分～19時08分 約45羽(日の入り時刻18:41)

6月中旬 塹の刃片が更に丸坊主にされ、道路にあった木も根こそぎ無くなった。下に糞を落とすため嫌われているようである。今後の動向が心配である。

## (3) 元信和通信機の北側の歩道街路樹(横山由美子調査)

ここは梶田町、イトウヨウカ堂建設予定地で街路樹種はエンジュ、先ず元信和通信機の屋上に止まり、次に電線に並び、最後に2～3本のエンジュに飛び込む。電柱下の歩道は糞で白くなっている。

1998年4月14日 元信和通信機の屋上にいたと思われるハクセキレイの声確認

4月15日 複数のハクセキレイが電柱と社屋の屋上を行き来しているのを確認

4月22日 電線に止まっていたハシボソガラスを6羽のハクセキレイがモビング

5月5日 17時40分 歩道の電柱にハクセキレイ7羽

5月7日 塹を始めて確認、街路樹のエンジュに数羽飛び込む

7月9日 夕 約20羽 塹入り

## ヒメアマツバメの動向（98年1月～6月）

（取りまとめ：粕谷和夫）

今期の動向は次の通りです。このデータは観察者によって観察日に確認されたことだけを取りまとめたものです。

- 1.東浅川京王線高架下（川上恵調査担当）・94年末迄6年間継続した所  
調査しなかった（放棄されてる模様）
- 2.東浅川小学校（川上恵調査担当）  
調査しなかった（放棄されてる模様）
- 3.京王線高尾駅西側ホーム高架下（川上恵調査担当）  
2月25日:夕 巣1個有るも使用中の気配無し、帰巣確認出来ず(16:40～17:15)  
3月 3日:夕 巣1個有るも使用中の気配無し、帰巣確認出来ず(16:15～17:20)  
3月 6日:夕 再調査したが、3/3と同じ結果、放棄か、他へ移動か？  
5月 22日:夕 巣1個有るも使用中の気配無し、帰巣確認出来ず(18:00～19:00)
- 4.京王線高尾山口駅東側高架下（川上恵調査担当）95年に発見された所  
平成9年2月から確認出来ないため、今回は調査せず
- 5.八王子学園八王子高校体育館・高床の下【ヒ・ア】（川上恵、平井国二調査担当）  
2月22日:夕 使用中と思われる巣34個確認、約45羽帰巣確認（16:30～17:10）  
5月 4日:夕 使用中と思われる巣36個確認、約50羽帰巣確認（17:00～18:20）  
昨年5月頃はツバメも60～80羽位が営巣していたが、今年は僅か4  
巣しかツバメが営巣が認められなかった。ツバメは他へ移動か？  
5月30日:昼 使用中と思われる巣35個確認、6羽巣出入り確認(11:30～12:00)  
3巣に出入りしており、雛が生まれている模様、巣の下に卵殻が落ちて  
いた。全体的に相当数の巣が崩落し出し、今後が心配
- 6.浅川・中央高速道橋下（福井司郎調査担当）  
4月18日:昼 巣が壊れていた  
5月16日:昼 再び作られていた。数不明。
- 7.浅川・浅川大橋下（田中英吉調査担当）  
2月26日:朝 出入りは確認できず
- 8.南大沢駅北（木村信幸調査担当）  
5月24日：朝 朝の出巣数8羽確認（4:30～5:30）  
ツバメの巣66個の内、8巣がヒメアマツバメに転用、但し、使用中の巣の数は未調査。ツバメ66巣有るも、古巣多く、本年の繁殖確認は9巣だけ、  
こここのツバメも八王子高校体育館のように他へ移動か？

# 平成10年 カルガモ繁殖状況調査結果

取りまとめ: 粕谷和夫

浅川の本支流はカルガモの繁殖地であり、その数を1988年以来毎年カウントしている。カウント調査は昨年迄と同様、浅川の本支流を15に区分した他、谷地川、大栗川、程久保川を継続し、会員が分担して5月から7月の間に2～3回の現地観察によって行った。

結果は第1表及び第2表の通りで、浅川水系では親子連れファミリー数は33組、子171羽で昨年迄の回復の兆しから一転して減少した。本支流の内訳は第3表の通りで北浅川は0組であった。谷地川、大栗川及び程久保川の結果は第1表の通りである。なお、会報「カワセミ」第19号(97年夏号)の20頁の谷地川の昨年(1997年)の記載に誤りがあり、正誤表を第4表に掲げた。

(第1表) 平成10年カルガモ繁殖期カウント結果(単位:組・羽)

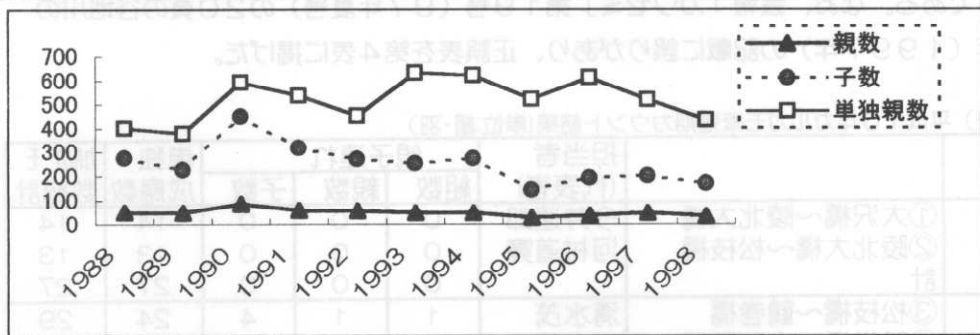
	担当者 (代表者)	親子連れ			単独 成鳥数	加ガモ 数総計	
		組数	親数	子数			
北 浅 川	①大沢橋～陵北大橋	今井達郎	0	0	0	14	14
	②陵北大橋～松枝橋	河村道寛	0	0	0	13	13
	計		0	0	0	27	27
浅 川 本 流	③松枝橋～鶴巻橋	清水茂	1	1	4	24	29
	④鶴巻橋～大和田橋	田中英吉	3	3	12	74	89
	⑤大和田橋～長沼橋	丸山二三夫	3	4	18	32	54
	⑥長沼橋～一番橋	山崎悠一	3	3	23	44	70
	⑦一番橋～多摩川合流	門口一雄	4	4	17	35	56
	計		14	15	74	209	298
川 口 川	⑧川口橋～明治橋	鈴木章七	0	0	0	19	19
	⑨明治橋～浅川合流	三好恒雄	2	2	15	28	45
	計		2	2	15	47	64
南 浅 川	⑩案内橋～敷島橋	川上憲	0	0	0	14	14
	⑪敷島橋～浅川合流	小池一男	3	3	9	52	64
	計		3	3	9	66	78
⑫城山川(月夜峰新橋～浅川合流)		小沢礼子	8	10	33	31	74
⑬山田川(山田橋～浅川合流)		平井国二	1	1	5	12	18
湯 殿 川	⑭白旗橋～時田橋	桑原文夫	3	3	22	24	49
	⑮時田橋～浅川合流	加藤岸男	2	2	13	18	33
	計		5	5	35	42	82
浅川水系の計			33	36	171	434	641
⑯程久保川(小宮橋～浅川合流)		青木繁昌	7	6	28	50	84
⑰谷地川(月見橋～新左入橋)		井手龍世	1	1	5	62	68
⑱谷地川(新左入橋～多摩川合流)		大川征治	5	5	24	64	93
⑲大栗川(鑓水～横倉橋)		木村信幸	5	6	22	62	90
総計			51	54	250	672	976

調査協力者: ①関根伸一、千葉慎子、白川司・史子、渡辺仁②河村洋子⑦門口裕子、青木繁昌

⑩横山由美子、福本順吉⑫小沢節子、木村晴美⑬平井智恵子⑰新田茂⑱大川香、神谷古牧

(第2表) 浅川水系におけるカルガモの繁殖状況年変化(単位:羽)

	親子連れ				単独成鳥	総計
	組数	親数	子数	平均子数		
1988	52	52	276	5.3	402	730
1989	45	49	228	5.1	379	656
1990	84	88	451	5.4	594	1133
1991	57	61	318	5.6	537	916
1992	54	58	272	5.0	452	782
1993	48	49	254	5.3	633	936
1994	48	49	275	5.7	623	947
1995	28	28	146	5.2	522	696
1996	36	38	194	5.4	613	854
1997	41	49	202	4.9	520	771
1998	33	36	171	5.2	434	641



(第3表) 浅川水系の本支流カルガモの親子連れ組数年次変化(単位:羽)

年次	北浅川	浅川本流	川口川	南浅川	城山川	山田川	湯殿川	合計
1988	2	30	13	2	0	1	4	52
1989	0	18	7	6	9	1	4	45
1990	2	36	15	11	9	1	10	84
1991	2	22	10	5	5	1	12	57
1992	3	24	5	4	6	1	11	54
1993	4	19	5	5	7	1	7	48
1994	5	18	9	6	4	1	5	48
1995	4	10	1	4	3	0	6	28
1996	5	9	5	8	3	0	6	36
1997	2	13	3	6	10	0	7	41
1998	0	14	2	3	8	1	5	33



(第4表) 1997年谷地川の調査結果記載の正誤表

誤り(会報「カワセミ」1997年夏号・第19号20頁・第1表)

	担当者	親子連れ			単独成鳥数	加がも数総計
		組数	親数	子数		
⑰谷地川(新左入橋～多摩川合流)	大川征治	2	2	14	40	56
⑰谷地川(月見橋～新左入橋)	井手龍世	0	0	0	32	32

正

	担当者	親子連れ			単独成鳥数	加がも数総計
		組数	親数	子数		
⑰谷地川(月見橋～新左入橋)	井手龍世	0	0	0	32	32
⑱谷地川(新左入橋～多摩川合流)	大川征治	2	2	14	40	56

## お知らせ

機関紙『カワセミ』は、皆様からの投稿により紙面を構成しています。内容は、各種調査の結果や探鳥会の感想文などが中心となっていますが、野鳥に関することを中心に幅広く収集しています。身近な自然の移り変わりなどお知らせ下さい。積極的な投稿をお待ちしています。

原稿はワープロ化したものをお願いしていますが、手書きでも結構です。ワープロで作成された場合は、原稿のフロッピーデスクの送付、若しくはメールで送付して頂くと編集が助かります。

また、編集は紙面の見易さに心がけていますが、鳥信などは情報量が多いためどうしても文字サイズが小さくなりがちです。編集に関するご意見などもお寄せ下さい。

- 原稿(写真も含む)はお返ししません。返却が必要な場合は追記して下さい。
- 冊子に使えるカット等ありましたら提供方お願いします。

かわせみ編集局 (NIFTY IDCZB14024)

## 平成10年 オオルリ他夏鳥調査結果

取りまとめ：粕谷和夫

八王子市の鳥・オオルリの生息地である丘陵地や山間部の自然環境の動向を見守るため、1992年以来生息数調査を毎年行っている。また、オオルリの他にツツドリ、ホトトギス、クロツグミ、キビタキ、センダイムシクイ等の夏鳥の数もカウントした。

### 1. 調査場所

第2表に示す通り八王子市内の丘陵地、山間部の沢筋、谷筋の19区域で行った。踏査総延長は昨年同様104kmであった。

### 2. 調査時期と調査参加会員数

4月下旬～6月下旬にそれぞれの区域で2～3回行った。調査は、第2表の通り、延べ58名の会員が行った。

### 3. 結果

結果は第3表の通りであり、19区域（沢筋、谷筋）の内、15区域で合計43羽のみを確認した。

6年間の動向は第1表の通りで、最近2年間とほぼ同数であった。

(第1表)八王子市内オオルリ出現数の年次変化(単位:羽)

	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998
合計数羽	25	30	28	38	45	48	43

オオルリのカウントと同時に実施した夏鳥他全野鳥の調査結果は第3表の通りであり、本年は61種(95年は59種、96年は62種、97年は67種)が出現した。カウントした野鳥ではウグイスが最も多く169羽、次いでヤブサメ105羽、クロツグミ59羽、センダイムシクイ55羽であった。キビタキはオオルリよりやや少なく、昨年と同様の傾向であった。また、ガビチョウが15地域で記録されており、この地域に定着した感がある。その他ではサシバが1カ所、ノスリが3カ所、オオタカが4カ所、サンコウチョウが7カ所で記録された。

1998年は日本各地でツツドリ、ホトトギス等の飛来が減少しているとの情報があるので、夏鳥について昨年との比較表をを作成した(第4表)。この表によればツツドリ、ホトトギスは昨年より減少しているところであり、クロツグミ、センダイムシクイも減少しているが、これらのものは一時的なものかどうか不明である。

(第2表) オオルリの調査場所別出現数(1998年)

	調査延長	材刈♂数	調査責任者	延べ参加数
①上川(今熊山北沢、同南沢、金剛の滝)	5	3	河村道寛	2
②加住南丘陵(谷地川源流部)	6	2	大川征治	7
③川口丘陵(天合峰、釜の沢、滝の沢)	4		川戸恵一	6
④美山(山入川奥、美山小学校奥、お屋敷川)	5		湯原直彦	2
⑤小津(小津バス停奥、小津川源流部)	6	3	三好恒雄	1
⑥醍醐川上流(醍醐川上流部、ににく沢)	5	4	馬場裕	2
⑦醍醐川下流(醍醐川下流部、盆堀林道)	7	2	新田茂	3
⑧和田峠下(くぬぎ沢、和田峠谷)	3	3	古山隆	2
⑨明王峠下(明王溪谷、クラ骨沢、ピロウ沢)	6	5	門口一雄	2
⑩力石周辺(力石沢、南土沢、駒木野沢他)	5	3	山崎悠一	2
⑪松竹周辺(板当・滝の沢林道、八王子城跡北)	12		今井達郎	5
⑫元八王子(御主殿の滝奥、八王子城跡奥)	4	1	鈴木章七	5
⑬裏高尾(小下沢林道関場峠迄)	5	4	阿江範彦	1
⑭小仏城山下(日影沢城山頂上迄、行の沢)	5	1	小池一男	1
⑮高尾山1(6号路、3号路、琵琶滝下山J-入)	5	4	木村晴美	7
⑯高尾山2(小仏川下流、蛇滝J-入、4・5・1号路)	7	5	粕谷和夫	2
⑰大垂水峠下(案内川上流から一丁平方面)	3	1	川上恚	5
⑱表高尾(中沢川、入沢川、榎窪川)	10	2	柚木鎮夫	2
⑲初沢川(初沢川)	3		田中英吉	1
計	104	43		58

第4表 夏鳥の97年、98年出現数の比較

①~⑱は第2表の ①~⑱に対応		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	出現箇所数	出現個体数
		上川	加住南丘陵	川口丘陵	美山	小津	醍醐上流	醍醐下流	和田峠下	明王峠下	力石周辺	松竹周辺	元八王子	裏高尾	小仏城山下	高尾山琵琶滝	高尾山蛇滝	大垂水峠下	表高尾		
97年	ツドリ					1	2	1	1	1	2	1	1		2	1	2	1	1	13	17
98年	ツドリ	1	1			1		1	1	1	1	1	1		1			2		11	12
97年	朴ギス		1	1	1	1	1	1			2	1	1		1		1	3	1	13	16
98年	朴ギス			1	2			1	1		1				2			2	1	8	11
97年	ミソザイ			1			4	2	2	6	3	1		5		1	2			10	27
98年	ミソザイ			2		2	3	2	3	2	2		2	3	1	2	1			12	25
97年	クツグミ	1		3	8	3	8	9	2	5	7	2	4	2	6	4	4	2	3	17	73
98年	クツグミ	3	1		8	5	6	4	5	1	2	3	1	3	6	3	3	3	2	17	59
97年	ヤブサメ	1	5	7	5	8	6	10	3	4	7	5	9	5	5	3	12	3	4	18	102
98年	ヤブサメ	5	2	3	6	5	3	4	5	6	12	15	10	3	4	3	12	3	4	18	105
97年	セダ イソクイ	1			1	3	6	6	2	5	11	11	2	3	2	3	3	2	1	16	62
98年	セダ イソクイ	1	1		3	4	10	2	2	4	6	4	2	3	4	2	4	1	2	17	55
97年	ヒバサ	2	7		2	2	5	2	1	1	1	1	1		2	3	4		2	15	36
98年	ヒバサ	1	6	1	2	1		1	1	1	3	4	2		2	2	4	1	2	16	34
97年	材刈	2	2	3	1	2	4	3	1	4	3	3	3	3	2	3	6	2	1	18	48
98年	材刈	3	2			3	4	2	3	5	3		1	4	1	4	5	1	2	15	43
97年	サノリチヨウ			2		1		2				2						1		5	8
98年	サノリチヨウ	1				2		2			1	1				1		2		7	10

第3表 オオルリ出現期における夏鳥他全野鳥の出現状況(●印は出現、数字は羽数 1998年4月~6月)

①~⑱は第2表の①~⑱に対応	① 上川	② 加住南丘陵	③ 川口丘陵	④ 美山	⑤ 小津	⑥ 醍醐上流	⑦ 醍醐下流	⑧ 和田峠下	⑨ 明王峠下	⑩ 力石周辺	⑪ 松竹周辺	⑫ 元八王子	⑬ 裏高尾	⑭ 小仏城山下	⑮ 高尾山琵琶滝	⑯ 高尾山蛇滝	⑰ 大垂水峠下	⑱ 表高尾	⑲ 初沢川	出現箇所数	出現個体数		
40 カウウ											●										1		
52 ゴイサキ							●															1	
59 コサキ											●											1	
62 アオサキ		●									●											2	
88 カルガモ		●		●		●					●							●		●		8	
120 トビ		●	●		●		●				●	●			●							8	
123 オオカ		●	●								●	●										4	
129 ノスリ			●						●						●							3	
130 サシバ											●					●						1	
149 コシユゲイ	●	●		●	●		●		●		●	●	●		●	●	●	●	●	●		15	
150 ヤマトリ											●											2	
151 キジ	●	●	●	●	●		●	●		●	●											9	
296 キジハト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●		18	
298 アオハト		●							●	●	●											5	
303 ツツトリ	1	1			1		1	1	1	1	1	1		1			2					11	12
304 ホトキス			1	2			1	1		1				2			2	1				8	11
320 アマツハメ			●			●				●												3	
326 カリセミ							●				●											2	
331 アオケラ	●	●		●	●	●		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		15	
336 アケケラ	●	●	●	●	●					●	●											3	
339 コケラ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		18	
347 ツハメ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●		15	
350 イワツハメ						●				●	●				●	●	●					5	
354 キセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●		18	
355 ハクセキレイ		●									●				●							4	
356 セグロセキレイ		●	●							●	●											4	
367 ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		19	
369 モズ		●			●					●	●											4	
375 カリガラス							●															1	
376 ミソサザイ			2		2	3	2	3	2	2		2	3	1	2	1						12	25
385 コルリ					1																	1	1
396 トラツグミ							●				●											2	
399 クロツグミ	3	1		8	5	6	4	5	1	2	3	1	3	6	3	3	3	2				17	59
402 シロハラ																●						1	
405 ツグミ		●	●				●															3	
409 ヤブサメ	5	2	3	6	5	3	4	5	6	12	15	10	3	4	3	12	3	4				18	105
410 ウグイス	5	7	5	4	8	5	9	6	10	19	25	20	6	13	3	12	5	5	2			19	169
422 センダイムシクイ	1	1		3	4	10	2	2	4	6	4	2	3	4	2	4	1	2				17	55
427 キビタキ	1	6	1	2	1		1	1	1	3	4	2		2	2	4	1	2				16	34
430 オオルリ	3	2		3	4	2	3	5	3		1	4	1	4	5	1	2					15	43
434 サンコウチョウ	1			2		2				1	1			1			2					7	10
435 エナガ	●	●		●			●		●	●	●		●		●	●	●					11	
438 コガラ													●		●							2	
439 ヒカラ	●				●	●	●	●	●	●	●	●			●							11	
440 ヤマガラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		17	
441 シジョウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		19	
444 ビジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		19	
449 ホオジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		18	
455 カシラダカ		●																				1	
461 アオジ	●		●				●								●	●	●					6	
471 カワラヒロ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		15	
485 イカル	●	●			●		●				●	●			●							15	
486 シメ		●																				1	
488 スズメ	●	●	●	●	●		●	●		●	●				●	●	●	●	●	●		14	
493 ムクドリ		●	●							●	●											6	
496 カケス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		17	
498 オナガ		●	●																			4	
503 ハシホソガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		11	
504 ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		17	
トハト	●	●													●	●	●					5	
ガビチョウ	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		15	
出現種数	30	40	32	30	32	20	36	28	26	34	43	28	19	27	30	31	27	27	20		61		



果樹査察世業管三才の川表 平の十丸平

夫味谷群：ぬちまり

雨風おとものこ、ふける果てと副る穴開コキ土の冠川や蓋の土赤おミサで  
で代まて蓋開のケ毛令、ふあててはけあすともコ果始川取の如故御手の尹皮お  
ける果て液おとものごおミサで代おコ果開、ノお代ノ代開お昔耕の果堂のミサ  
ノ開きり取のこ、代のあハテノ類夫ノコさふける果てるところなるものご、  
果堂の果取、ふあ、ふあは要極るを類又果果の子まコ果開指果始川取の姿を  
る果取果堂の果取アと行ける果開果堂の牛ベイト、じやモハイト、じやモにるも  
ゴと行ける果開コ果取果の平 8991 7 20 日おとものこ、ふあ一や二子

雨風査察、ト

、まの果合川果きの川表る代果代大の川表此

昔当国うぶ衣査察、ト

コ伊代代各、の代取コ果代、の代取コ果代、の代取コ果代、の代取コ果代、  
杏出出回果コ川表、の代取コ果代、の代取コ果代、の代取コ果代、  
べい、るありり取の



千史・千史  
千史・大  
一  
五五・五五  
じに・二  
千歴・千  
一  
夫三  
善・代  
升富・五  
毛  
千又サ本類、千  
千五樹木

昌茂木書、(外・中果類類) 果合川果き、1995 果不謝共津位

# 平成10年 浅川のカワセミ等営巣地調査結果

取りまとめ：粕谷和夫

カワセミは赤土の崖や川原の土手に横穴を掘って巣を作る。このような場所は近年の宅地造成や河川改修によって失われつつある。今までの調査でもカワセミの営巣の報告は僅かしかない。現実にはカワセミはどのような所に巣を作り、どのようなところで巣を作ろうとして失敗しているのか、この辺りを調べ、今後の河川改修計画等にもその結果を反映する必要がある。また、河原で営巣するコチドリ、イカルチドリ、イソシギの営巣調査を行って野鳥の繁殖環境をモニターする。このような目的で1998年の繁殖期に調査を行った

## 1. 調査場所

北浅川の大沢橋から浅川の多摩川合流点迄。

## 2. 調査方法と担当者

大沢橋から浅川の多摩川合流迄を約1km 四方のメッシュに区切り、各メッシュ毎に八王子カワセミ会員の担当者を決め、4月から7月の間に浅川に数回出向き営巣状況の調査を行った。調査区域(メッシュ)と担当者は次の通りである。メッシュの解説は別掲の野鳥繁殖調査結果を参照して下さい。

## 3. 調査区域(メッシュ)及び担当者

- ①大沢橋～深沢橋(八王子0K)・・・・・・・・・・渡辺仁
- ②深沢橋～元木橋(拝島1A)・・・・・・・・・・白川司・史子
- ③元木橋～陵北大橋(拝島1B)・・・・・・・・・・白川司・史子
- ④陵北大橋～上巻分方小裏(拝島2B)・・・・・・・・・・柚木鎮夫・育子
- ⑤上巻分方小裏～老人ホーム前(拝島3B)・・・・・・・・川戸恵一
- ⑥老人ホーム前～松枝橋下流500m(拝島4B)・・・・栗原勝・正江
- ⑦松枝橋下流500m～城山川合流点(拝島4A)・・・・杉森熊二・ユリ
- ⑧城山川合流点～萩原橋上流100m(八王子5K)・・・・清水茂
- ⑨萩原橋上流100m～川口川合流点(八王子6K)・・・・小沢礼子・節子
- ⑩川口川合流点～大和田橋(八王子7K)・・・・・・・・倉本修
- ⑪大和田橋～山田川合流点(八王子8J)・・・・・・・・細谷修一
- ⑫山田川合流点～長沼橋(八王子9H)・・・・・・・・丸山二三夫
- ⑬長沼橋～平山橋下流400m(武蔵府中0H)・・・・大川征治・香
- ⑭平山橋下流400m～一番橋下流400m(武蔵府中1J)・下重光正・喜代
- ⑮一番橋下流400m～高幡橋下流250m(武蔵府中2K)・金子凱彦
- ⑯高幡橋下流250m～新井橋下流250m(武蔵府中3K)・小塩菊子、藤本ヤス子、  
木村正子
- ⑰新井橋下流250m～多摩川合流(武蔵府中4K)・・・・青木繁昌

#### 4. 結果

全体の調査結果は第1表～第4表の通りである。

##### (1) カワセミ

5ヶ所で繁殖行動が確認されたが、どこも巣立ち迄は確認出来なかった。深沢橋上流 200m のもの(①八王子 0K)は巣作り迄、松枝橋下流 240m のもの(⑥拝島 4B)は5月4日～5月24日の間、親の巣穴出入りが確認されたが、その後5月30日の観察以降では巣穴出入りは観察されなかった。25日～29日の間に巣立ったかどうかは観察してないので不明である。

萩原橋から川口川合流のもの(⑨八王子 6K)は成鳥の餌運び、新井橋下のもの(⑩武蔵府中 3K)は5月18日迄巣穴出入りを確認したが、その後子供の悪戯により巣が放棄されたようであった。

なお、金子凱彦会員が昨年(1997年)に日野市内範囲で観察した結果では昨年は5ヶ所で営巣行動が観察された。

##### (2) コチドリ、イカルチドリ、イソシギ

コチドリは中流から下流で2組、イカルチドリは上流で1組、イソシギは中流で5組の繁殖行動が観察された。

参考1：渡辺仁会員観察の深沢橋上流 200m (八王子 OK) の詳細は次の通りである。

- \*"98/03/21", "カワセミ", "飛翔", "下恩方町、深沢橋上流 200m の河川沿い植林地に飛翔。下枝に止ったあと、植林地対岸の川にかかるやぶに飛込む。♂♀不明。"
- \*"98/03/29", "カワセミ", "飛翔", "下恩方町ゆうやけ橋～深沢橋上流 200m を踏査、11:30～13:30、ゆうやけ橋付近で下流から上流に飛翔する声を聴く"
- \*"98/03/29", "カワセミ", "造巣", "下恩方町ゆうやけ橋～深沢橋上流 200m を踏査、植林地対岸(右岸)岩壁前のつるに止り、壁面(樹木の根がおおいかぶさるようになっている)に飛び上って突っ込む巣穴掘りを5回程度繰返す。♂。色むらのある濃い色の個体。13時10分より10分程度"
- \*"98/04/04", "カワセミ", "造巣", "(陵北大橋～大沢橋定期カウントの終了後)、13:20～30、深沢橋上流 200m で♂1が造巢中。巣穴はすでに出来あがっているように見える。河川により浸食された岩壁とその上部の樹林の間にできた植生土壌部分に穴を作っている。(入口のみの確認) 水面より 2.5m 程度の高さ。繁殖ランク 4-3"
- \*"98/04/11", "カワセミ", "飛翔", "下恩方町深沢橋上流 200m の川沿い植林地、15:38 ころ下流から鳴きながら現れる。2個所で止るが、巣穴付近には止らない。北側樹林方向へ飛び去る。15:48、再び下流から現れるが止らずに上流へ飛翔。♂♀不明。2回の出現が同じ個体かどうか不明。"
- \*"98/04/12", "カワセミ", "飛翔", "下恩方町深沢橋～大沢橋往復踏査、9:30～12:20、

12:11 深沢橋上流 200mの対岸枝に止っているがすぐに下流に飛び去る。♂♀識別できず

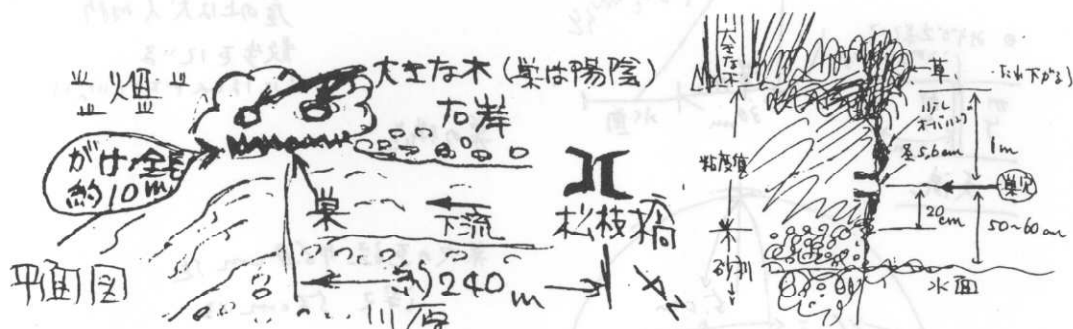
- \*"98/04/12","カワセミ","鳴声","下恩方町深沢橋上流 200mにて定点調査 14:15~15:05、15:01に上流から声を聴くが姿は見えず"
- \*"98/04/18","カワセミ","鳴声","下恩方町心源院裏より声が聞える。15:00。"
- \*"98/04/19","カワセミ","採餌","下恩方町 14:38、♂1が深沢橋上流 100mでツルヨシからダイビング、大き目の魚を捕える。上流に飛翔し、植林地下流左岸の枝で魚をたたきつけて弱らせる。その後、魚の頭を進行方向にくわえ上流に飛び去る。追跡するが、植林地の水面上の枝に止っているのをみた時にはすでに魚はくわえていない。求愛給餌の可能性があるが、他の個体は確認できず。その後上流に飛翔。"
- \*"98/04/29","カワセミ","飛翔","カワセミ会オオルリ調査(今井さん他、計4名) 8:00~15:25、深沢橋~松竹~板当林道~滝沢林道~城山~松竹コース、9:00 東大沢橋下流 100mで下流方向に飛翔する1個体、雌雄不明"
- \*"98/05/05","カワセミ","止り","下恩方町松竹橋下流 100mで、14:02♀1が枝に止っている。松竹橋上流へ飛び去る。"
- \*"98/05/05","カワセミ","飛翔","下恩方町松竹農地の北浅川、土手露出部対岸、15:15、上流方向へ飛翔する1個体。雌雄不明。"
- \*"98/05/05","カワセミ","止り","下恩方町松竹農地の北浅川、16:15♀1上流から飛来し、撮影用に設置されたと思われる枝に止る。再び上流へ飛び去る。"
- \*"98/05/09","カワセミ","飛翔","下恩方町カワセミ会定期カウント調査陵北大橋~大沢橋 7:30~10:30、9:28 深沢橋上流 200mで下流心源院裏手樹林に飛翔する1個体、雌雄不明。"
- \*"98/05/31","カワセミ","飛翔","下恩方町、カワセミ会オオルリ調査 8:00~15:30、深沢橋~松竹~城山~滝沢林道~板当林道~大沢橋のコース。8:30に松竹神社下流方向から上流方向へ飛翔する個体確認。水辺からは離れている住宅地にて観察。"
- \*"98/06/09","カワセミ","鳴声","下恩方町深沢橋上流 200mで下流方向より声をきく":
- \*"98/06/13","カワセミ","飛翔","下恩方町カワセミ会定期カウント、8:00~10:30、9:30 深沢橋上流 200m、川に突出した枝に止っていたが上流へ飛び去る。雌雄不明"
- \*"98/06/21","カワセミ","飛翔","下恩方町深沢橋上流 300m、人影に飛び立ち、松竹橋方面へ飛翔する。雌雄不明。18:40"

参考2: 栗原勝・正江会員観察の松枝橋下流 240m(拝島4B)の詳細は次の通りである。

\*5月4日、松枝橋下流 240mの浅川右岸でカワセミと巣穴発見(下流から川面スレスレに飛んできて通り過ぎた後、暫く様子を見てみると又、下流から飛んできて一直線に巣に入った)

\*5月5日、巣への出入りを観察

- \*5月16日、カメラ、ビデオ撮影に成功
- \*5月19日、昨夜の大雨が心配で見に行くも巣穴は水面から40cmあり安心
- \*5月23日、巣への出入りを観察、巣の上部に釣り人有り
- \*5月24日、巣への出入りを観察、巣の上部に釣り人有り
- \*5月30日、巣への出入り無し、巣上部の草が垂れかかっていた。釣り人有り
- \*5月31日~6月14日、巣への出入り無し
- \*6月27日、巣への出入り無し、巣穴が埋まっていた



(巣穴の掘られていた場所の概況・栗原)

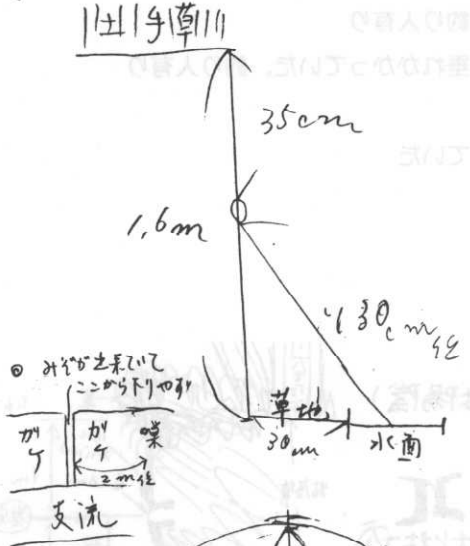
参考3：小塩菊子会員他観察の新井橋下（武蔵府中3K）の詳細は次の通りである。

- \*4月11日、新井橋下（左岸上流側）でカワセミペアの巣穴掘りを観察
- \*4月15日、巣穴に出入りを観察（1羽、2回）
- \*4月25日、巣穴に入るのを観察（1羽）
- \*4月27日、巣穴に出入りを観察（1羽、2回）
- \*5月1日、カワセミ姿見られず
- \*5月18日、巣穴に入るのを確認した最後の日（15時~16時、1羽）、以降姿無し
- \*6月15日、子供達が巣穴に砂を入れてあちこち穴を掘って遊んでいる



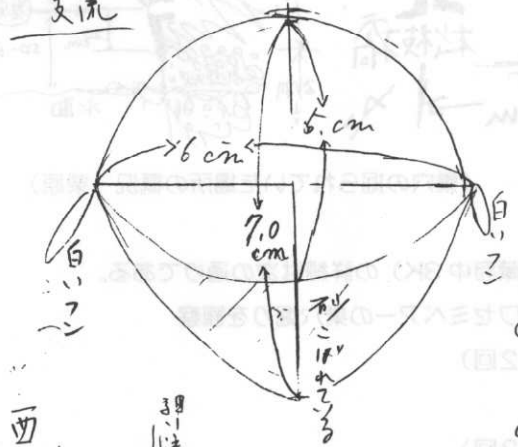


(かわせみ巢の状況) H10.4.10(土) 巢作り中 (藤本・木村・小塩) (3-5)



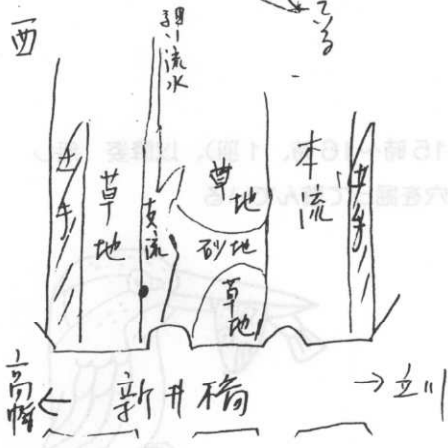
○ 水面からの高さ 距離  
180cm 30cm  
斜面の傾斜 垂直  
土質 小石まじり  
保全の状況 (良い) (近づける)  
崖の上は犬人時折  
散歩している  
人はほとんど下りていない

巢の構造



○ 巢穴の直径 46.0cm 径  
深さ 56cm 径  
丸く見えても実際の穴は  
だいたい下の方には砂を  
かき出してあるだけの穴だ

○ 巢の双方に白いフンがついており  
目立つ  
○ 中州の削られた断面  
(人工的に川内流水を変えたのが決まり)



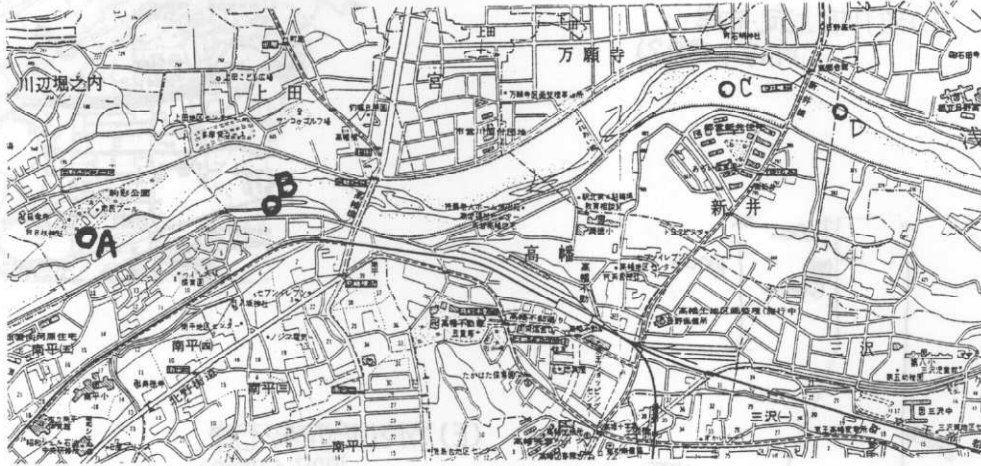
1 巢作りを本流の土手より観察  
\* 20分より5分間かくで土手入り下  
りする(オスのみ)メスは下で見ている  
(巢の穴に2分30秒入っている砂をかき出し  
たもあり、5-6回 10分以内に休む)

○ 1ヶ所が巢の下を走り去る

(巢穴の掘られていた場所の概況・小塩)

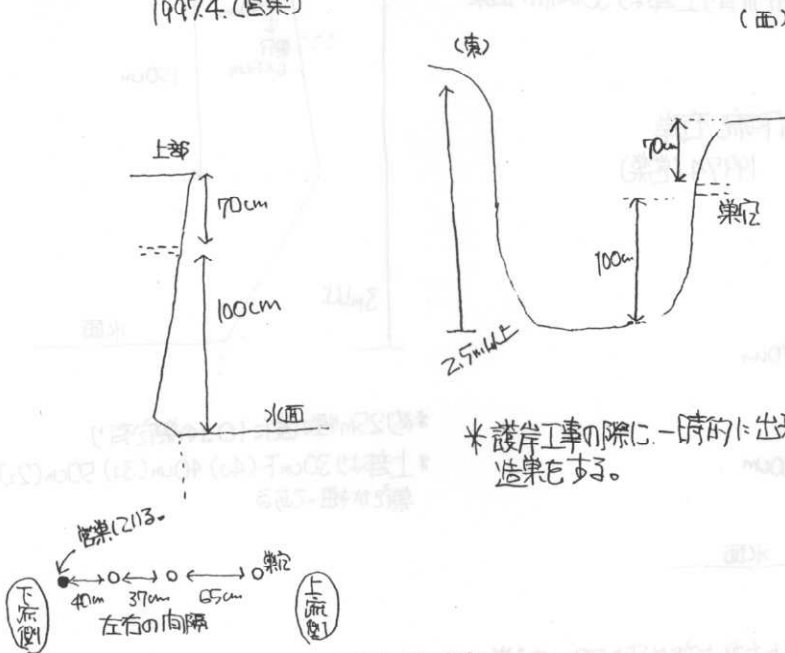
参考4：金子凱彦会員が昨年（1997年）に観察した概要は次の通りである。

- (A)は護岸工事終了後整地されて消失した
- (B)は台風時増水のため度々崖が崩れ環境悪化
- (C)は水の流れが変わり環境悪化
- (D)は本流にあるため毎年環境が変わる
- (E)は護岸工事のため土の壁が喪失した



(A)市民アール  
1997.4.(営業中)

(B)高幡橋上流.石岸  
1997.4.(営業)

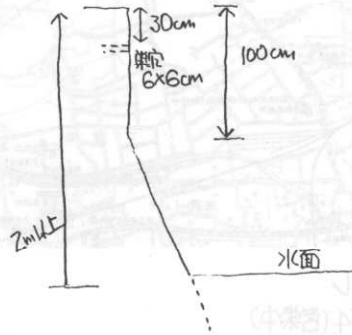


\*護岸工事の際に、一時的に出来たくぼ地の壁に  
造果もある。

\*4築込がここ上部より70cm程下の所に築込が掘れてある

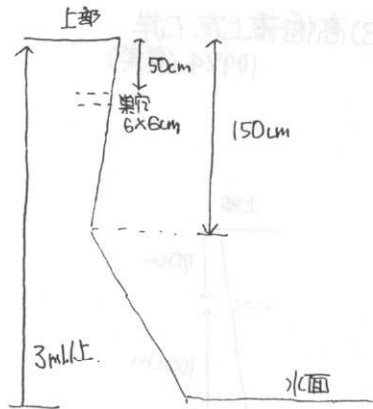


(C) 新井橋上流・右岸  
1997.4 (営業?)



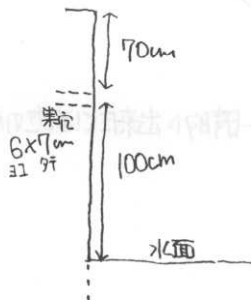
\*2ヶ所築石があり上部より30cm前には造築

(E) 万代川合流点・右岸  
1997.4 (営業)



\*約25m幅の崖に10コの築石有り  
\*上部より30cm下(4ヶ) 40cm(3ヶ) 50cm(2ヶ) 60cm(1ヶ)に築石が掘られている

(D) 新井橋下流・右岸  
1997.4 (営業)



\*築石は3ヶであるが上部より下へ70cmが1築、30cmが2築。

(第1表) 1998年浅川におけるカワセミの営巣状況

調査区域	メッカ番号	担当者	状況	調査結果	繁殖段階
① 大沢橋～深沢橋	八王子OK	渡辺	3/29深沢橋上流200m右岸岩壁前の藪に止まり、壁面に飛び上がって突っ込む巣穴を5回観察、4/4巣穴掘り完了、その後6/21迄調査したが詳細不明	造巣行動	4③
② 深沢橋～元木橋	拝島1A	白川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
③ 元木橋～陵北大橋	拝島1B	白川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
④ 陵北大橋～上巻分方小裏	拝島2B	柚木	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑤ 上巻分方小裏～老人ホム前	拝島3B	川戸	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑥ 老人ホム前～松枝橋下流500m	拝島4B	栗原	4/19 巣穴発見・松枝橋下流240m下流右岸の崖、5/4～24巣穴への親の出入り、5/30～6/14巣穴への出入り無し	巣穴へ親の出入り	5①
⑦ 松枝橋下流500m～城山川合流点	拝島4A	杉森	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑧ 城山川合流点～萩原橋上流100m	八王子5K	清水	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑨ 萩原橋上流100m～川口川合流点	八王子6K	小沢	4月中旬、成鳥2羽が河原の中の釣り堀池から魚を捕って下流の茂みに運ぶ	成鳥2羽羽運び	4①
⑩ 川口川合流点～大和田橋	八王子7K	倉本	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑪ 大和田橋～山田川合流点	八王子8J	細谷	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑫ 山田川合流点～長沼橋	八王子9H	丸山	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑬ 長沼橋～平山橋下流400m	武蔵府中OH	大川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑭ 平山橋下流400m～一番橋下流400m	武蔵府中1J	下重	4/29♂1羽一番橋近くから上流へ、5/30南平駅から流れ込む生活雑排水と浅川の合流付近の対岸豊田よりの土手で、♀に♂が魚を与える、6/14・6/28姿無し、巣は発見できず	♂から♀へ餌渡し	4⑤
⑮ 一番橋下流400m～高幡橋下流250m	武蔵府中2K	金子	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑯ 高幡橋下流250m～新井橋下流250m	武蔵府中3K	小塩	4/11新井橋下左岸・中州の削られた断面で巣穴掘中のペア確認、4/15・4/25・4/27・5/18巣穴入り確認、6/15子供達の悪戯による巣放棄を確認	営巣後放棄	5③
⑰ 新井橋下流250m～多摩川合流	武蔵府中4K	青木	5/30に1羽出現しただけで、それ以外は姿も営巣場所も発見出来なかった	営巣不明	2

注) 「メッカ」及び「繁殖段階」の解説は別掲の野鳥繁殖調査結果を参照して下さい。

調査年度	調査箇所	調査者	調査日	調査内容	調査結果
1998	大沢橋～深沢橋	渡辺	3/29	深沢橋上流200m右岸岩壁前の藪に止まり、壁面に飛び上がって突っ込む巣穴を5回観察、4/4巣穴掘り完了、その後6/21迄調査したが詳細不明	造巣行動
1998	深沢橋～元木橋	白川	3/29	繁殖行動認められなかった	営巣不明
1998	元木橋～陵北大橋	白川	3/29	繁殖行動認められなかった	営巣不明
1998	陵北大橋～上巻分方小裏	柚木	3/29	繁殖行動認められなかった	営巣不明
1998	上巻分方小裏～老人ホム前	川戸	3/29	繁殖行動認められなかった	営巣不明
1998	老人ホム前～松枝橋下流500m	栗原	4/19	巣穴発見・松枝橋下流240m下流右岸の崖、5/4～24巣穴への親の出入り、5/30～6/14巣穴への出入り無し	巣穴へ親の出入り
1998	松枝橋下流500m～城山川合流点	杉森	3/29	繁殖行動認められなかった	営巣不明
1998	城山川合流点～萩原橋上流100m	清水	3/29	繁殖行動認められなかった	営巣不明
1998	萩原橋上流100m～川口川合流点	小沢	4月中旬	成鳥2羽が河原の中の釣り堀池から魚を捕って下流の茂みに運ぶ	成鳥2羽羽運び
1998	川口川合流点～大和田橋	倉本	3/29	繁殖行動認められなかった	営巣不明
1998	大和田橋～山田川合流点	細谷	3/29	繁殖行動認められなかった	営巣不明
1998	山田川合流点～長沼橋	丸山	3/29	繁殖行動認められなかった	営巣不明
1998	長沼橋～平山橋下流400m	大川	3/29	繁殖行動認められなかった	営巣不明
1998	平山橋下流400m～一番橋下流400m	下重	4/29	♂1羽一番橋近くから上流へ、5/30南平駅から流れ込む生活雑排水と浅川の合流付近の対岸豊田よりの土手で、♀に♂が魚を与える、6/14・6/28姿無し、巣は発見できず	♂から♀へ餌渡し
1998	一番橋下流400m～高幡橋下流250m	金子	3/29	繁殖行動認められなかった	営巣不明
1998	高幡橋下流250m～新井橋下流250m	小塩	4/11	新井橋下左岸・中州の削られた断面で巣穴掘中のペア確認、4/15・4/25・4/27・5/18巣穴入り確認、6/15子供達の悪戯による巣放棄を確認	営巣後放棄
1998	新井橋下流250m～多摩川合流	青木	5/30	1羽出現しただけで、それ以外は姿も営巣場所も発見出来なかった	営巣不明

(第2表) 1998年浅川におけるコチドリの影響状況

調査区域	メッカ番号	担当者	状 況	調査結果	繁殖段階
① 大沢橋～深沢橋	八王子0K	渡辺	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
② 深沢橋～元木橋	拝島1A	白川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
③ 元木橋～陵北大橋	拝島1B	白川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
④ 陵北大橋～上巻分方小裏	拝島2B	柚木	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑤ 上巻分方小裏～老人ホーム前	拝島3B	川戸	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑥ 老人ホーム前～松枝橋下流500m	拝島4B	栗原	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑦ 松枝橋下流500m～城山川合流点	拝島4A	杉森	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑧ 城山川合流点～萩原橋上流100m	八王子5K	清水	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑨ 萩原橋上流100m～川口川合流点	八王子6K	小沢	4/19、2羽が追いかけっこ様な行動・浅川橋下流側	求愛行動	4⑤
⑩ 川口川合流点～大和田橋	八王子7K	倉本	5/5、2羽の内1羽が頭を先に沈めて足で小石を後方にかき出す動作を繰り返す。その後座る動作をするが座らない。もう1羽はその周りを歩いていた(⑨と隣接していることから同一ペアと推定)	造巣行動	4③
⑪ 大和田橋～山田川合流点	八王子8J	細谷	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑫ 山田川合流点～長沼橋	八王子9H	丸山	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑬ 長沼橋～平山橋下流400m	武蔵府中0H	大川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑭ 平山橋下流400m～一番橋下流400m	武蔵府中1J	下重	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑮ 一番橋下流400m～高幡橋下流250m	武蔵府中2K	金子	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑯ 高幡橋下流250m～新井橋下流250m	武蔵府中3K	小塩	4/11浅川園上流の砂地でペア確認、6/15他の鳥を激しく追い払う	結果未確認	4⑤
⑰ 新井橋下流250m～多摩川合流	武蔵府中4K	青木	繁殖徴候確認出来なかった	営巣不明	2

注) 1. 「メッカ」及び「繁殖段階」の解説は別掲の野鳥繁殖調査結果を参照して下さい。

2. ⑨のものと同のものとは位置関係から同一のペアと推定される

(第3表) 1998年浅川におけるイカルチドリの影響状況

調査区域	メッカ番号	担当者	状 況	調査結果	繁殖段階
① 大沢橋～深沢橋	八王子0K	渡辺	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
② 深沢橋～元木橋	拝島1A	白川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
③ 元木橋～陵北大橋	拝島1B	白川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
④ 陵北大橋～上巻分方小裏	拝島2B	柚木	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑤ 上巻分方小裏～老人ホーム前	拝島3B	川戸	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑥ 老人ホーム前～松枝橋下流500m	拝島4B	栗原	1番河原で鳴きながら歩き廻っていた	1番鳴き交わし	4④⑥
⑦ 松枝橋下流500m～城山川合流点	拝島4A	杉森	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑧ 城山川合流点～萩原橋上流100m	八王子5K	清水	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑨ 萩原橋上流100m～川口川合流点	八王子6K	小沢	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑩ 川口川合流点～大和田橋	八王子7K	倉本	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑪ 大和田橋～山田川合流点	八王子8J	細谷	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑫ 山田川合流点～長沼橋	八王子9H	丸山	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑬ 長沼橋～平山橋下流400m	武蔵府中0H	大川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑭ 平山橋下流400m～一番橋下流400m	武蔵府中1J	下重	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑮ 一番橋下流400m～高幡橋下流250m	武蔵府中2K	金子	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑯ 高幡橋下流250m～新井橋下流250m	武蔵府中3K	小塩	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑰ 新井橋下流250m～多摩川合流	武蔵府中4K	青木	繁殖徴候確認出来なかった	営巣不明	2

注) 「メッカ」及び「繁殖段階」の解説は別掲の野鳥繁殖調査結果を参照して下さい。



(第4表) 1998年浅川におけるイソシギの営巣状況

調査区域	メツシ番号	担当者	状 況	調査結果	繁殖段階
① 大沢橋～深沢橋	八王子OK	渡辺	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
② 深沢橋～元木橋	拝島1A	白川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
③ 元木橋～陵北大橋	拝島1B	白川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
④ 陵北大橋～上巻分方小裏	拝島2B	柚木	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑤ 上巻分方小裏～老人ホーム前	拝島3B	川戸	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑥ 老人ホーム前～松枝橋下流500m	拝島4B	栗原	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑦ 松枝橋下流500m～城山川合流点	拝島4A	杉森	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑧ 城山川合流点～萩原橋上流100m	八王子5K	清水	4/12交尾確認・鶴巻橋付近、5/17萩原橋付近で2羽が異常な警戒の声	交尾、警戒声	4⑤
⑨ 萩原橋上流100m～川口川合流点	八王子6K	小沢	4/5・5/5 2羽が追いかけてこの様な行動・萩原橋付近	求愛行動	4⑤
⑩ 川口川合流点～大和田橋	八王子7K	倉本	4/13 2羽が流れの中の岩や岸辺で翼を小刻みに震わせる 5/5せわしない鳴き方を続け6～7回転回飛行	求愛行動	4⑤
⑪ 大和田橋～山田川合流点	八王子8J	細谷	4/8交尾確認・新浅川橋上流側、4/18交尾確認・大和田橋下流側	交尾	4⑤
⑫ 山田川合流点～長沼橋	八王子9H	丸山	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑬ 長沼橋～平山橋下流400m	武蔵府中OH	大川	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑭ 平山橋下流400m～一番橋下流400m	武蔵府中1J	下重	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑮ 一番橋下流400m～高幡橋下流250m	武蔵府中2K	金子	繁殖行動認められなかった	営巣不明	2
⑯ 高幡橋下流250m～新井橋下流250m	武蔵府中3K	小塩	1998/4/11浅川園上流の砂地でペア一確認	結果未確認	3
⑰ 新井橋下流250m～多摩川合流	武蔵府中4K	青木	繁殖徴候確認出来なかった	営巣不明	2

注) 「メツシ」及び「繁殖段階」の解説は別掲の野鳥繁殖調査結果を参照して下さい。



# 高尾山カウント結果 (1997年)

## 1. 琵琶滝コース

調査者：木村晴美K, 杉森ユリス, 永見博子N, 久保田ヤス子ク, 三好恒雄M, 杉田陽子入, 千葉慎子T, 白川史子シ, 傍嶋玲子ソ

月*日	1月	2*14	3*14	4*4	5*9	6*6	7*4	8*1	9*9	10*8	11*7	12*5
天気	天気	晴	晴	晴	曇雨	雨曇	晴	晴	晴	曇晴	晴	晴
開始時刻	不良	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00
終了時刻	調査	16:15	16:30	16:40	16:15	15:35	16:15	15:25	15:20	15:30	14:50	15:20
調査者	無し	K入N	KNS入T	KMシクTソ	KN入ソ	KN入	KソT	KMソNソ	K入ソT	KM入TNカ	KMN入YTSソ	KMN入ソ
52 コイ特*		1		1								
88 カカモ		4	3	2	2	1	2					2
120 トビ			1							1		
129 ノスリ			1									
149 コシユキ							2					
296 キツハト		4	10	7	10	10	5	2	2	1	1	1
331 アカゲラ				1	1	2	2	1	1		1	
336 アカゲラ				1						1	1	
339 コケラ		10	10	7	7	10	2	1	2	6	2	2
350 イワハメ					10	10	5	30				
354 キキレイ				5	4	1	2			1	1	1
355 ハキレイ		1	1									1
356 トラキレイ				1								
367 ヒヨドリ		20		7	10	20	20	20	10	10	10	10
376 ミソサザイ			2	1	2	1					1	3
379 カキケリ		2	1	1								
386 鳩ヒタキ		1		1								7
399 クロクミ					2	4	4	1				
402 シロハラ			2									1
409 キツメ					2	3	5	1				
410 ウグイス		1	1	2	1	3	1	1			1	1
422 センダクイ						1						
424 キタイタキ		4	1									
427 キヒタキ				1	2	3	4	1				
430 オオムシ					1	3	4	1				
434 シンクウチョウ							1					
435 エナカ		20	3	3					10	10	10	20
438 コケラ		2		1						1		
439 ヒカゲラ		1	2	1	2	2	1	2	2	1	1	1
440 キマケラ		5	10	3	5	3	2	3	3	10	2	3
441 シシユウカラ		20	20	6	10	20	10	5	6	10	10	20
442 コシユウカラ		2								1		
444 シシロ		20	10	1	2	10	10	5	4	1	4	20
449 オオシロ		4	2		2		1	1		2		1
461 アオジ		2	6	2							3	2
471 カリタビ			2									
483 ウツ		4										
485 傍				1	3	3	2	1				
488 スズメ		5	4	1		3	2		1	1		1
496 カラス		4		2	1	1	1	1	1	3	1	1
503 ハシボソガラス		10	10	1	2	2	10		4	1		20
504 ハシブトガラス		5	2	6	7	10	4	10	6	4	10	10
B トハト		10	10	5	5	8	4	6	6	3		1
カヒチョウ			1	1	1		1	1				
ソウシチョウ			6						4	4	3	3
種類計		25	25	28	24	24	26	20	15	20	17	23
羽数計		162	121	72	94	134	107	94	62	72	62	132

2. 蛇滝コース (小仏川下流、蛇滝コース、4・5・1号路) 1997

調査者: 粕谷和夫

月*日(1997)	1*4	2*1	3*3	4*8	5*5	6*7	7*5	8*21	9*10	10*11	11*20	12*20
天気	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇雨	晴
開始時刻	7:10	6:45	6:50	6:30	6:30	6:35	6:40	8:15	7:30	6:30	7:30	8:25
終了時刻	13:00	11:50	11:25	11:10	11:10	12:30	11:25	11:45	11:00	10:40	12:30	13:05
調査者	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K
52 コイサキ						2						
88 カサモ	2	1	4		5	5		5	1	1	15	10
120 ビ						1						
123 材カ	1	1										
149 コシユイ				2	3							
296 キンバト	1	3	3	5	6	1		7	3	3		3
298 アオバト						3			1		1	
303 ツドリ					2							
304 ホトキス						1						
318 ハオアマツバメ										1		
319 ヒメアマツバメ										5		2
326 カサミ		1	1							1		
331 アカガラ	1	1	2	5	1	5	2		1	3	1	
336 アカガラ											4	
337 オアカガラ		1	1									
339 コガラ	8	15	10	10	7	8	8	2	11	4	11	8
347 ツバメ				4	7	12	10					
350 イワツバメ				30	2	10	20			20		
354 キセキレイ	2	2	1	7	9	20	5	4	2	4	5	
355 ハクセキレイ										2		
356 セグロセキレイ	2	3			1		1		1	2	4	
367 ヒトリ	11	16	25	20	55	40	35	10	12	180	70	55
369 モス										3	4	
375 カワガラス									1			
376 ミソサザイ	5	2	4	5	2	1					3	3
379 カヤクグリ	1											
386 ルビキ	2	7	2	1							3	8
387 ショウビキ		1	2								1	
395 マジロ					1							
399 カウカミ					4	2	1	1				
400 アカハラ					1							
402 シロハラ	1	1	2	1								1
405 ツクミ	1	2	1								1	1
409 ヤブキ				1	9	12	4					
410 ウグイス	3	2		12	5	5	2				2	5
422 センダ イシクイ					3	1	1					
424 キクイガキ		2	5									
427 キビキ					3	4	3					
430 オオム					4	6	2					
435 エカ	20	50	50	10	30	30			20	40	10	10
438 コガラ			10						10			
439 ヒガラ	6	25	15	25	10	5	3		12	5		17
440 ヤマガラ	10	16	25	40	20	11	5	7	30	30	70	40
441 シシユウカ	30	52	45	20	25	30	20	15	40	20	70	55
442 コシユウカ	3	10	9	3								
444 マジロ	10	22	15	40	35	35	35	8	35	100	60	30
449 ホトシロ	14	6	11	9	5	12	3	2		6	6	4
455 カシラガカ			2									10
461 アオシ	11	8	11	3	2						8	4
462 クロシ												1
471 カワレヒ						1						2
472 マヒ		15										
483 ウソ	10	16	5									
485 イナ				2	4	5	10	1		4	45	10
488 スズメ	30	22	15	40	40	30	25	10	10	20	30	20
493 ムクドリ	3		2	4	7	10						
496 カス		4	5	11		4	2			4	1	
503 ハツホウカラス	4	2	5	1	2	2	5		3	6	2	2
504 ハツトガラス	16	20	25	25	20	25	20	20	15	50	60	40
B トバト		2		10		13	8		2	4	8	
カビチヨウ				1		1	3		1		2	
種類計	27	33	31	30	32	34	25	13	20	25	27	24
羽数計	208	341	314	349	330	353	233	92	211	518	497	341

### 3. 大垂水コース 1997

調査者：川上恵K, 清水茂S, 横山由美子Y, 久保田ヤス子ク、夏目夫妻N, 三富恒男M, 白川史子シ, 千葉慎子T, 志村進シ

月*日	1*21	2*24	3*31	4*25	5*23	6*21	7*23	8*26	9*30	10*23	11*20	12*17
天気	晴	晴	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	曇
開始時刻	8:45	9:15	9:00	8:40	7:15	7:15	7:30	7:00	8:00	8:50	8:20	8:15
終了時刻	12:30	11:55	11:50	11:30	10:20	10:00	11:00	9:50	10:50	11:20	11:00	10:50
調査者	KS	K	K	KTシ	K	K	K	K	K	K	K	K
88 カルモ	1				2	2			2			2
120 トビ	1								3	1	1	
145 チョウゲンボウ				1								
149 コウノゲイ	1		1		1	1	1					
296 キジバト	1		4	6	6	4		8	4	8	2	4
298 アオバト					1			1				
303 ツツドリ					1							
304 ホトキス					4	1						
331 アオケラ		1	1		1	1	1	1				1
339 コケラ	3		2	1	2		2		2	1	1	
354 キセキレイ	1	1	2	3	2	1	2	1	2	2	2	1
367 ヒトリ	17	7	5	8	15	10	8	10	8	10	7	10
369 モス	2	2								2	1	
376 ミソサザイ			2									
386 鳩ビタキ	1	3										1
387 ジョウビタキ	1	1								1	1	1
396 トラツグミ		1										
399 クロツグミ					2	2	2					
402 シロハラ	1											
405 ツグミ	4	2										
409 ヤブキナ				2								
410 ウグイス	3	2	4	7	5	6	4	3			1	2
422 センダ イムシクイ				2	2				1			
430 オオ桐				1	1	1						
434 キンコウチヨウ												
435 エナカ	7	5	4						6	15	8	5
439 ヒカラ									5			
440 ヤマカラ	2	1	1		2	1	2	3	4	6	2	2
441 シジユウカラ	8	12	7	7	2	2	6		5	4	5	7
444 マジロ				10		4	15	5	15	6	6	6
449 ホホジロ	5	4	6	8	5	6	6	4	2	2	2	2
455 カシラガカ	5											
461 アオジ	4	2	3								2	
471 カワラヒリ				2	2		2	2				
481 ベニマシコ			2									
483 ウソ	8											
485 イカル							2	1	7	6		
488 スズメ	40	30	40	35	30	35	15	30	30	25	30	30
496 カラス	2			2		2			4	1		2
503 ハシボ ヲガラス	5	4	4	4	2	3	4	4	8	6	3	8
504 ハシボ トガラス	2	2	2	5		2	2	2				
ガビチヨウ	2	3		1			8		4	5	4	
種類計	25	18	17	18	20	18	17	14	18	17	17	16
羽数計	127	83	90	105	88	84	82	75	112	101	78	84

# 谷地川カウント結果 (1997年)

・月見橋～左入橋

新田茂N

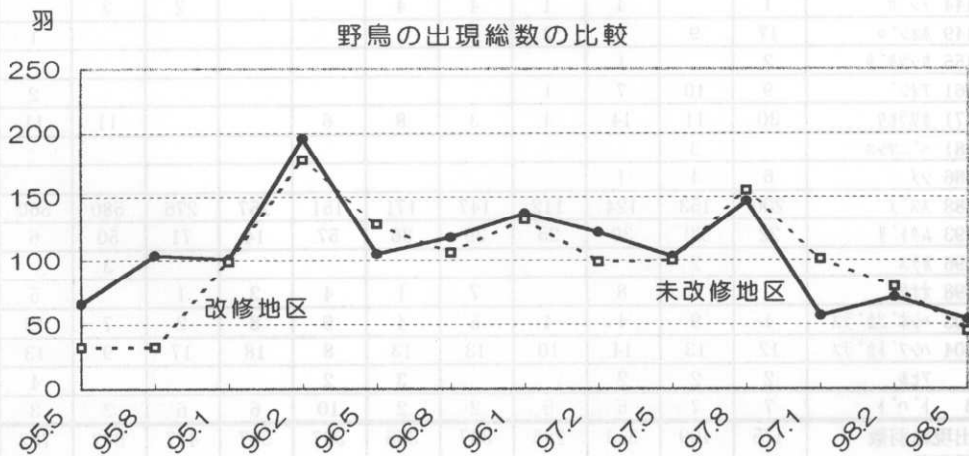
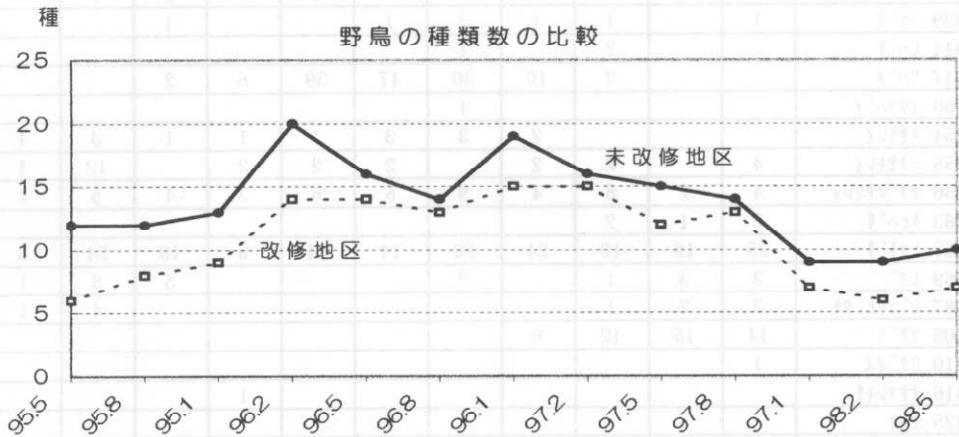
1997年 月*日	1*23	2*19	3*21	4*21	5*2	6*24	7*31	8*26	10*4	10*28	11*30	12*17
開始 時;分	7:30	9:00	9:40	8:45	6:25	9:00	9:40	8:30	8:40	8:45	10:40	9:40
終了 時;分	10:00	11:00	12:05	11:10	8:30	11:50	11:40	10:30	10:50	10:55	12:30	11:30
天候 (前後)	晴	晴	晴	曇	晴	晴	曇晴	曇	晴	晴	晴	曇
調査報告者	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
052 コイギ	4					2	5	1	2	1		
057 グイギ	2	1							1	1	1	
058 チュウギ									1			
059 コサギ	7	3	4	3	2	7	10	10	12	11	7	2
088 カカモ	44	62	41	34	19	23	27	39	48	44	84	48
089 コカモ	24	28	24	12					2	10	35	25
120 トビ		2	1									
123 オカ												1
149 コジユクイ				1	1	1						
151 キジ					1	1						
167 ハン					1	1	1	1				
296 キジハト	13	15	20	14	20	10	31	16	11	10	10	10
326 カリセミ	4	2	1	2			3	3	2	3	2	2
339 コゲラ	1		1	1	3	1			1			
344 ヒバリ			2		1							
347 ツバメ			2	10	30	47	39	6	2			
350 イワツバメ					1							
354 キセキレイ				2	3	3	1	1	1	3	4	3
355 ハクセキレイ	4		2	2		2	2	2		12	4	2
356 セグロセキレイ	4	2	6	4	9	5	6	3	4	5	1	3
363 タヒバリ	3	1	2									
367 ヒヨドリ	25	16	10	24	20	14	14	6	10	24	8	14
369 モズ	3	3	1		2				5	6	1	1
387 ショウビタキ	2	2	1							4	1	2
405 ツグミ	14	15	12	6								1
410 ウグイス	1											
416 オヨシキリ								1				
425 セッカ						1						
440 ヤマガラ						2						
441 シジュウカラ	8	8	4	7	2	2	1	2		4	6	2
444 メジロ	1		4	1	4	4			2	2		
449 ホシロ	17	9	5	2	2	1					1	2
455 カシラダカ	2		1									
461 アオシ	9	10	7	1							2	4
471 カラヒリ	30	11	14	4	3	8	6			11	11	12
481 ベニマシコ		3										
486 シメ	6	4	1									
488 スズメ	200	153	124	112	147	171	151	257	276	580	560	532
493 ムクドリ	22	20	30	25	39	36	57	14	71	50	6	75
496 カケス		2								3		
498 オカ		6	8		7	1	4	3	1		5	16
503 ハシボトガラス	4	9	4	4	5	4	9	8	2	7	13	5
504 ハシボトガラス	12	13	14	10	13	13	8	18	17	9	13	14
アヒル	2	2	2			3	2				4	
B トハト	7	7	5	5	2	2	10	6	6	2	3	3
出現総羽数	475	409	353	286	337	365	387	397	477	802	782	779
種類数	29	27	30	23	24	26	20	19	21	22	23	23



城山川上流・河川改修地区の野鳥（その2）

取りまとめ：粕谷和夫

城山川は、今迄に元八王子2丁目の中央高速道橋迄コンクリート化されてしまっている。現在、中央高速道橋の上流側も改修計画が具体化し、着工寸前となっている。この場所で中央高速道橋を境に上流側の未着手地区（城山大橋迄）と下流側の改修地区（上横川橋迄）に分けて野鳥の現況分布調査を行った。調査は1995年5月から年4回の割合で行い、川沿いをゆっくりした早さで歩き、川を中心に両幅約50mに出現した野鳥を種類別にカウントするものである。97年2月以降の結果は次表の通りで、また、95年5月以降の種類数と総個体数の比較は次図のとおりである。種類数で明らかに差があり、総数ではあまり差がない。97年11月・98年2月に総数で改修地区の方が上回ったのは、スズメの差によるものである。



城山川、河川改修未着手地区と改修地区における野鳥調査結果

未着手地区：城山大橋～中央高速道橋、改修地区：中央高速道橋～上横川橋

(調査者：川上恵)	97.2.18		97.5.24		97.8.20		97.11.19		98.2.17		98.5.19	
調査距離は両地区とも約1.3km	未着手地	改修地区	未着手地	改修地区	未着手地	改修地区	未着手地	改修地区	未着手地	改修地区	未着手地	改修地区
059 コサギ												
087 マガモ												
088 カルガモ	10	6	2	8	10	6	11	16	4	5	3	6
089 コガモ	8	2					8	10				
145 チョウゲンボウ	1											
149 コジュケイ												
151 キジ												
217 キアシキ												
296 キジハト	4	10	7	6	12	6	4		3		2	1
304 ホトキス			1									
326 カワセミ												
331 アオゲラ			1		2							
339 コゲラ			1									
347 ツバメ			8	4	4						2	4
354 キセキレイ	1			1	4	1	2	1	2		2	1
355 ハクセキレイ	1	1	3	8	4	3	1	2	1		2	1
356 セグロセキレイ		1						1				
360 ヒンスイ												
367 ヒトリ	6		12	10	6	7	5	1	6	3	5	
369 モス												
387 ショウビタキ												
405 ツグミ	2	2							2	2		
410 ウグイス												
440 ヤマガラ									1			
441 シジュウカラ	10		6		4	2	4		2		2	
444 メジロ											4	
449 ホオジロ		2										
455 カシラダカ	3											
461 アオジ	2	4					2					
471 カワラヒワ	24	4	2	2	6	3				7		2
488 スズメ	40	50	30	40	60	50	20	70	50	60	30	30
493 ムクドリ	4	5	20	9	18	60				2	2	
498 オナガ		3	4			6						
503 ハシホソガラス	2	4	2	2	2	2						
504 ハシブトガラス		3	4	4	4	4						
B トハト	4	2		6	11	5						
出現総羽数	122	99	103	100	147	155	57	101	71	79	54	45
種類数	16	15	15	12	14	13	9	7	9	6	10	7

# 鳥信 (1998年1月~6月)

## 1. 冬鳥の終認

089・コガモ	98.05/09	2羽	浅川・新井橋下	武蔵府中3K	青木繁昌、門口一雄・裕子 今井達郎
387・シヨウビタキ	98.04/04	1羽	北浅川・大沢橋~陵北大橋		

## 2. 夏鳥の初認

054・ササコイ	98.04/19	1羽	浅川・浅川大橋~大和田橋の水管橋下	八王子7K	小山万太郎
176・コトドリ	98.03/15	5羽	多摩川・滝山城跡下	拜島6E	古山隆
344・ヒバリ	98.02/17	1羽	日野市新町の畑、さえずり	立川10B	神谷古牧
347・ツバメ	98.03/21	2羽	浅川・新井橋橋下流側	武蔵府中4K	青木繁昌
350・イワツバメ	98.03/16	2羽	浅川・大和田橋付近	八王子8J	小山万太郎
409・ヤブサメ	98.03/11	1羽	長沼公園	八王子9G	馬場百合亜 湯原直彦
410・ウグイス	98.02/23	1羽	浅川・大和田橋~長沼橋、さえずり		
416・オオヨシキリ	98.04/21	1羽	浅川・浅川橋下流側	八王子6K	古山隆
422・センダイムシクイ	98.04/10	2羽	由木堀之内	武蔵府中1G	馬場百合亜
430・オオルリ	98.04/12	1羽	裏高尾・日影林道キャンプ場、山小屋を通過して上 がった所から振り返った杉の梢	与瀬9F	新井洋子

## 3. 通過

409・ヤブサメ	96.4/16・5/9	声	小宮公園	拜島7A	本島てるみ
422・センダイムシクイ	98.04/11	声	小宮公園	拜島7A	本島てるみ
427・キヒタキ	98.04/21	♂1羽	別所・蓮生寺公園	武蔵府中1D	登坂久雄
427・キヒタキ	98.04/28	1羽	滝山城跡公園・さえずり	拜島6D	新田茂
427・キヒタキ	98.5/7・5/9	♂1	小宮公園	拜島7A	本島てるみ

## 4. 希少種

056・アマサキ	98.04/12	1羽	多摩川・浅川合流、堰上流200m	立川4A	柚木鎮夫
056・アマサキ	98.06/21	1羽	高月町・水田	拜島6E	古山隆
058・チュウサキ	98.01/11	1羽	谷地川・新横山橋付近	拜島7B	新田茂他
090・トモエガモ	98.01/28	♀2	多摩川・高月浄水場他	拜島6E	古山隆
091・ヨシガモ	98.01/28	♂1	多摩川・高月浄水場他	拜島6E	古山隆
091・ヨシガモ	98.05/05	♂1	多摩川・滝山城跡下	拜島6E	古山隆
099・ホシハシロ	98.01/28	♂1	多摩川・高月浄水場他	拜島6E	古山隆
115・ミコアイサ	98.02/05	♂3羽	多摩川・谷地川合流部、潜水	立川1C	神谷古牧
160・クイナ	98.01/11	1羽	浅川・浅川大橋付近	八王子7K	田中英古他
160・クイナ	98.03/07	1羽	浅川・長沼橋下流300m、死んだザリガニをつつ いていた、4/4も同所で	八王子9G	山崎悠一・久美子
167・ハン	98.01/10	数羽	多摩川・多摩大橋下流側右岸	立川10C	探鳥会
167・ハン	98.01/11	2羽	北浅川・陵北大橋下、幼鳥、岸辺を泳ぐ	拜島2B	河村道寛・洋子、油井孝明
167・ハン	98.03/07	1羽	谷地川・多摩川合流部	立川10C	神谷古牧
167・ハン	98.05/09	1羽	川口川・唐犬橋~駒形橋、安養寺横左岸	拜島3C	鈴木章七他
167・ハン	98.05/23	1羽	多摩川・浅川合流付近	立川4A	阿江範彦
169・オオハン	98.01/10	数羽	多摩川・多摩大橋下流側右岸	立川10C	探鳥会
298・アオハト	98.04/21	声	別所・蓮生寺公園	武蔵府中1D	登坂久雄
298・アオハト	98.05/05	1羽	八王子城跡・御主殿林道を登った尾根道	与瀬9H	粕谷和夫
298・アオハト	98.05/09	声	市道山山頂南側	五日市4B	粕谷和夫
320・アマツバメ	98.05/09	3羽	浅川・一番橋上空	武蔵府中1J	門口一雄・裕子、青木繁昌 木村正子他2名
321・ヤマセミ	98.04/15	1羽	東京薬科大学池、平山城趾公園	武蔵府中OG	
336・アカケラ	98.01/10	1羽	多摩川・多摩大橋~中央線鉄橋	立川10C	探鳥会
336・アカケラ	98.01/16	1羽	七生丘陵・三中裏、3/9も同地で	武蔵府中3H	青木繁昌
336・アカケラ	98.02/01	1羽	小宮公園	拜島7A	登坂久雄

336・アカゲラ	98.02/05	1羽	小宮公園	拝島7A	神谷古牧
336・アカゲラ	98.02/07	♂1羽	小宮公園、同2/14・♂1羽、2/18・♂1羽+若1羽	拝島7A	本島てるみ
336・アカゲラ	98.03/16	1羽	小宮公園	拝島7A	本島てるみ
349・コシアカツバメ	98.05/09	1羽	浅川・ふれあい橋上流100m	武蔵府中3K	門口一雄・裕子、青木繁昌
360・ヒンズイ	98.04/23	1羽	多摩テック南側山道・さえずり	武蔵府中1G	木村正子
375・カワガラス	98.01/04	1羽	小仏川・駒木野病院付近	八王子1G	粕谷和夫
376・ミサザイ	98.02/01	1羽	小宮公園	拝島7A	登坂久雄
376・ミサザイ	98.03/07	1羽	小宮公園	拝島7A	本島てるみ
376・ミサザイ	98.03/07	1羽	小宮公園	拝島7A	青木繁昌
376・ミサザイ	98.03/26	1羽	堀之内、4/23・同所で2羽	武蔵府中1G	木村正子
379・カヤクグリ	98.03/07	1羽	高尾山・ケーブル山上駅西側トイレ下	八王子OF	粕谷和夫
396・トラツグミ	98.01/16	1羽	平山城趾公園、1/31も同じ場所	武蔵府中OG	馬場百合亜
396・トラツグミ	98.01/29	1羽	多摩森林学園	八王子2H	本島てるみ
396・トラツグミ	98.02/08	1羽	みつい台住宅隣雑木林	拝島6B	新田茂
396・トラツグミ	98.02/14	1羽	小宮公園	拝島7A	本島てるみ
396・トラツグミ	98.04/03	1羽	高尾山・6号路山頂付近の斜面の枯葉の中でガサガサと餌探し	与瀬9E	木村晴美他
400・アカハラ	98.01/03	1羽	小宮公園、同1/19,2/11,2/14・各1羽	拝島7A	本島てるみ
400・アカハラ	98.01/11	1羽	南浅川・高尾山薬王院の自動車祈禱所南側斜面のイイギリの赤い実を食べていた	八王子1F	川上忠、横山由美子、福本順古
400・アカハラ	98.01/24	1羽	多摩川・滝山城跡下、河川敷の雪で倒された笹の枝、	拝島6E	三好恒雄
400・アカハラ	98.02/06	1羽	高尾山・6号路	八王子1F	木村晴美他
400・アカハラ	98.02/23	1羽	浅川・中央線鉄橋付近、セトカブの林	八王子9H	湯原直彦
400・アカハラ	98.03/08	1羽	北浅川・深沢橋付近	拝島1A	探鳥会
400・アカハラ	98.03/28	1羽	多摩川・滝山丘陵の北斜面で下を流れる小川に面した農家の入り口の木	拝島6E	三好恒雄
400・アカハラ	98.03/7・16	1羽	小宮公園	拝島7A	本島てるみ
400・アカハラ	98.04/05	1羽	台町見晴公園	八王子6J	粕谷和夫
416・オオソシキリ	98.05/23	1羽	JR八王子駅南口広場・♂のさえずり	八王子7J	粕谷和夫
416・オオソシキリ	98.05/04	1羽	案内川・案内橋付近、さえずり	八王子1E	粕谷和夫
424・クイタダキ	98.02/02	2羽	下柚木丘陵の樹冠	八王子9F	馬場百合亜
424・クイタダキ	98.03/07	5羽	高尾山・4号路釣り橋付近	八王子OF	粕谷和夫
424・クイタダキ	98.03/23	1羽	谷地川・多摩川合流地点、木の梢に止まってさえずっていた	立川1C	嶋崎太郎
427・キビタキ	98.04/14	1羽	長沼公園・さえずり、5/4,5/16,5/25,6/3も同地で	武蔵府中OG	馬場百合亜
427・キビタキ	98.04/14	1羽	平山城趾公園・さえずり、5/4,5/16も同地で	武蔵府中OG	馬場百合亜
427・キビタキ	98.04/15	1羽	由木堀之内・さえずり、5/25も同地で	武蔵府中1G	馬場百合亜
427・キビタキ	98.06/26	2羽	多摩テック付近・♂1羽大声でさえずり、1羽は声囁く♀と思ったが、色の淡い♂と思われる	武蔵府中1G	木村正子
434・サンコウチョウ	98.06/05	1羽	高尾山・6号路	八王子OE	木村晴美他
442・ゴジュウカラ	98.03/07	3羽	高尾山・4号路釣り橋付近	八王子OF	粕谷和夫
456・ミヤマホオジロ	98.01/14	♂1羽	平山城趾公園・地面で採餌、1/24・3/5も同じ場所	武蔵府中OG	馬場百合亜
456・ミヤマホオジロ	98.01/29	♂1羽	多摩森林学園	八王子2H	本島てるみ
456・ミヤマホオジロ	98.01/31	♀1羽	小宮公園・弁天池から木道に入った辺り、ホオジロ2羽と一緒に餌探し	拝島7A	登坂久雄
456・ミヤマホオジロ	98.03/07	♂1羽	平山城趾公園、3/8も同地で	武蔵府中OG	山崎悠一・久美子
456・ミヤマホオジロ	98.03/09	1羽	平山城趾公園	武蔵府中OG	青木繁昌
456・ミヤマホオジロ	98.03/22	♂1羽	平山城趾公園・カシラダカ約30羽の群の中	武蔵府中OG	粕谷和夫
461・アオジ	98.04/23	1羽	堀之内・コナラの木で高らかにさえずるとヒヨドリが邪魔をする	武蔵府中1G	木村正子
462・クロジ	98.01/07	1羽	小仏峠下・アオジと共に	与瀬7G	粕谷和夫
462・クロジ	98.03/06	♂1羽	初沢川上流	八王子2E	嶋崎太郎
462・クロジ	98.06/12	♀1羽	季節はずれ・谷地川下田橋下流、地面を歩き続け飛び立たない、飛べなくて高地へ帰れないかも知	立川10B	神谷古牧

468・ミヤマシト	98.03/21	1羽	浅川・ふれあい橋付近、河原の木にスズメ10羽と、その後地上におりる。確認ポイント(橙黄色の嘴、淡褐色の足、背中の模様、頭中央線が若鳥に一致)	武蔵府中3K	青木繁昌、門口一雄・裕子
470・アトリ	98.03/06	10羽	裏高尾・小下沢林道	与瀬8H	嶋崎太郎
480・コジュリン	98.03/28	3羽	多摩川・滝山城跡下、昭和堰堤右岸50m下流の葦原・オガリに混じり、一回り小さく、全体に赤褐色が目立って見えた他オガリに比べ褐色味があり、羽の判断は	拜島7D	三好恒雄
481・ヘニマシコ	98.01/10	♂1羽	多摩川・谷地川合流下流付近	立川1C	探鳥会
481・ヘニマシコ	98.03/23	1羽	谷地川・多摩川合流地点	立川1C	嶋崎太郎
481・ヘニマシコ	98.03/23	声	多摩川・滝山城跡下	拜島7D	嶋崎太郎
483・ウ	98.02/21	1羽	高尾山・日影沢、管理小屋手前200mの沢沿い	与瀬9F	小池一男
<b>5. 猛禽類</b>					
123・オオカ	98.01/10	1羽	多摩川・多摩大橋～中央線鉄橋	立川10C	探鳥会
123・オオカ	98.01/11	1羽	南浅川・陵南公園上空	八王子3H	古山隆
123・オオカ	98.01/11	1羽	谷地川・田島橋下流側	拜島9B	大川征治・香、神谷古牧
123・オオカ	98.01/11	1羽	浅川・大和田橋～長沼橋	八王子8J	湯原直彦・ひろ
123・オオカ	98.01/24	1羽	多摩川・浅川合流付近	武蔵府中4K	阿江範彦
123・オオカ	98.02/06	1羽	高尾山・6号路上空	八王子1F	木村晴美他
123・オオカ	98.02/07	3羽	宇津貫町・八王子ユウケイ残存緑地、上空で2羽の求愛ディスプレイにもう1羽現れる	八王子6E	探鳥会
123・オオカ	98.02/22	1羽	浅川・ふれあい橋～一番橋	武蔵府中2K	探鳥会
123・オオカ	98.03/02	2羽	多摩川・滝山城跡下	拜島6E	三好恒雄
123・オオカ	98.03/07	1羽	高尾山1号路入り口付近、ドバトを追う	八王子1F	粕谷和夫
123・オオカ	98.03/07	1羽	高尾山・1号路登山口付近	八王子1F	粕谷和夫
123・オオカ	98.03/08	1羽	北浅川・陵北大橋～松竹公園	拜島1A	探鳥会
123・オオカ	98.03/28	1羽	天合峰・谷戸の沖、美山町	拜島0C	粕谷和夫
123・オオカ	98.03/31	1羽	滝山城跡公園国民宿舎上空・拜島6D	拜島7D	新田茂
123・オオカ	98.04/10	1羽	谷地川・猪追橋付近上空旋回	拜島6D	新田茂
123・オオカ	98.04/12	1羽	北浅川・宝生寺緑地東側	拜島2B	探鳥会
123・オオカ	98.04/18	1羽	天合峰・松木入	拜島0C	粕谷和夫
123・オオカ	98.04/28	2羽	多摩川・滝山城跡下、滝が原上空	拜島6E	三好恒雄
123・オオカ	98.04/29	1羽	加住南丘陵、戸吹町	拜島2E	粕谷和夫
126・ハイカ	98.01/28	♂1羽	高月町	拜島6E	古山隆
126・ハイカ	98.02/07	1羽	宇津貫町・兵衛川、八王子ユウケイ、カラスとの大きさ比較でハイタカと判定	八王子6F	探鳥会
129・ノリ	98.01/24	1羽	多摩川・浅川合流付近	武蔵府中4K	阿江範彦
129・ノリ	98.02/06	2羽	高尾山・6号路上空	八王子1F	木村晴美他
129・ノリ	98.02/07	1羽	宇津貫町・福昌寺前の電柱	八王子6E	探鳥会
129・ノリ	98.03/02	1羽	南陽台上空	武蔵府中0F	木村正子
129・ノリ	98.03/03	1羽	多摩川・滝山城跡下	拜島6D	新田茂
129・ノリ	98.03/08	1羽	北浅川・深沢橋付近	八王子1K	探鳥会
129・ノリ	98.03/14	1羽	白山神社上空、3/10も同地で	八王子2G	横山由美子
129・ノリ	98.04/02	2羽	滝山城跡公園国民宿舎上空ペアリング・拜島6D	拜島7D	新田茂
129・ノリ	98.05/21	2羽	裏高尾日影沢・市営林管理小屋手前600mの上空	与瀬9F	小池一男
129・ノリ	98.05/21	2羽	高尾山・日影林道管理小屋手前600m、上空を大きく帆翔	与瀬9F	小池一男
130・サンバ	98.04/27	1羽	堀之内、平山城跡公園	武蔵府中1G.0G	木村正子他3名
130・サンバ	98.05/16	声	高尾山・4号路東側尾根道の山頂付近	与瀬9E	粕谷和夫
145・チョウゲンボウ	98.01/11	1羽	浅川・日野高校前	武蔵府中4K	阿江範彦他
145・チョウゲンボウ	98.02/04	1羽	小宮公園、南から北の方へ飛ぶ	拜島7A	神谷古牧
145・チョウゲンボウ	98.02/02	1羽	八王子駅ビル	八王子7J	古山隆
145・チョウゲンボウ	98.04/19	1羽	八王子駅周辺、明神町3丁目上空を旋回ご大和田橋方向へ	八王子7J	川上恵
145・チョウゲンボウ	98.04/26	1羽	元横山町上空を旋回後、浅川眺橋方向へ	八王子7K	粕谷和夫
145・チョウゲンボウ	98.06/18	5羽	八王子駅ビル	八王子7J	古山隆
145・チョウゲンボウ	98.06/19	2羽	JR八王子駅前・東急スクエアビル屋上	八王子7J	粕谷和夫



309・トラフスウ	98.01/11	1羽	浅川・大和田橋上流250m右岸河原	八王子7K	田中英吉・清子、藤江豊、倉本修、傍島玲子他
314・アオバスウ	98.05/03	声	川口川・日枝神社	拝島3C	栗原勝・正江
314・アオバスウ	98.07/06	声	横川・下原公園辺り	八王子4K	湯原直彦・ひろ

## 6. シギ・チドリ類

189・トウネン	98.02/22	1羽	浅川・ふれあい橋〜一番橋	武蔵府中2K	探鳥会
214・クサシキ	98.02/08	1羽	浅川・高幡橋下流側	武蔵府中3K	青木繁昌、門口一雄・裕子
214・クサシキ	98.03/02	1羽	多摩川・滝山城跡下、水管橋下3/28・1羽、4/28・2羽	拝島7D	三好恒雄
214・クサシキ	98.03/21	1羽	浅川・新井橋下流側	武蔵府中4K	青木繁昌、門口一雄・裕子

## 7. 託卵鳥

302・カッコウ	98.06/20	1羽	湯殿川・殿田橋の脇の畑の中の桑の木に止まって鳴いていた	八王子6G	桑原文夫
303・ツツトリ	98.05/05	声	八王子城跡・御主殿林道を登った尾根道	与瀬9H	粕谷和夫
303・ツツトリ	98.05/09	声	市道山山頂東側	五日市4C	粕谷和夫
303・ツツトリ	98.05/09	声	和田峠北	与瀬3J	粕谷和夫
303・ツツトリ	98.05/21	1羽	裏高尾日影沢・NTTゲート手前200m	与瀬8F	小池一男
303・ツツトリ	98.05/21	声	日影林道ゲート付近	与瀬8F	小池一男
304・ホトキス	98.06/03	1羽	下柚木一帯(ヒナノ入、長沼公園、朝信学院、光昭寺)の森を中心に7月上旬迄鳴きながら飛翔	八王子9F	丸山二三夫
304・ホトキス	98.06/08	声	川町・グリーンタウン高尾、この団地での過去の初認日・93年6月9日、94年5月25日、95年5月29日、96年5月23日、97年5月17日	拝島2A	今井達郎
304・ホトキス	98.06/21	声	高尾山・日影沢入り口で北西方面から声	与瀬8G	小池一男
304・ホトキス	98.06/21	声	小仏山山頂上で大垂水峠方面から声	与瀬8E	小池一男
304・ホトキス	98.06/26	1羽	南陽台植山、7/3まで近辺を飛び回る	武蔵府中OF	木村正子
304・ホトキス	98.06/30	1羽	上川町上川病院付近、7/2,7/8も同地で	五日市9E	横山由美子
304・ホトキス	98.07/01	声	八王子市みついで	拝島6C	新田茂
304・ホトキス	98.07/01	声	多摩川・滝山城跡下	拝島6D	新田茂

## 8. 繁殖(カビ)の繁殖が確認されました

005・カイツブリ	98.05/30 ~7/20	1番	元八王子ホーミング調整池、家族群・1番が2度繁殖、詳細別掲	繁殖5⑤	八王子2K 渡辺仁
005・カイツブリ	98.06/20	2羽	多摩川・多摩大橋下流輦車池・幼鳥2羽	繁殖5⑤	立川OC 神谷古牧
005・カイツブリ	98.06/26	1番	元八王子2丁目ホーミング調整池・親1+雛2羽	繁殖4②	八王子2K 川上恵、関根伸
088・カルカモ	98.05/31 ~6/28	2番	元八王子ホーミング調整池、家族群、詳細別掲	繁殖4②	八王子2K 渡辺仁
088・カルカモ	98.06/17	親子	梅坪町谷戸・親2+子1羽	繁殖4②	拝島7B 新田茂
088・カルカモ	98.06/26	1番	元八王子2丁目ホーミング調整池・親1+雛4羽	繁殖4②	八王子2K 川上恵、関根伸
088・カルカモ	98.07/01	親子	谷地川・高幡橋下・親1+子6羽	繁殖4②	拝島6C 新田茂
129・ノスリ	98.03/02	2羽	多摩川・滝山城跡下、大きさの違いから♀、相互に離れたり・もつれ合ったり飛行、求愛ディスプレイフライト	繁殖4⑤	拝島6D 三好恒雄
145・チョウゲンボウ	98.4中旬 ~5/21	1番	横山町、ビル通風穴、5/21、1羽巣立ち	繁殖5①	八王子7J 川上恵、田中英吉
145・チョウゲンボウ	98.06/11	1羽	北野駅ホームにて、駅西側バスターミナル(住宅展示場方面)からネズミか帰るを掴んで線路を越えて西東京生コン(新浅川橋)方向へ飛ぶ	繁殖4①、猛禽	八王子8G/同8J(新浅川橋)
145・チョウゲンボウ	98.06/15	1番	東京薬科大学体育館・南陽台上空に親と巣立ち雛4羽、近づくカラスを体当たりで追い払う	繁殖5①	武蔵府中1G 木村正子
151・キジ	98.06/11	1番	浅川・水管橋~大和田橋の中州、♀の親+子7羽	繁殖4②	八王子7K 田中英吉
151・キジ	98.06/17	1羽	梅坪町・道路上に孵化後4~50日位と思われる雛の死体、圧し潰されておらず、死因不明	繁殖5⑤	拝島7B 新田茂
167・バン	98.02/05	6羽	多摩川・多摩大橋下流輦車池、みと思われる2羽が尾を立て、翼を斜め上方にハの字に上げ、顎を水面に張り付ける様にして互いに威嚇し合う。♀をめぐる争いの様だ。	繁殖4⑤	立川OC 神谷古牧
177・イカルドリ	98.03/28	1番	多摩川・滝山城跡下、盛んに尾を振ったり羽を広げたりしていた	繁殖4⑤	拝島6E 三好恒雄

177・イカルドリ	98.05/07	1番	狭間町・ジャノメ跡地・イトーヨウカ堂建設予定地、砂利の上のバー、鳴きながら旋回、5/15砂利の量が増えイカルドリ姿無し、6/14工事が進み建物が立ち並び始めた。残念ながら営巣するかと思われた場所は失われた。多くの生き物の休息場所、採餌場所、繁殖地、巣材の提供	繁殖4⑤	八王子3G	横山由美子・由紀子
218・イソシキ	98.05/25	1羽	浅川・滝合橋～平山橋、警戒音？又は縄張り音？を発しながら飛び回る	繁殖4⑤	武蔵府中OH	登坂久雄
218・イソシキ	98.06/21	親子	浅川・日野市市民プール前の河原、巣立ち直後の雛2+親1	繁殖4②	武蔵府中2K	粕谷和夫
296・キシハト	98.3下旬 ～4/30	1番	八王子そごう東側納品所軒下、4/302羽巣立ち	繁殖5① ～⑤・	八王子7J	川上恵
296・キシハト	98.04/04	1羽	西寺方町元木橋付近、巣材(枝)をくわえて飛翔	繁殖4③	拝島1A	渡辺仁
304・ホトキス	98.06/09 ～7/20	1羽	下恩方町深沢橋付近、長い期間にわたり同じリトリーで昼夜さえずっている	繁殖4 ⑥、託卵	八王子OK	渡辺仁
314・アオバズク	98.05/13 ～6/10	1羽	下恩方町河原宿付近、同じリトリーと想定される範囲でさえずっている。	繁殖4 ⑥、猛禽	拝島1A	渡辺仁
326・カワセミ	98.06/21	1羽	浅川・長沼橋～滝合橋、河原、巣立ち直後の雛	繁殖5⑤	八王子9G	粕谷和夫、山崎悠一・久美子
331・アオケラ	98.01/14	1番	平山城趾公園・♀が積極的に求愛鳴きし、みを追いかける	繁殖4⑤	武蔵府中OG	馬場百合亜
331・アオケラ	98.04/22	1番	殿が谷戸南側山道・桜の木に造巢中、6/4巢中の雛の声を聞く、6/14近くで声聞こえるが巢の中は静か・巣立った模様	繁殖5①	武蔵府中OF	木村正子
331・アオケラ	98.4下旬 ～5/11	1番	多摩御陵・武蔵野陵、ドラミングを何回もやっている	繁殖4⑥	八王子2H	川上恵
331・アオケラ	98.06/15	1番	下柚木・御岳神社前、巢中の雛が蛇に飲まれる、♂親が蛇に向かって進んで引き返し激しく飛び回る、30分程鳴き続けたが蛇が去ると静かになり姿が見えなくなる	繁殖5①	武蔵府中OF	木村正子
339・コケラ	98.04/11	1番	大学がけ入り・造巢始める、5/31雛2羽長い舌をす早く出し巣入口をなめて(さわって)いる、6/4巣立った様子	繁殖5①	八王子9F	木村正子、小塩菊子、藤本ヤスコ
339・コケラ	98.06/02	1番	高尾山・4号路釣り橋付近、親子連れ	繁殖4②	八王子OF	粕谷和夫
347・ツバメ	98.04/28	1番	左入町、(富士工業の軒下に造巢中)	繁殖4③	拝島7A	新田茂
347・ツバメ	98.04/28	1番	加住町2丁目、(民家玄関横の上に営巣、抱卵)	繁殖5②	拝島5D	新田茂
347・ツバメ	98.04/28	1番	丹木町3丁目、(とんかつ吉川の軒下に営巣、抱卵中)	繁殖5②	拝島6D	新田茂
347・ツバメ	98.04/28	1番	丹木町1丁目、(CAMPAS CLUBの軒下に営巣、抱卵中)	繁殖5②	拝島6C	新田茂
347・ツバメ	98.05/07	1番	元八王子3-2157民家軒下、抱卵中	繁殖5②	八王子2H	川上恵
347・ツバメ	98.05/07	1番	元八王子2-1939小島商店軒下、巣作り(完成)	繁殖5③	八王子2J	川上恵
347・ツバメ	98.05/07	1番	元八王子3-2260がけ精工機玄関横、巣へ2羽の親出入り	繁殖5③	八王子2J	川上恵
347・ツバメ	98.05/19	1番	元八王子3-1936新築家屋玄関、抱卵中	繁殖5②	八王子2J	川上恵
347・ツバメ	98.05/20	2番	高尾町旅館食堂花藤玄関上に2巣、2つの巣とも巢中に雛	繁殖5①	八王子1F	川上恵
347・ツバメ	98.05/20	1番	高尾町ろくざん亭入り口東側の空き家軒下、抱卵	繁殖5②	八王子1G	川上恵
347・ツバメ	98.05/20	1番	高尾町花藤向側の空き家2階軒下、抱卵中	繁殖5 ②・	八王子1F	川上恵
347・ツバメ	98.05/21	1番	横山町大正家具駐車場、巢中に雛5羽	繁殖5①	八王子7J	川上恵
349・コシアカツバメ	98.05初旬 ～7/8	16 巣	高幡台団地・調査階段室数87、内営巣数16+営巣跡数28(昨年跡、今年壊れた巣)+営巣せず43、最上階5階の天井、警戒心が強く、下又は4階に人がいると巣に帰って来ない、親鳥が巣に入っている時は頭を確認することが出来るが、トックリ形のため中の雛は確認出来	繁殖5①	武蔵府中3H	青木繁昌
354・キセキレイ	98.05/01	1番	南浅川・南浅川橋付近、みから♀へ虫を渡すような仕草	繁殖4⑤	八王子3H	千葉慎子
354・キセキレイ	98.05/03	親子	浅川・長沼橋～一番橋、親1+子2	繁殖4②	武蔵府中OH	山崎悠一・久美子
354・キセキレイ	98.05/16	1番	高尾山・飯綱権現、餌運び	繁殖4①	八王子OE	粕谷和夫
354・キセキレイ	98.05/20	1番	案内川新栢田橋下の河川敷、親が雛2羽に餌を与	繁殖5⑤	八王子2G	川上恵
354・キセキレイ	98.06/13	1羽	下恩方町松竹橋直上、巣立ち雛・色が薄く尾が短	繁殖5⑤	八王子OK	渡辺仁
355・ハクセキレイ	98.05/25	1番	中野上町1丁目民家、巢中に卵、但し、5/25カラスの襲われる	繁殖5②	八王子6K	福島彰四郎
355・ハクセキレイ	98.06/13	親子	浅川・長沼橋～一番橋、親1+子1	繁殖4②	武蔵府中OH	山崎悠一・久美子
356・セグロセキレイ	98.06/13	親子	川口川・川中新橋付近、親子連れ	繁殖4②	拝島2C	鈴木章七他
367・ヒトリ	98.05/30	1番	長沼公園・巣立ち雛連れ家族群	繁殖4②	八王子9G	馬場裕・百合亜

367・ヒトリ	98.06/14	1番	狭間町・狭間住宅内通路横のネズミモチ生け垣・営弁見、6/20築巢中、7/4巢中に雛3羽	繁殖5①	八王子3G	横山由美子・由紀子
367・ヒトリ	98.06/16	親子	JR高尾駅北口駅前、街路樹に親が飛び込み、巣立ち雛が後を追う。給餌している	繁殖4②	八王子2G	渡辺仁
367・ヒトリ	98.06/18	親子	元八王子ホ・刈刈り調整池横公園、成鳥が巣立ち雛に餌を与える、激しく動き回る	繁殖4②	八王子2K	渡辺仁
369・モズ	98.03/02	1番	多摩川・滝山城跡下、求愛行動	繁殖4⑤	拝島6E	三好恒雄
369・モズ	98.03/17	1番	谷地川・梅坪橋付近の栗林、(求愛給餌)	繁殖4⑤	拝島7C	新田茂
369・モズ	98.04/18	1番	谷地川・猪追橋～月見橋右岸の竹藪、(巢中の雛)、竹に営巢(地上1.5m、巢の中に巣立ち間近の雛3羽)、4/21は巣立ち後でみが餌運び、雛が竹藪の中で鳴く、♀が警戒声	繁殖5①	拝島5D	新田茂
369・モズ	98.05/04	1羽	北浅川・カ石沢、雛に給餌	繁殖4②	五日市7A	山崎悠一・久美
376・ミソサザイ	98.04/03	1番	高尾山・6号路の倒木で求愛ディスプレイ	繁殖4⑥	八王子OE	木村晴美他
399・クツグミ	98.04/29	1羽	下恩方町・清瀬寺滝下流、樹林地のほぼ同じ場所	繁殖4⑥	八王子OJ	渡辺仁
410・ウグイス	98.03/06	1羽	長沼公園・同じ場所でさえずり+谷渡り鳴き	繁殖4⑥	八王子9G	馬場百合亜
410・ウグイス	98.03/09	1羽	～06/30			
410・ウグイス	98.03/09	1羽	下恩方町・北浅川深沢橋上流100～200m、川沿いの藪の中、ほぼ同じ場所で長い期間さえずり	繁殖4⑥	八王子OK	渡辺仁
410・ウグイス	98.06/17	1羽	梅坪町・さえずり	繁殖4⑥	拝島7B	新田茂
416・オオヨシキリ	98.05/31	1羽	～7/20			
416・オオヨシキリ	98.05/31	1羽	下恩方町・北浅川河原宿橋と河原宿大橋の間のツルヨシ群落、ほぼ同じ場所(ツルヨシ群落)でさえずっている	繁殖4⑥	拝島1A	渡辺仁他
416・オオヨシキリ	98.06/17	1羽	梅坪町・さえずり	繁殖4⑥		新田茂
427・キビタキ	98.04/29	1羽	～7/1			
427・キビタキ	98.04/29	1羽	下恩方町清瀬寺滝下流、樹林地のほぼ同じ場所で長い期間にわたってさえずり	繁殖4⑥	八王子OJ	渡辺仁
427・キビタキ	98.05/27	1番	小津・集落最奥の杉山、巢中の雛3羽に♀親が交互に餌を運んできて与える	繁殖5①	五日市7C	粕谷和夫、三好恒雄
430・オオルリ	98.05/16	1羽	高尾山・1号路金比羅社上、餌運び	繁殖4①	八王子1F	探鳥会
430・オオルリ	98.05/17	1番	北浅川・北土代沢、♂は尾根でさえずり、♀は口に餌が一杯で林道を横切って谷側へ	繁殖4①	五日市8B	山崎悠一・久美
430・オオルリ	98.05/25	1番	30			
430・オオルリ	98.05/25	1番	北浅川・駒木野沢、♂と♀が地上2.5mで鳴き交わし、♀が餌をくわえて巣と思われる方へ	繁殖4①	と瀬8K	山崎悠一・久美
430・オオルリ	98.06/25	1羽	高尾山4号路釣り橋付近、♂の餌運び	繁殖4①	八王子OF	川戸恵一
434・サンコウチョウ	98.05/31	1羽	～7/5			
434・サンコウチョウ	98.05/31	1羽	下恩方町清瀬寺滝下流、樹林地のほぼ同じ場所で長い期間にわたってさえずり、詳細別掲	繁殖4⑥	八王子OJ	渡辺仁他
435・エナガ	98.03/28	1番	天合峰・宝生寺団地西側、巣材(羽根)運び	繁殖4③	拝島1B	粕谷和夫
435・エナガ	98.04/22	1番	犬目町清水公園、(柵に造巢中、地上約10mの幹が二股に別れる所、1羽が羽を運び、もう1羽羽は付き添っていた)	繁殖4③	拝島5B	新田茂
435・エナガ	98.04/28	1番	滝山城跡公園	繁殖4②	拝島6D	新田茂
435・エナガ	98.05/16	1番	高尾山・リナ山上駅付近、親子餌渡し	繁殖4②	八王子OF	粕谷和夫
435・エナガ	98.05/30	1番	長沼公園・巣立ち雛連れ家族群	繁殖4②	八王子9G	馬場裕・百合亜
440・ヤマガラ	98.05/02	1番	高尾山・山頂東側1号路、親子連れ	繁殖4②	と瀬9E	粕谷和夫
440・ヤマガラ	98.05/21	1番	片倉城跡公園、餌運び	繁殖4①	八王子7G	小池一男
440・ヤマガラ	98.06/16	親子	下恩方町清瀬寺滝下流樹林、幼鳥1羽が盛んに羽を震わせて、餌をねだっている	繁殖4②	八王子OJ	渡辺仁
441・シジュウカラ	98.03/07	1番	～5/10			
441・シジュウカラ	98.03/07	1番	下恩方町北浅川深沢橋上流100自宅庭巣箱、9卵8羽雛巣立ち、詳細別掲	繁殖5①	拝島1A	渡辺仁
441・シジュウカラ	98.04/03	1番	高尾山・6号路、巣材運び	繁殖4③	八王子1F	木村晴美他
441・シジュウカラ	98.04/04	1番	高尾山・小仏川、駒木野公園付近、巣穴に巣材運	繁殖4③	八王子1G	粕谷和夫
441・シジュウカラ	98.04/12	1番	元八王子露住宅、繁殖(自宅巣箱、4/12出入りを確認、4/25親が青虫をくわえて入り、白い糞の袋を持ち出すのを確認)	繁殖5④	八王子2H	川上恵
441・シジュウカラ	98.04/28	1番	谷野町、(モミジの古木の樹洞、地上30cm)	繁殖4①	拝島6B	新田茂
441・シジュウカラ	98.05/02	1番	高尾山・蛇滝林道、餌運び	繁殖4①	八王子OF	粕谷和夫
441・シジュウカラ	98.05/12	1番	西浅川町・金南寺門前、ガードレールの垂直ポール(上蓋がとれて筒状になった中)に営巢、親と巢中に複数の雛	繁殖5①	八王子2G	横山由美子他1名
441・シジュウカラ	98.05/21	1番	片倉城跡公園、親子連れ	繁殖4②	八王子7G	小池一男
441・シジュウカラ	98.05/30	1番	長沼公園・巣立ち雛連れ家族群	繁殖4②	八王子9G	馬場裕・百合亜
441・シジュウカラ	98.07/04	1番	狭間町・狭間住宅内金網内の金属ポールに取り付けられた金属製ポストのような箱内、中で雛が盛んに鳴いている、7/6親の出入りを確認、7/7巣加住南丘陵・戸吹町、巣材運び(クモの巣の糸集	繁殖5①	八王子3G	横山由美子・由紀子
444・メジロ	98.04/29	1羽	高尾大平林道中腹、巣立ち直後の雛4羽に親が交互に餌を与える	繁殖4③	拝島2E	粕谷和夫
444・メジロ	98.05/21	1番		繁殖5⑤	と瀬9E	川上恵

444・メシロ	98.05/30	1番	長沼公園・巣立ち雛連れ家族群	繁殖4②	八王子9G 馬場裕・百合亜
449・ホオシロ	98.02/21	1番	長沼公園・展望園地の北西(霧降の道との間) ~6/30	繁殖4⑥	八王子9G 馬場百合亜
449・ホオシロ	98.02/21	1番	長沼公園・平山口階段の北斜面 ~6/30	繁殖4⑥	武蔵府中 馬場百合亜 OG
449・ホオシロ	98.03/11	1羽	下恩方町・北浅川深沢橋上流100~200m、川沿いの藪、ほぼ同じ場所(ソングポスト)で長い期間さえずり	繁殖4⑥	八王子OK 渡辺仁
449・ホオシロ	98.04/18	1番	天合峰・紙屋入、西寺方町、親1子1	繁殖4③	拝島1C 粕谷和夫
449・ホオシロ	98.06/20	親子	明神町3丁目明神町ハ「キキ」東側カイズカの樹、5/64羽巣立ち	繁殖4②	拝島1B 粕谷和夫
471・カワラセ	98.4/10~	1番	5/10	繁殖5①	八王子7J 川上恵 ②③
471・カワラセ	98.04/29	1羽	加住南丘陵・戸吹町、巣材運び	繁殖4③	拝島2E 粕谷和夫
471・カワラセ	98.05/02	1番	八王子市・城山手分譲地、電線上で交尾	繁殖4⑤	八王子3J 千葉横子
488・スズメ	98.04/27	1番	西浅川・大島橋工場南側電柱、電柱から張り出したコの字型金属棒の縦の部分に営巣、2回使用、5/22一回目の巣立ち、6/4交尾・7/3二回目7羽の雛巣立ち、7/9三回目の使用開始、なお、この巣は97年も使用	繁殖5①	八王子2G 横山由美子 ④⑤
488・スズメ	98.05/03	1番	京王長沼橋駅、ウツバメの巣に営巣	繁殖5①	八王子9G 山崎悠一・久美
488・スズメ	98.05/06	1番	富士森公園付近、餌運び	繁殖4①	八王子6H 粕谷和夫
488・スズメ	98.05/09	1番	下恩方町松竹、住宅地の瓦の隙間に入る個体、雛らしき声聞こえる	繁殖5③	八王子OK 渡辺仁他
488・スズメ	98.05/18	1番	西浅川・大島橋工場内トタン屋根内側に営巣、5/22雛が3羽下に落ちて死んでいた	繁殖5①	八王子2G 横山由美子他1 名 ④⑤
488・スズメ	98.05/25	1羽	浅川・山田川合流水管橋付近、人家の杉の皮を剥がしてくわえて飛んで行く(杉の皮を剥がすのが)	繁殖4③	八王子9J 湯原直彦
493・ムクドリ	98.04/16	1番	西浅川町・大島橋工場下、4/28餌運び、5/15~5/29巢中に雛の声、この親鳥は雛の糞を7~8m先の電線にくっ付けていくため、電線が点々と20ヶ所以上白くなっていた。この巣は96年、97年も使用した	繁殖5①	八王子2G 横山由美子 ③④
493・ムクドリ	98.04/18	1番	天合峰、松木入り口付近、巣材運び	繁殖4③	拝島OC 粕谷和夫
493・ムクドリ	98.05/07	1番	元八王子2-1093民家戸袋、親鳥2羽が頻りに餌	繁殖5①	八王子2J 川上恵
493・ムクドリ	98.05/18	1番	西浅川・甲州街道沿いの民家(高橋さん)1階軒下、巢中の雛、親の餌運び	繁殖5①	八王子2G 横山由美子 ④
493・ムクドリ	98.05/19	1番	元八王子2-1163民家戸袋、巢中の雛に餌を与え	繁殖5①	八王子2J 川上恵
493・ムクドリ	98.06/13	1番	浅川・滝合橋付近、戸袋に営巣・給餌	繁殖5①	武蔵府中 山崎悠一・久美 OH
498・オナガ	98.02/13	2羽	平山緑地・2羽の内1羽がオオタカ♀のような求愛鳴き	繁殖4②	武蔵府中 馬場百合亜 OG
498・オナガ	98.06/15	1番	狭間町・狭間住宅内桜の木・カラスが近づくと警戒音をたて飛び去ると尻尾を突ついて攻撃、この日前後何回か同じ行動、巣は発見出来ず、6/27幼	繁殖4②	八王子3G 横山由美子・由 紀子
498・オナガ	98.06/25	親子	緑町八王子教会、電線上の巣立ち雛2羽を数羽の成鳥が取り囲み、警戒・威嚇音でカラスと対峙	繁殖4②	八王子6H 粕谷和夫
503・ハシホソガラス	98.03/09	1番	日枝神社、造巣(巣材運び)	繁殖4③	拝島3C 新田茂
503・ハシホソガラス	98.03/02	2番	多摩川・滝山城跡下、河川敷の木に営巣、抱卵中	繁殖5②	拝島6E 三好恒雄
503・ハシホソガラス	98.03/06	1番	南浅川・両界橋~白山橋右岸、詳細は別掲 ~5/22	繁殖5①	八王子2G 横山由美子
503・ハシホソガラス	98.03/07	2番	西寺方町・北浅川元木橋上流100m右岸桐林+ゆうやけ橋右岸公園の雑木林の樺、巣立ち、詳細別 ~5/9	繁殖5①	拝島1A 渡辺仁他 ②③⑤
503・ハシホソガラス	98.03/08	1番	北浅川元木橋上流200m右岸林に営巣・抱卵中	繁殖5②	拝島1A 探鳥会
503・ハシホソガラス	98.03/09	1番	川口川犬目町・清水公園、巣作り(巣材運び)	繁殖4③	拝島5B 新田茂
503・ハシホソガラス	98.03/17	1番	谷地川・黄金橋付近、ケヤキに造巣(巣材運び)	繁殖4③	拝島6C 新田茂
503・ハシホソガラス	98.03/29	1番	長沼公園・コナラに営巣雛2羽に親が給餌+同公園内井戸たわ尾根に林でも巣立ち雛を確認 ~5/30	繁殖5①	八王子9G 馬場百合亜
503・ハシホソガラス	98.04/04	1番	高尾山・小仏川上栢田橋上流200m、桜の木、抱	繁殖5②	八王子1G 粕谷和夫
503・ハシホソガラス	98.04/12	1番	北浅川・松枝橋上流200m右岸、抱卵中	繁殖5②	拝島3B 探鳥会
503・ハシホソガラス	98.05/02	1番	高尾山・小仏川、上栢田橋上流200m、桜の木、巢中雛3羽	繁殖5①	八王子1G 粕谷和夫
503・ハシホソガラス	98.05/16	1番	並木町39先、東電電柱最上部アングルに針金ハガ-で造巣、巢中に雛2羽	繁殖5①	八王子4J 川上恵、福本順 古、浅黄正明
504・ハシブトガラス	98.03/27	1番	・営巣中	繁殖4③	八王子9G 馬場百合亜
504・ハシブトガラス	98.04/18	1番	京王高尾山口駅東側、(夕刈イ樹)に営巣・親が巢中の雛に餌を与えていた)	繁殖5①	八王子1F 川上恵、千葉横 子
504・ハシブトガラス	98.04/18	1番	並木町・市役所横山事務所、(オウゴン)に営巣・巢中に大きくなった雛2羽、親から餌を貰っ	繁殖5①	八王子4H 川上恵、福本健 吉



504・ハシブトガラス	98.04/28	1番	滝山城跡・国民宿舎北側斜面、(杉、地上13~4mに営巢、抱卵中)	繁殖5②	拝島6D	新田茂
カビチョウ	98.02/27	1羽	下恩方町・北浅川深沢橋上流100~200m付近、ほぼ同じ場所の藪の中から長期間さえずり	繁殖4⑥、その他	八王子OK	渡辺仁
カビチョウ	98.06/20	親子	天合峰・紙屋入、西寺方町、親2子3	繁殖4②	拝島1B	粕谷和夫
トハト	98.05/20	1番	南浅川両岸橋付近JR中央線ガード下、求愛行動、	繁殖4⑤	八王子2G	川上憲

## 9. 集団ねぐら

493・ムゲリ	98.02/07	600羽	石川町・自宅前の竹林、冬の集団時、日没2~30分前に6~30羽の群が北又は北西の方角ばかりからやって来て、近くの電線に止まり激しく鳴き交わし(電柱1スパンを越える程の長さで電線2本がムゲで埋まる)、100m程離れた竹林との間を何回も巡回した後、竹林に入り落ち		立川0B	神谷古牧
---------	----------	------	---	--	------	------

## 10. 行動

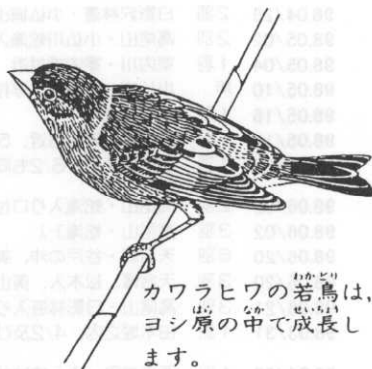
057・ダイサキ	98.03/28	1羽	多摩川・滝山城跡下、嘴より長いカエルをくわえて何回も水に入れたり出したりしてようやく飲み		拝島7D	三好恒雄
326・カワセミ	98.05/23	1羽	多摩川・浅川合流付近、白い足環をしたみ		立川4A	阿江範彦
441・シジュウカラ	98.03/04	1羽	日野市栄町、2羽のエナガを1羽で追い回してい		立川1B	神谷古牧
444・メジロ	98.04/04	10羽	高尾山麓小仏川右岸の林、露で濡れたアオキの葉の上で葉浴(水を盛んに浴びる)		八王子1G	粕谷和夫

## 11. その他

カビチョウ	98.01/07	5羽	小仏下・集団、斜面林の地面で落ち葉を嘴でひっくり返し空中にほおり上げる		与瀬7G	粕谷和夫
カビチョウ	98.01/25	2羽	高尾山・日影沢、林道横の藪の中		与瀬9F	小池一男
カビチョウ	98.02/01	3羽	高尾山・蛇滝コース、蛇滝~ケーブル山上駅		八王子OF	粕谷和夫
カビチョウ	98.02/21	3羽	天合峰・松木入、美山町		拝島0C	粕谷和夫
カビチョウ	98.03/07	5羽	高尾山・蛇滝コース、蛇滝~ケーブル山上駅		八王子OF	粕谷和夫
カビチョウ	98.03/08	1羽	北浅川・松竹神社付近		八王子OK	粕谷和夫
カビチョウ	98.03/27	1羽	高尾山日影沢		与瀬9F	馬場百合亜
カビチョウ	98.03/28	3羽	天合峰・谷戸の沖、美山町		拝島0C	粕谷和夫
カビチョウ	98.03/28	2羽	天合峰・松木入、美山町		拝島0C	粕谷和夫
カビチョウ	98.03/28	3羽	高尾山・日影沢		与瀬9F	小池一男
カビチョウ	98.03/31	1羽	南高尾・うかい竹亭の奥		八王子1D	馬場百合亜
カビチョウ	98.04/04	2羽	高尾山・蛇滝コース、蛇滝~ケーブル山上駅		八王子OF	粕谷和夫
カビチョウ	98.04/10	1羽	グリーン牧場の高尾山北側の藪山		拝島2A	今井達郎
カビチョウ	98.04/12	1羽	北浅川・宝生寺緑地		拝島2C	探鳥会
カビチョウ	98.04/18	5羽	天合峰・谷戸の沖、美山町		拝島0C	粕谷和夫
カビチョウ	98.04/18	3羽	天合峰・松木入奥		拝島0C	粕谷和夫
カビチョウ	98.04/18	5羽	天合峰・谷戸の沖、美山町		拝島0C	粕谷和夫
カビチョウ	98.04/23	2羽	堀之内		武蔵府中1G	木村正子
カビチョウ	98.04/29	2羽	小仏城山頂上手前1km		与瀬8F	小池一男
カビチョウ	98.04/29	1羽	戸吹町		拝島3E	粕谷和夫
カビチョウ	98.04/29	2羽	日影沢林道・小仏城山頂上手前1km		与瀬8F	小池一男
カビチョウ	98.05/02	2羽	高尾山・小仏川蛇滝入り口		八王子OG	粕谷和夫
カビチョウ	98.05/04	1羽	案内川・案内橋付近		八王子1E	粕谷和夫
カビチョウ	98.05/10	声	小仏川・大下バス停付近		与瀬9G	粕谷和夫
カビチョウ	98.05/16	1羽	長沼公園		八王子9G	馬場百合亜
カビチョウ	98.05/19	1羽	南浅川両岸橋付近、5/20も同地出		八王子2G	横山由美子
カビチョウ	98.05/25	1羽	由木堀之内、6/2も同地で		武蔵府中1G	馬場百合亜
カビチョウ	98.06/02	2羽	高尾山・蛇滝入り口付近		八王子OG	粕谷和夫
カビチョウ	98.06/02	3羽	高尾山・蛇滝コース		八王子OF	粕谷和夫
カビチョウ	98.06/20	6羽	天合峰・谷戸の沖、美山町		拝島0C	粕谷和夫
カビチョウ	98.06/20	3羽	天合峰・松木入、美山町		拝島0C	粕谷和夫
カビチョウ	98.06/21	3羽	高尾山・日影林道入り口から300m上側の山林		与瀬9F	小池一男
ソウシチョウ	98.03/31	1羽	由木堀之内、4/2及びその後も同地で声を聞く		武蔵府中1G	馬場百合亜
ソウシチョウ	98.04/23	1羽	西寺方町・ゆうやけ幼稚園付近(針葉樹で声がし、道路を横切り畑脇民家の笹藪へ飛び込む)		拝島1A	千葉慎子
イサキ	98.03/09	1頭	川口川・高尾橋上流左岸		拝島4C	新田茂
ウサギ	98.04/22	2頭	堀之内		武蔵府中1G	木村正子



カンカガエル	98.04/21 ~7/3	声	南浅川・両界橋~白山橋	八王子2G	横山由美子
カンカガエル	98.05/02	声7匹	高尾山・小仏川	八王子1G	粕谷和夫
カンカガエル	98.06/02	24声	高尾山・小仏川(上栢田橋~蛇滝入り口)	八王子1G	粕谷和夫
キツネ	98.04/28	1頭	浅川・中央線鉄橋上流・数年前約200m上流で見た個体はやせ細って尾も細く毛もまばらであったが、今回見た個体は丸々と大きく太い尾を上下に振りながら青草の株を飛びはねていた	八王子8H	小山万太郎
サル	98.04/29	3頭	八王子城跡北	与瀬OJ	今井達郎他
タヌキ	98.05/21	1頭	多摩テック近くの道路脇で事故死	武蔵府中1G	木村正子
タヌキ	98.05/26	1頭	小宮公園手前大善寺入口道路上	拝島2A	小池一男
トウキョウサンショウウオ	98.04/29	数塊	加住南丘陵、戸吹町、卵囊	拝島2E	粕谷和夫
ハクビシン	98.02/26	1頭	日野市栄町、林の中の8m位の高さがある木の上に絡み付いて暮の暮に隠れる様にしている	立川1B	神谷古牧
ヒミスズ	98.04/29	1頭	加住南丘陵、戸吹町、死体	拝島2F	粕谷和夫



カワラヒワの若鳥は、  
ヨシ原の中で成長し  
ます。

## カイツブリ・カルガモ他の繁殖観察記録 (観察者：渡辺仁)

### 1. カイツブリ

1998年5月30日～7月20日、元八王子二丁目ホームスタウン調節池（八王子2K）、家族群を観察。最多確認数は成鳥2羽、幼鳥6羽。観察状況から5～7月に1番が2度繁殖したと思われる。

- 98/05/30：18:30:00 成鳥1,幼鳥3,成鳥は潜水採餌するが、幼鳥は潜水しない。幼鳥は成鳥と同じぐらいの大きさに成長している。
- 98/05/31：17:00:00 育雛,成鳥1+雛4羽、雛はもう潜水する。雛は別々に行動しており、別の家族の可能性もある
- 98/06/09：8:00:00 成鳥1,幼鳥4、幼鳥は首を水につっこみ採餌している？親の給餌はみられなかった。
- 98/06/13：11:30:00 幼鳥1羽しか見当らない。潜水採餌する。鳴声は聞えたので、親鳥もいるであろう。
- 98/06/14：18:30:00 雨上り、水位上昇している、幼鳥4羽、さかんに潜水している。
- 98/06/20：19:30:00 かなり暗い。成鳥1に幼鳥4が1ヶ所集って水浴びしている。
- 98/07/05：14:00:00 成鳥1,幼鳥6,幼鳥は、大きさはまちまち。小さいものはかなり小さいが、大きいものは成鳥と同じぐらいある。2回目の繁殖の雛が混じっていると思われる。
- 98/07/20：6:00:00 成鳥1 幼鳥2

### 2. カルガモ

1998年5月31日～6月28日、元八王子ホームスタウン調節池（八王子2K）家族群を観察。最多確認数は、幼鳥8羽。観察状況から5～6月に2番がそれぞれ1度繁殖したと思われる。

- 98/05/31：17:00:00 成鳥1+雛5羽、雛は成鳥全長の3分の1程度の大きさ。親鳥のあとを遊泳。
- 98/06/09：8:00:00 成鳥2,幼鳥3,成鳥1は幼鳥とは関係ない。幼鳥の数が減る。観察時間5分程度。
- 98/06/13：11:30:00 大分大きくなった雛3羽が泳いでいる。近くに親は見当らない。それとは別に小さい雛5羽？を連れた親鳥がいる。独立した1成鳥は飛び去る。

- 98/06/14 : 18:30:00 雨上り、水位上昇している、成鳥3羽、うち親1羽、新しい雛4羽、他の幼鳥は確認できず
- 98/06/20 : 19:30:00 親鳥1雛4が移動している。その他5羽ぐらいの成鳥が休息している。他のカルガモも飛翔しながら集ってくる。採餌場所になっているのかもしれない。
- 98/06/28 : 16:00:00 親鳥が3羽を引連れて泳いでいる。大分大きくなっている。後に繁殖した家族だと思われる。

### 3. サンコウチョウ

1998年5月31日～7月5日、下恩方町清龍寺滝下流（八王子0J）、樹林地のほぼ同じ場所で長い期間に渡って囀りを確認。

- 98/05/31 : 8:30:00 カワセミ会オオルリ調査、今井さん含め3名、8:00～15:30、深沢橋～松竹～城山～滝沢林道～板当林道～大沢橋、滝沢林道入口付近で1声をきく
- 98/06/16 : 6:00:00 青瀧寺滝付近尾根線上。谷方向から、さえずる声が聞こえる。
- 98/06/18 : 7:00:00 清龍寺滝下流。囀りの声が聞こえる。1、2声鳴いて移動する。
- 98/06/20 : 12:00:00 清龍寺滝下流、林道近くで♀がスギの樹冠下でフライキヤッチをしている。羽が乱れてみえることから幼鳥の可能性もある。この個体は鳴かないが、他個体の囀りが聞える。
- 98/06/29 : 7:30:00 清龍寺滝下流、囀り、スギ-広葉樹混交林。
- 98/07/01 : 7:30:00 清龍寺滝下流、囀り、スギ-広葉樹混交林。
- 98/07/05 : 12:00:00 囀り、町清龍寺滝下流、スギ林で囀りをきく。一声囀ると、すぐに飛翔して移動する。飛翔する姿を目視

### 4. シジュウカラ

1998年3月7日～5月10日、下恩方町深沢橋上流100m自宅庭巣箱（拝島1A）、巣穴で顔を出し入れする巣穴紹介ディスプレイ（3月7日～）、巣材運び（3月31日～4月3日）、9個の卵を産卵（4月3～11日）、抱卵12日間（4月11日～23日）、8羽孵化（4月23日）、巣内育雛18日間（4月23日～5月10日）、8羽巣立ち（5月10日）を観察。孵化しなかった卵1個は、巣立ち後の確認では、発生途中段階まで進んでいた。死因は不明。卵の重さは1.2gであった。

## 5. ハシボソガラス

1998年3月7日～5月9日、西寺方町元木橋上流100m右岸クヌギ林及びゆうやけ橋右岸公園の雑木林ケヤキ(2箇所)、(拝島1A)、3月7日に巣材運びを確認してから、5月4日に巣立ちを確認するまでの期間、造巣・抱卵・育雛・巣立ちを確認。2つの巣は同じ時期にほぼ同じ繁殖状況であった。

- 98/03/07: 8:00:00 陵北大橋～ゆうやけ橋、8時～9時ゆうやけ橋公園雑木林で巣を作っている。元木橋上流樹林にも巣らしきものがある。
- 98/03/29: 11:30:00 抱卵,下恩方町ゆうやけ橋～自宅上植林地、11:30～13:30、ゆうやけ橋公園ケヤキの木の巣、観察中10分程度はじっとしていた
- 98/04/04: 8:00:00 陵北大橋～大沢橋定期カウント、8:00～11:50、夕焼橋下流右岸と夕焼橋公園樹上巣2個所で抱卵中
- 98/04/11: 15:30:00 下恩方町ゆうやけ橋公園およびその下流樹林の2つの巣はいずれも卵が孵化し、親鳥が餌を運ぶ。いずれも3羽ぐらいは雛がいるようである。親鳥は巣を空けて採餌にいつている。
- 98/04/12: 15:30:00 下恩方町元木橋上流右岸の巣は前日と同様餌運びをしている。警戒心が意外に強く、直下にいるときは親は巣に近づかない。歩道に下がると餌を運ぶ。ゆうやけ橋公園は親が雛を抱いている。温度が低いためか。
- 98/04/18: 15:00:00 2羽 飛翔,下恩方町自宅周辺、ゆうやけ橋公園樹林の巣をみるが、親は現れず。警戒されている?。
- 98/05/04: 17:00:00 下恩方町元木橋上流部とゆうやけ橋公園、それぞれ2羽は雛がいることを確認。かなり大きくなっている。巣立は近いと思われる。
- 98/05/09: 7:30:00 下恩方町カワセミ会定期カウント調査陵北大橋～大沢橋 7:30～10:30、元木橋上流右岸樹林では巣の上に巣立ち間近の雛1羽がいる。ゆうやけ橋公園では巣の上には1羽もいない。公園に巣立ち雛と思われる幼鳥1羽がいる。

## ハシボソガラスの繁殖観察記録 (観察者：横山由美子)

1. 観察期間：1998年3月6日～5月22日
2. 場所：八王子市の南浅川(両界橋～白山橋)東岸(高尾町側)、八王子2G
3. 繁殖の状況：ランク 5 確実に繁殖 ①雛の居る巣、雛 2を確認  
南浅川の東岸、川と2階建て家屋とに挟まれた場所のケヤキで、昨秋ほとんどの大枝を切り払われ、丸見え状態の木のてっぺん付近、2階建ての屋根より少し高い位置。巣材は小枝。

- 3月 6日 近くの家の庭木(すもも)の小枝を折り取った。
- 3月10日 勤務先の対岸に巣を発見。未完成。11日も枝運び。
- 3月18日 親鳥、巣に入っている。胞卵を始めたか。
- 3月20日 親鳥、2羽で巣に入っている。
- 4月 7日 親鳥、巣内で卵の殻のような物を食べている。
- 4月14日 親鳥、巣内で体をさかんに上下させている。雛が居る模様。
- 4月15日 勤務先の同僚が巣内の雛2を見た。
- 4月16日 巣内の雛1見える。
- 4月23日 親鳥、巣のある木の下に繋がれた犬の餌を食べて川の水を飲み、巣に登る。
- 4月24日 巣内の雛2見える。赤い口、グレー掛かった体色。
- 4月30日 雛、翼を動かしている。巣のあるケヤキの枝が伸びてきた。
- 5月1日 雛、翼を動かしている。ケヤキの枝が更に伸びてきた。  
親鳥は巣の補修をしょっちゅうしている。
- 5月2日 雛翼を動かしている。ケヤキの枝が急に増えた。親鳥は巣の補修。
- 5月9日 雛翼を動かしている。ケヤキの枝は更に伸びて巣が見えにくい。親鳥は始終巣を補修している。
- 5月11日 茂った葉で巣の様子が全く見えなくなった。
- 5月12,13日 子ガラスの羽ばたきが見える。
- 5月19,22日 親鳥巣のあたりに入って行く。巣の様子は全く分からない。

### ● 営巣場所について

この川岸には枝の多いケヤキ、イチヨウ、サイカチの高木が並び、JRと三和団地とに挟まれた急斜面の雑木林から、白山神社、浅川実験林方向へ移動する鳥の、中継点の役割を果たしているように思われ、昨年の秋まではスズメ、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、シジュウカラのほかシメ、イカル、カワラヒワ、ニュウナイスズ



メ(1回だけ)、ツグミなどの鳥がかわるがわる来て囀ったり休んでいく場所でしたが、11月にこれらの木々は皆大枝を切り払われてほとんど幹だけになってしまい、この冬はあまり小鳥の姿を見る事がありませんでした。ハシボソガラスが営巣した木はこうしたケヤキの一本です。

実は残念な事に巣立ちを見届ける事ができませんでした。はじめ丸見えの巣だったので、巣立ちまで楽々観察できると期待していたのですが、枝を切られたケヤキの枝葉の伸び方はすさまじく13日以降の子ガラスの様子は全く分かりません。ガラスも伸びる枝に巣を壊されるのか、あるいは成長に合わせて巣を大きくするのか、いつ餌をやるのかと思うほど補修に追われていました。また餌をねだる巣立ち雛を見る事ありませんでした。

6月12日には近くでハシボソガラス4羽を見ましたが観察中の親子か赤の他人か判断できません。

#### ●ハシボソガラスの変わった行動

- 1 枝のないイチョウの天辺で、少し開いた嘴を天に向けて昼寝？そのうちゆっくりと首を回転させ、嘴が背中にくっ付き喉が丸い頭のように見える格好でしばらくじっとしていた。こういう行動は2回見ました。
- 2 電柱に2羽がとまり、足元の電線を激しく嘴で叩くことを2羽でかわるがわるやっている。

#### ●分かったこと

- 1 胸あたりの羽毛は内側が真っ白。
- 2 外側の硬い羽も真っ黒だけではなく、一部白い所があるものもいる。
- 3 頭の毛を逆立っていることがあり、嘴との間に段差ができてハシボソガラスと紛らわしく見えることがあった。

その他 私は南浅川の対岸から見て楽しんでいただけですが、巣の近くのお宅では丹精している菊の苗を7つも鉢ごと落とされてしまって大いに悩まされたようです。



## 固有の野鳥に感激

奄美の自然を楽しむ

子会  
王セ  
八カ

八王子カワセミ会（粕谷和夫会長、百九十五人）の

会員二十人が奄美大島の探鳥ツアーで十三日初来島した。初日は笠利町や龍郷町の干潟や原生林内で野鳥観察を楽しんだほか、夜は地元の奄美野鳥の会や奄美哺乳類研究会などの会員らと交流した。一行は二泊三日の日程。奄美野鳥の会会員などの案内で島内の代表的な探鳥地を回る。

ツアーは、地元以外での探鳥会の二環。昨年はツルの越冬地鹿児島県出水市を訪れているが、国内の探鳥地では奄美大島がいちばん南。固有の野鳥が多いことから奄美大島を選んだという。参加者は中高年者が中心で、夫婦も数組交じっている。

一行は午前中シギ、チドリ類の宝庫として知られる笠利町の大瀬海岸、午後は龍郷町の奄美自然観察の森で探鳥。大瀬海岸では干潟の野鳥など二十種類以上、自然観察の森ではオーストンオオアカケラやリリカケス、アカヒゲなどの固有種

も観察でき、歓声を上げていた。

粕谷会長は「アカヒゲが目の前に現れ、オーストンオオアカケラも雌雄で見られて感激。予想通りイタシイの林は素晴らしかった。ミノウズラ、スアカアオバト、アマヤマシギ、リュウ

ウキユウコノハズクなども観察したい」と話していた。同会長によると、会は一九八五年に創立。会員は八王子市が八割、残りは日野市が中心。年代は中学生から七十代までと幅広く、職業もさまざま。年間の活動の柱は探鳥会と野鳥の記録。毎年一回機関誌「かわせみ」を発行しているほか、二年前には発足以来続けてきた成果を「数えあげた浅川の野鳥—十年間の記録」としてまとめた。



奄美大島の探鳥ツアーで来島した八王子カワセミ会の一行（奄美自然観察の森で）

# 静かな工事でオオタカ保護

## 圏央道・八王子城跡トンネル予定地

振動、騒音伴う作業……×

### 8月の親離れまで

#### 以降は「突貫工事」に

絶滅の恐れが指摘されているオオタカの営巣が確認された首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の「八王子城跡トンネル（仮称）」建設予定地付近で、工事を担当する建設省相武国道工事事務所が、施工手順を変更していたことが八日までに分かった。オオタカの繁殖時期が終了する今年八月末まで、騒音や振動を伴う現場作業を見合わせるというが見直しの骨子で、同工事事務所がオオタカに配慮して施工手順を変更するのは初めてのこととなる。

施工手順が変更されることになったのは、圏央道の「八王子城跡トンネル」北口と「恩方トンネル」南口を結ぶ八王子市下恩方町の高架「北浅川橋」（約三百六十メートル）の橋脚や橋の両端の土台など。

同工事事務所によると、準備期間を含む工期は、今年一月から来年一月までで予定通りだが、工事用道路や橋脚工事などブルドーザーやクレーンなどの重機を使う土木作業の着手時期を見直し、今年四月だった当初計画を、オオタカのヒナが親離れする九月以降に移した。

これにより、工事が再開する九月以降は、かなりの集中工事を余儀なくされることになるという。

「八王子城跡トンネル」の北口付近では、「絶滅のおそれのある野生動物の種類」の保存に関する法律で、

まれており、今回の施工手順の見直しはこれを踏まえたい形になっている。

今回の措置について、今年四月の段階で「北浅川橋下部工事」中止を建設省に申し入れていた「守る会」の小池清代表は、「繁殖期間に工事をストップした」とは評価できる」としながらも、「結局、圏央道ができる限り、繁殖可能な環境が失われる。オオタカを守るためには路線を変更するしかない」と話している。

一方、今回の見直しについて同工事事務所の剣持貴工務課長は「オオタカに配慮し、念には念を入れて、現場作業の時期をずらした。九月以降の作業でも、遮音するなど、オオタカに



今春、4羽のヒナをかえしたオオタカのメス（6月4日、「八王子・城山のオオタカを守る会」撮影）

読売新聞 平成10年6月9日

影響を与えないようにしていきたい」としている。

カッコウ、ホトトギス……

# 夏の渡り鳥 遅い飛来

## スマトラ森林火災の影響？

カッコウ、ホトトギスなど夏の訪れを告げる渡り鳥の飛来が遅れている。日本野鳥の会研究センター（東京都日野市）や東大大学院の野生動物学研究室などに、各地のバードウォッチャーからこんな報告が相次いでいる。東南アジア諸国の越冬地の一つ、インドネシア・スマトラ島で昨年秋に発生した森林火災の影響などを指摘する声も上がっており、東大の同研究室では飛来時期の全国調査に乗り出した。

初夏から秋にかけて日本列島で過す渡り鳥の飛来の遅れは、同研究センターが今年三月から環境庁の委託を受けて取り組んでいる「鳥類生息分布調査」の過程で分かった。野鳥の宝庫として知られる長野県松本市の市街地から美ヶ原高原までの林道沿い約十五キロの区間を調べた同会軽井沢支部の会員が、今年初めてカッコウの声を

聞いたのは六月六日。例年の五月十五日前後に比べるのと、二十日ほど遅かった。確認された個体数も、例年の約三分の一程度の十五〜二十羽。昨年までは五月十日前後には鳴き声を確認されていたホトトギスについても、今年は六月七日までずれ込み、個体数も三、四割は少ないという。

さらに、同センターの情報に基づいて、東大大学院野生動物学研究室の樋口広芳教授が北海道、栃木、埼玉、長野などのバードウォッチャーから先月上旬、情報を集めたところ、

カッコウとホトトギスの飛来時期が二、三週間遅れていることや、生息数も半分から三分の一に減っている恐れがあることが判明した。

これを踏まえて同研究室が開始した全国調査の設問は、例年に比べ個体数が少なかったかどうか、飛来時期はどのぐらい遅かったか

など五項目。先月、全

国のバードウォッチャー約三百人に送付した。

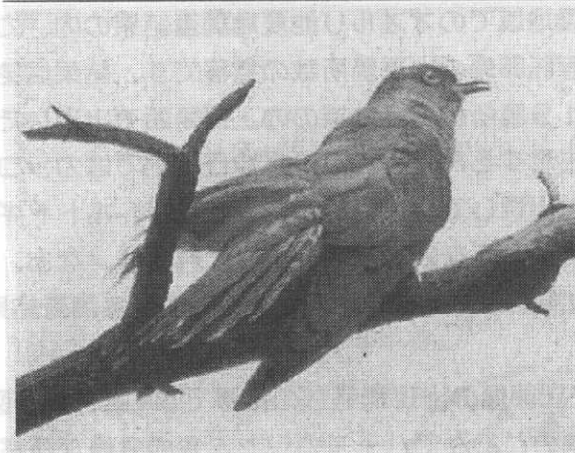
飛来の遅れについて、東京都立川市内などでカッコウの観察を四十年以上続けている日本鳥類保護連盟理事の三田鶴吉さん(74)は「昨年のスマトラの森林火災などが、何らかの形で影響している恐れもある」と、越冬地での異変との関

連を指摘する。

一方、全国調査に踏み切った東大の樋口教授は「遅れても五日程度なのに、今年

は異常」としながらも、「スマトラ島で発生した火災の影響を指摘する声もあるが、情報を集めている段階

なのでまだはっきりしない。ロシアや中国などの飛来地の状況も調べたい」と話している。



例年なら5月中旬に鳴くカッコウだが……  
＝日本野鳥の会会員の池尾喜寿さん提供



## カッコウは減ったか？

粕谷和夫

我孫子市鳥の博物館の時田学芸員からカッコウやホトトギスに関し樋口広芳先生他が実施する以下の様な趣旨の調査依頼がありました。

「今年はカッコウやホトトギスの声を聞かないという話をひんばんに耳にします。何人かの方々に聞いてみたところ、確かに今年はカッコウなどが少ないようです。私たちはここ数年夏鳥の減少について調べていますが、ある年急にカッコウ類が少なくなるというのはこれまでなかったように思います。そこで、今年の現状を知るために、広く情報を集めてみたいと考えました。

もし、カッコウやホトトギスだけが少ないということになると、原因が何なのか大変興味深いところです。」

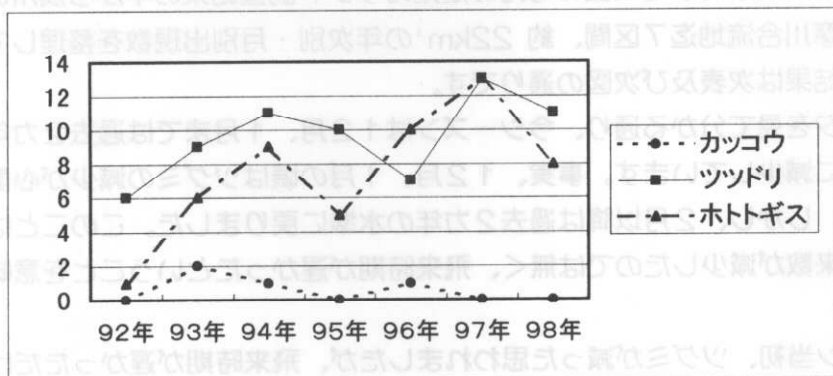
そこで、八王子カワセミ会の各種調査結果のデータベースの中から、2種類の調査集計を出して検討し、以下の様な内容を添付して我孫子市鳥の博物館の時田学芸員に報告しておきました。本会の調査結果が役立つことを期待したいですね。

第1は八王子の山間部、丘陵地域でのオオルリ他夏鳥調査結果の内、カッコウ、ツツドリ、ホトトギス等託卵鳥の出現箇所数の推移です。結果は第1表とその図の通りで、これは19箇所の調査地域の内、何箇所で出現したかを表しています。オオルリが生息する八王子の山間部や丘陵地ではカッコウは本年に限らず、従来から殆ど出現していないこと、ツツドリ、ホトトギスは特に本年だけ減少しているとはいえないことが、読みとれます。なお、その他の夏鳥の本年の昨年との比較は、本誌別項の「オオルリ他夏鳥調査結果」を参照して下さい。

第2は、鳥信欄に寄せられた託卵鳥の出現情報数の推移です(第2表と図)。これは平場を含む浅川流域全域のどこかで八王子カワセミ会の会員が観察し、会報「かわせみ」の鳥信欄に報告した情報数です。これによるとカッコウは昨年、今年と情報数が減少しているのに対し、ホトトギス、ツツドリの情報数はあまり変わってないことが伺えます。

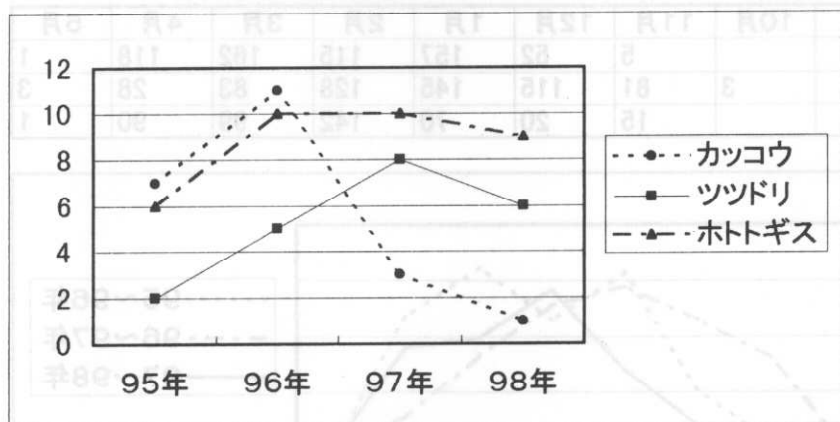
第1表 夏鳥調査時における託卵鳥の出現個所数の推移(単位:個所数)

	92年	93年	94年	95年	96年	97年	98年
カッコウ	0	2	1	0	1	0	0
ツツドリ	6	9	11	10	7	13	11
ホトギス	1	6	9	5	10	13	8



第2表 鳥信欄から見た託卵鳥の年次別出現情報数の推移(単位:情報数)

	95年	96年	97年	98年
カッコウ	7	11	3	1
ツツドリ	2	5	8	6
ホトギス	6	10	10	9



## ツグミは減ってなかった

粕谷和夫

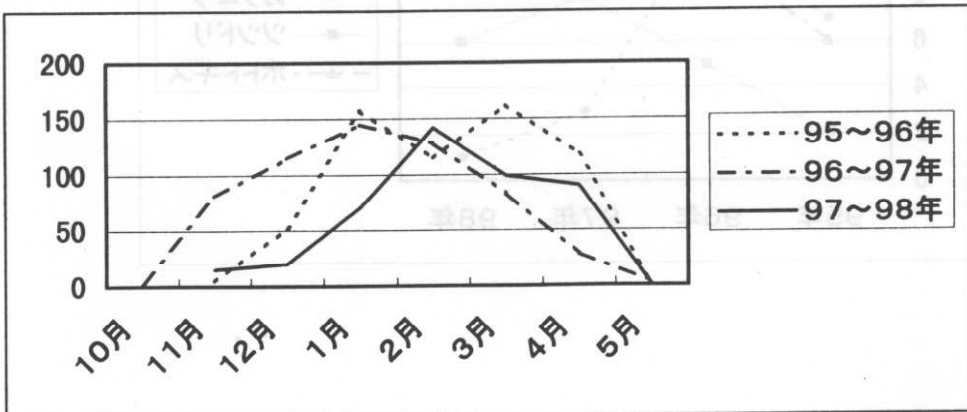
今冬（97年秋～98年冬）、浅川流域にツグミの飛来が少ないと心配されました。そこで八王子カワセミ会の毎月の定期カウント調査結果の中から浅川の大沢橋～多摩川合流地迄7区間、約22kmの年次別・月別出現数を整理してみました。結果は次表及び次図の通りです。

このデータを見て分かる通り、今シーズンは12月、1月までは過去2カ年と比べ確かに減少しています。事実、12月、1月の頃はツグミの減少が心配されました。しかし、2月以降は過去2カ年の水準に戻りました。このことはツグミの飛来数が減少したのでは無く、飛来時期が遅かったということの意味しています。

今シーズン当初、ツグミが減った思われましたが、飛来時期が遅かっただけで、絶対数は減って無いことが分かった訳ですが、これは毎月のカウント調査により証明されたもので、カウントの重要性が改めて認識されました。

浅川におけるツグミの年次別飛来パターン(大沢橋～多摩川合流地/単位:羽)

年次	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
95～96年		5	52	157	115	162	118	1
96～97年	3	81	115	145	128	83	28	3
97～98年		15	20	70	142	99	90	1



## アサギマダラ驚異の渡り

大関 豊

アサギマダラが渡りをするのはもう周知の事実で、ワシタカの渡りを観察中にたびたびその飛翔を目撃する。けれど、あまり深く考えた事はなかった。鳥に比べれば関心度が少ないせいであろう。渡りの姿にふれ感動は覚えるが、だからと言ってそれ以上の疑問や興味のたぐいを持ち合わせるまでゆかなかった。蝶の生態はまったく知らないし、種も数えるほど分かっているわけではない。しかし、アサギマダラが渡るとすれば、どこまで移動するのだろうかという素朴な疑問は頭にあった。

先日、信州ワシタカ渡り研の報告会でアサギマダラの渡りについての話が前段にあり、内容も興味深かったが、なによりも素朴な疑問であった移動距離を知り驚いた。思いもつかない大移動だったからである。

アサギマダラの渡りについては、以前から全国的にマーキング方式による移動の調査が行われており、昨年までの主な記録を並べてみると

- |        |     |   |      |           |             |
|--------|-----|---|------|-----------|-------------|
| [春の渡り] | 種子島 | → | 福島県  | (約 1200km | 1981年)      |
|        | 種子島 | → | 静岡県  | (約 880km  | 1988年)      |
|        | 種子島 | → | 三重県  | (約 700km  | 1981年)      |
| [秋の渡り] | 美ヶ原 | → | 沖縄県  | (約 1284km | 1997年 62日後) |
|        | 美ヶ原 | → | 与論島  | (約 1118km | 1997年 79日後) |
|        | 静岡県 | → | 喜界島  | (約 1100km | 1990年)      |
|        | 愛知県 | → | 奄美大島 | (約 1000km | 1988年)      |

などがあり、あの小さな蝶がよくもまあ飛んで行くものだと感心したり驚いたりして、改めてアサギマダラの不思議さを垣間見た気がした。そしてさらに、たまたま捕獲されたものが記録になっているが、その先、つまり大陸まで移動している説が推測されている。

アサギマダラの食草は、ガガイモ科の植物であるが、越冬態は暖帯林に自生する常緑のキジョランなどを食べている非休眠の幼虫で、3～5月にさなぎになり、4～5月に成虫になる。キジョランは静岡県以南の暖地で自生する植物と言われている。つまり食草のない長野県では越冬できないので、春、5月に見るアサギマダラは、何処からか飛来したものとなる。世の中考えると不思議な事はたくさんあるが、知ってびっくりと言うのも多い。アサギマダラが海を渡っているなんてその姿からは想像できなかったが、想像してみればまた楽しい。キジョランは関東では高尾山にも自生しているので、越冬幼虫を探してみるのも面白いかもしれない。

## 探鳥会の記録 (平成10年1月~10年6月)

門口 一雄

### ○月例 場所；多摩川中央線日野鉄橋~多摩大橋

日時；1月10日(土) 8:20~11:10 天気；晴

〔確認した野鳥〕

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ  
ヒドリガモ オナガガモ トビ オオタカ チョウゲンボウ キジバン イカル  
ルチドリ コリカモメ セグロカモメ キジバト カワセミ アカゲラ コゲラ  
キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ショ  
ウビタキ ツグミ ウグイス セッカ シジウカラ ホオジロ カシラダカ  
アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボ  
ソガラス ハシブトガラス ドバト ベニマシコ オオバン (47種)

〔鳥仲間；敬称省略、順不同〕

青木一男 青木繁昌 今井達郎 大川征治 小沢礼子 粕谷和夫 門口裕子  
神谷古牧 川上悲倉本修 鈴木章七 関根伸一 傍嶋玲子 田中英吉 新田茂  
原田佳世 藤本ヤスコ 三好恒雄 柚木育子 門口一雄 (20名)

〔担当者の記録〕

前日の雪(10数センチ)が凍結し、足場が悪い中での新春探鳥会。一面の雪原から、頭を出したアシ、オギの穂先や残された僅の草地の餌場に小鳥が集まっていた。地元の神谷さんの案内でバン、オオバンの池?で、池の主バン、オオバンとカイツブリを間近で観察できた。昨年のスター、ハイイロチュウヒ、アトリは来ていなかったが、正月から47種もの野鳥が見られ満足した(門口)。

### ○南高尾探鳥会

日時；1月25日(日) 8:20~11:10 天気；晴

コース；梅の木平~三沢峠~城山湖~法政大学

〔確認した野鳥〕

カイツブリ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ トビ オオタカ ノス  
リ チョウゲンボウ キジバト コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセ  
キレイ ルリビタキ ショウビタキ シロハラ ツグミ ヤマガラ シジウカ  
ラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ イカル スズメ ム  
クドリ カケス ヒヨドリ ハシボソガラス ハシブトガラス アヒル ドバト  
カヤクグリ ミソサザイ (35種)

〔本日のベスト〕

ノスリ ルリビタキ

〔鳥仲間；敬称省略、順不同〕

青木繁昌 今井達郎 大川征治 門口裕子 倉本修 佐伯直寛 笹川佳子  
白川司 白川史子 田中英吉 坂久雄 永見博子 新田茂 原田佳世 平井国二  
平井智恵子 藤本ヤスコ 丸山二三夫 三好恒雄 山崎悠一 山崎久美子  
柚木鎮夫 柚木育子 門口一雄 (24名)



〔担当者記録〕

2週間前の大雪のため、方々で樹木の幹が裂け、枝が折れ、道を塞いでいた。予想より積雪が多く（数 10 cm）凍って滑る。堅雪を渡りミソサザイ、ルリビタキを探し、カラの混群を見つめる。登るにつれ雪が深くなり心細い行進となる。三沢峠を越し道が南斜面になると雑木林となり日差しが眩しく、雪も少ない。遠くに都心の高層ビルを眺めたり、ノスリ、オオタカを見上げたり忙しい。通行止のため、一部割愛したが思い出多い雪山探鳥となった（門口）。

○里山篠刈り支援；八王子ニュータウン宇津貫緑地

日時；2月7日 8:00~11:30 天気；晴

〔確認した野鳥〕

コサギ オオタカ ハイタカ ノスリ キジバト コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス

〔本日のベスト〕

ホオジロ オオタカ コゲラ

〔参加者〕

カワセミ会会員14名 宇津貫緑の会11名

〔担当者記録〕

急斜面に足を踏ん張り、篠を刈り、枯れ枝や落ち葉を集めた。冬の雑木林は明るく気持ち良い。上空をオオタカのペア？が舞うのを見つけ、この付近の里山で繁殖してくれることを祈る。

終了後、宇津貫緑の会の方々手作りのトン汁、漬物…をいただき感激した。いつも御馳走様です。

○昭和記念公園；平日探鳥会

日時；2月19日（木） 天気；晴

〔確認した野鳥〕

カイツブリ ダイサギ マガモ カルガモ チョウゲンボウ コジュケイ キジバト コゲラ ハクセキレイ ピンズイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオシ カワラヒワ シメ シズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス アヒル ドバト バリケン（29種）

〔鳥仲間；敬称省略、順不同〕

今井達郎 川戸恵一 河村洋子 木村晴美 小塩菊子 佐伯直寛 佐々木広子 志村進 関根伸一 傍嶋玲子 高橋稔 田中英吉 千葉慎子 新田茂 平井国二 平井智恵子 平井牧 平井芳子 堀江禎子 三好恒雄 後藤洋子 川上恵（22名）

〔担当者記録；川上〕

八王子カワセミ会として初めて昭和記念公園（昭和天皇ご在位50周年記念の公園）で、平日探鳥会を行った。

当日は、9時30分八王子駅集合、立川乗換え、西立川駅降車、10時南口ゲートから入園(400円)。先ず水鳥の池に出て、カイツブリ、カルガモ、バリケン等を見てから西廻りに進み、もみじ橋～残堀川～観察舎～みんなの原っぱ付近を観察、日本庭園前の芝生で弁当(昼食)。  
午後は、昨年完成したばかりの日本庭園を鑑賞、ここで絵を書きたいという希望者があり、中間鳥合わせしたあと、トンボ湿地～林間広場付近を探鳥しながら南口ゲートに戻り、再び最終鳥合わせをして14時30分ごろ解散した。  
昭和記念公園は、樹林も多く将来は探鳥地として期待できるも、今は開園後歳月も浅く、樹の繁りが少ないためか、野鳥は予想より少なかった。

## ○公開：浅川

日時：2月22日(日) 8:00～10:30 天気：晴

場所：ふれあい橋～一番橋

[確認した野鳥、順不同]

カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ミコアイサ オオタカ キジ イカルチドリ イソシギ コリカモメ セグロカモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキ レイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト トウネン(44種)

[本日のベスト]

ミコアイサ オオタカ カワセミ

[鳥仲間；敬称省略、順不同]

阿江範彦 青木一男 秋山侑司 今井達郎 尾崎和子 粕谷和夫 加藤兼一  
加藤六郎 門口裕子 川上恵 川戸恵一 菊池美智子 北原惟行 栗原友子  
小塩菊子 志村進 杉田陽子 杉森熊二 鈴木章七 傍嶋玲子 高橋稔  
千葉慎子 中村啓一 中村千枝 新田茂 波田哲男 原田佳世 馬場裕  
平井国二 平井智恵子 古山隆 丸山二三夫 三富恒男 三好恒雄 本島てるみ  
山浦秀雄 山崎悠一 山崎久美子 高城隆夫 高城尚子 岩本嘉之 桑本和子  
湯浅万里子 須藤淑子 高坂和夫 高坂紀 千明猛 仲尾政幸 岡本多賀子  
小倉一迪 小倉禮子 山本勇 竹原京子 中木原ツヤ子 門口一雄(55名)

[担当者の記録]

交通の便がよく、歩き易く、見易く、そして麗らかな天候。  
参加いただいたバードウォッチャー50数名(カワセミ会の探鳥会も盛況となってきた)。満足いただけただか疑問だが、本日のベスト3種とオオタカの餌食になった、コサギの血のついた羽の散乱現場を見たこと。2時間余の探鳥で40数種の野鳥が見られること等。浅川の良さを共有できれば幸いである(門口)。

## ○月例；浅川

日時：3月8日（日） 8:00～11:00 天気；晴

場所：陵北大橋～松竹公園

〔確認した野鳥、順不同〕

カワウ コサギ アオサギ カルガモ コガモ トビ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ キジキジバト コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ イカル シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト アヒル  
(36種)

〔本日のベスト〕

イカル シメ オオタカ

〔鳥仲間；敬称省略、順不同〕

阿江範彦 青木一男 青木繁昌 井手龍世 岩本嘉之 粕谷和夫 門口一雄  
川戸恵一 河村洋子 佐伯直寛 笹川佳子 鈴木章七 高橋芳子 田中英吉  
千葉楨子 新田茂 波田哲男 平井国二 平井智恵子 丸山二三夫 三富恒男  
山崎悠一 山崎久美子 渡辺仁 石橋公子 仲尾政幸 仲尾陽江 宮武三郎  
島津順一 今井達郎 (30名)

〔担当者の記録〕

快晴の朝8時30名が陵北大橋下に集合、先ず眼に入ったのが無線のアンテナに止まるオオタカ。川の両岸にはホオジロ、カシラダカ、カワラヒワが多い。小田野中央公園に近づくとシメ、イカルが、夕焼橋からはアカハラが見られた。キジの声を聞きながら進み深沢橋に至るとオオタカ、チョウゲンボウ、ノスリが現れる。恩方の松竹公園で鳥合わせをし11時に解散した(今井)。

## ○軽井沢探鳥会

日時：3月15日（日） 9:00～15:30 天気；雪

場所：小瀬林道入口…塩壺…別荘地…中軽井沢

〔確認した野鳥〕

ゴジュウカラ イカル スズメ シジュウカラ カケス ベニマシコ カヤクグリ ホオジロ ジョウビタキ エナガ アトリ ヤマガラ シメ コガラ カルガモ アカゲラ アオゲラ ヒガラカワラヒワ カシラダカ トビ ヒヨドリ ツグミ オオタカ ハシブトガラス コゲラ カワガラス ミソサザイ キジバト オナガ ウソ (31種)

〔本日のベスト〕

ゴジュウカラ イカル ベニマシコ

〔鳥仲間；敬称省略、順不同〕

今井達郎 大川征治 大川香 門口裕子 川上恵 木村正子 倉本修 桑原文夫  
傍嶋玲子 田中英吉 新田茂 原田佳世 平井国二 平井牧 平井芳子  
山崎悠一 山崎久美子 柚木鎮夫 柚木育子 渡辺仁 門口一雄 (21名)

〔担当者の記録〕

快適な新幹線を降りたら一面銀世界、ときおり横殴りの吹雪きに見舞われる。

積雪20cm弱の新雪をラッセルしながらの探鳥となった。

小瀬林道では、ゴジュウカラ、ヒガラ等のカラ類が時々出現するが、自然一杯のためか、雪で避難しているのか、鳥たちの種類、数とも少なく感じられた。めあての赤い鳥や軽井沢ならではの野鳥を探すが見つからない。雪で双眼鏡は曇り、寒さで身体は固まり足元が滑るので、小鳥の森はあきらめ塩壺のホテルで昼食とした。ホテルの前庭の賑やかさには驚かされた。入れ代わり、立ち代わり餌台に来る小鳥を見ながら、イカルは墮落している、軽井沢動物園だ、山に野鳥が少ないはずだ…餌台をめぐる賛否の音が聞こえる。別荘地を抜け、中軽井沢駅までの行程は、雪も小降りになったせいもあるが、カラの仲間、コゲラ、アオゲラ、アカゲラ、オオタカ……よく出た。(門口)

### ○平日；古山貯水池

日時：3月26日(木) 9:45～11:30 天気；晴

場所：古山貯水池

[確認した野鳥、順不同]

カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ トビ オオタカ コジュケイ オオバン イソシギ セグロカモメ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス アヒル(38種)

[鳥仲間；敬称省略、順不同]

青木繁昌 今井達郎 大川香 尾崎和子 小沢礼子 川戸恵一 河村洋子  
高橋稔 千葉禎子 平井国二 平井智恵子 平井牧 山崎久美子 後藤洋子  
柚木育子(15名)

[担当者の記録] 担当；河村洋子 柚木育子

西東京バスのストと重なりましたが、15名の参加があり、天候に恵まれました。去年いたオシドリはいませんでした。ヨシガモ約10羽、コガモのディスプレイが見られました。暖かいためか、カモの総数も少なく感じられました(柚木)。

## ○平日；浅川

日時：4月3日（金） 9:00～11:40 天気；曇

場所：大和田橋～長沼橋

〔確認した野鳥、順不同〕

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモコガモ ヒドリガモ ハシビロ  
ガモ トビ オオタカ チョウゲンボウ キジ バン イカルチドリ イソシギ  
セグロカモメ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ ツバメ イワツバメ キ  
セキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ  
シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリハシボソガラス  
ハシブトガラス ドバト（37種）

〔本日のベスト〕

キジ セグロカモメ イカルチドリ

〔鳥仲間；敬称省略、順不同〕

今井達郎 今岡涼子 岩本嘉之 大川香 井形定子 小沢礼子 加納三千代  
川上恵 川戸恵一 倉本修 志村進 杉森熊二 鈴木章七 多田恒子 田中英吉  
新田茂 平井国二 平井智恵子 細谷修一 三好恒雄（20名）

〔担当者の記録〕

4月にはいって平年の気温を下回る寒い日が続きましたが、予報では3日は暖かくなるということでした。だが、温度はあがらず寒い日でしたので、参加者は20名と少なく、観察された野鳥は37種でした。しかし、大和田橋のすぐそばにキジ（オス）が出て皆大喜びでした。近所の人も出て来て、何年か前には子連れの子が毎年出て来て楽しませてくれた、という話をしてくれました。

16号バイパスの橋を渡って右側の鉄塔の上にカラスの巣があり、それにハシブトガラスが飛んで入ったので、新田さんが、ハシブトガラスの巣は珍しいと言っていました（田中）。

## ○月例；浅川ごみ拾い&探鳥（多摩川クリーンエイド）

日時：4月11日 天気；晴

場所：松枝橋～小田野中央公園

〔集めたゴミ〕

空カン等の不燃ゴミ 36袋

〔確認した野鳥〕

カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ オオタカ コジュケイ キジ  
イカルチドリ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ アオゲラ コゲラ ツバ  
メ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨ  
ドリモズ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ  
アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラスドバ  
ト アヒル ガビチョウ（38種）

〔本日のベスト〕

オオタカ キジ ガビチョウ

〔鳥仲間；敬称省略、順不同〕

青木繁昌 井手龍世 今井達郎 大川征治 粕谷和夫 加藤六郎 門口裕子



神谷古牧 川上恚 川戸恵一 河村道寛 河村洋子 倉本修 栗原友子 白川司  
白川史子 杉森熊二 鈴木章七 関根伸一 新田茂 波田哲男 平井国二  
平井智恵子 平井牧 古山隆 丸山二三夫 山崎悠一 山崎久美子 柚木育子  
門口一雄 (30名)

〔担当者の記録〕

いつもの探鳥具にゴミ袋の出立ち。カン類よりビニール袋が多いような気がした。ゴミは、堤防の上には少なく、川の中や草むらに投棄されているものが多い。一方鳥は、期待どおりに姿を見せてくれる、カワセミ、オオタカの2大スターにキジ、そしてガビチョウの名声?が加わり満足した。記念植樹のヤマザクラを眺めながら、ビールを回し、今日の鳥、次の探鳥旅行……など、鳥談義で盛り上がった(門口)。

## ○谷津干潟

日時; 4月25日(土) 9:15~13:30 天気; 曇後雨

〔確認した野鳥〕

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ バン コチドリ ハマシギ  
キアシシギ ユリカモメ セグロカモメ コアジサシ キジバト ヒバリ ツバメ  
ヒヨドリ モズ ツグミ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシブトガラス  
ドバト オオソリハシシギ ダイゼン シロチドリ ホシハジロ オオハシシギ  
メダイチドリ キョウジョウシギ チュウシャクシギ トウネン オバシギ  
ダイシャクシギ (40種)

〔本日のベスト〕

コアジサシ オオソリハシシギ シロチドリ オオハシシギ

〔鳥仲間; 敬称省略、順不同〕

青木一男 今井達郎 大川征治 小澤礼子 粕谷和夫 門口一雄 門口裕子  
神谷古牧 川上恚 木村正子 倉本修 佐伯直寛 白川司 鈴木章七 関根伸一  
傍嶋玲子 高橋稔 田中英吉 新田茂 原田佳世 平井国二 平井智恵子  
平井牧 平井芳子 福島弥四郎 三好恒雄 山崎悠一 山崎久美子 柚木育子  
(29名)

〔担当者記録〕

雨中の探鳥となったが、途中から観察舎に入り快適に観察出来た。抱卵中のシロチドリ、夏羽のオオソリハシシギ、キョウジョウシギ等間近でみれた(担当 三好)。

## ○小下沢林道

八王子市の鳥を見る会 緑の推進委員八王子の会と共催

日時; 5月10日(日) 7:30~10:40 天気; 曇

〔確認した野鳥〕

キジバト アマツバメ アオゲラ コゲラ ヒヨドリ ミソサザイ クロツグミ  
ヤブサメ ウグイス センダイムシクイ オオルリ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ  
メジロ ホオジロ イカル カケス ハシブトガラス ガビチョウ (20種)

[本日のベスト]

オオルリ クロツグミ ガビチョウ

[鳥仲間(会員のみのみ)；敬称省略、順不同]

青木一男 青木繁昌 秋山侑司 井形定子 伊倉恵子 石井秀典 石橋公子  
井手龍世 大川征治 大川香 尾崎和子 粕谷和夫 粕谷寿美子 門口裕子  
川上恵 河村洋子 倉本修 桑原文夫 小塩菊子 嶋崎太郎 志村進 白川司  
杉田陽子 鈴木章七 高橋稔 田中英吉 千葉楨子 新田茂 平井国二  
平井智恵子 平井孜 福本順吉 藤本ヤスコ 古山隆 細谷修一 前田善明  
三好恒雄 本島てるみ 山浦秀雄 山崎悠一 山崎久美子 横山由美子  
門口一雄(43名、他に一般参加者14名 計57名)

[担当者記録]

集合時間を例年より早くしたが、総勢57名の方に参加をいただきオオルリの  
人気に驚く。めあてのオオルリは、鳴き声が微かに聞こえるのに、姿が見えない。  
予定の解散地点を先に先にと延ばし、林道を奥深く進み、杉の梢で鳴くブルーと  
白色の「歌いて」を見つけ参加者全員が確認した。

## ○早朝高尾山

日時；5月16日(土) 6:00 ~9:30

場所；1号路~4号路 天気；晴

[確認した野鳥]

オオタカ コジュケイ キジバト アオバト ヒメアマツバメ アマツバメ ア  
オゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ ヒヨドリ クロツグミ ヤ  
ブサメ ウグイス センダイムシクイ キビタキ オオルリ エナガ ヒガラ  
ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ イカル スズメ カ  
ケス ハシブトガラスドバト ガビチョウ(31種)

[本日のベスト]

キビタキ オオルリ エナガ

[鳥仲間；敬称省略、順不同]

阿江範彦 青木一男 石橋公子 井上泰子 今井達郎 大川香 粕谷和夫  
川上恵 河村洋子 木村正子 久保田ヤス子 倉本修 桑原文夫 小塩菊子  
小花五郎 佐伯直寛 笹川佳子 島津訓一 杉田陽子 鈴木章七 関根伸一  
傍嶋玲子 千葉楨子 永見博子 夏目昌明 夏目満子 新田茂 平井国二  
平井智恵子 藤本ヤスコ 丸山二三夫 三好恒雄 山浦秀雄 山崎悠一  
中北喜久子 門口一雄(36名)

[担当者記録]

子育て中なのだろうか、オオルリが道端を行き来する。エナガのファミリーが  
騒がしく鳴き合う。早朝の高尾山は新鮮だ。今度は夜明け前の高尾山に挑戦した  
い(門口)。

## ○；阪東大橋

日時；5月24日(日) 10:00~13:30 天気；雨

〔確認した野鳥〕

カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ コジュケイ  
キジ イカルチドリ キアシシギ イソシギ コアシサシ キジバト カッコウ  
ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ コヨシキリ  
オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハ  
シボソガラス ハシブトガラス ドバト(32種)

〔本日のベスト〕

セッカ オオヨシキリ カッコウ

〔鳥仲間；敬称省略、順不同〕

今井達郎 大川征治 大川香 粕谷和夫 門口裕子 川上恵 河村洋子  
佐伯直寛 鈴木章七 関根伸一 新田茂 福島弥四郎 丸山二三夫 仲尾政幸  
仲尾陽江 門口一雄(16名)

〔担当者記録〕

利根川の河川敷に広がるアシ原でオオヨシキリセッカ、ヒバリ…の鳴き合いは  
圧巻である。ナワバリの存在を否定するように至近距離で飛び交い、口を大きく  
開け歌い合う。雨の中、めあてのウズラを探して歩き回ったが、残念ながら見つ  
けられなかった(門口)。

## ○；白馬山麓 6月6日~7日；別途報告

## ○；大菩薩峠

日時；6月28日(日) 時間 9:10~16:10 天気；小雨後晴

コース；上日川峠…大菩薩峠…大菩薩嶺…丸川峠…裂石

〔確認した野鳥〕

アカハラ コガラ ミソサザイ ホトトギス カッコウ カケス ツツドリ ウ  
グイス シュウイチ ビンズイ オオルリ キジバト コルリ ヒガラ メジロ  
ホオジロ メボソムシクイ ハシブトガラス ゴジュウカラ コマドリ ヒヨド  
リ キセキレイ キビタキ キクイタダキ イカル ルリビタキ コゲラ ヤブサ  
メ(28種)

〔本日のベスト〕

アカハラ ビンズイ コルリ

〔鳥仲間；敬称省略、順不同〕

大川征治 大川香 倉本修 門口裕子 佐伯直寛 丸山二三夫 傍嶋玲子  
石橋公子 山崎久美子 門口一雄(10名)

〔担当者記録〕

上日川峠でタクシーを下りたら小雨の中コルリが、美声を張り上げ迎えてくれ  
る。富士見荘でアカハラ、ミズナラの古木の中でミソサザイ、コマドリが、草原  
のカラマツの梢ではビンズイがいつもと同じ辺りで囀り飛び交う。梅雨晴れの草  
原の空気を吸い、樹林の中で鳥を探し、急坂で汗をかき、爽やかな一日であった  
(門口)



## 奄美大島探鳥会を担当して

鈴木 章七

この度、八王子カワセミ会の奄美大島探鳥会は、半田ゆかりさん（奄美希少鳥獣研究会代表）を通して、地元の方々のご支援を頂き、奄美野鳥の会の幹部の方々との交流会を含め、盛況裡に多くの成果を得させて頂きました。ご協力ご支援を頂いたご当地の皆さん、レンタカー運転などのご苦勞を掛けた当会の参加者のみなさんに心より有り難くお礼申し上げます。

当会のきまりですので、拙筆を顧みず、今回の担当者の一人としての、報告と所感を書かせていただきます。

### 1. 所定事項の報告

- ・参加者：八王子カワセミ会会員 20名 敬称略  
阿江・青木（繁）・今井・大川（征・香）・粕谷・川上  
門口（一・裕）・河村（洋）・佐伯・鈴木・関根（伸）  
田中（英）・古山・丸山・三好・山崎（悠・久）・柚木（育）
- ・旅程：平成 10年 2月 13日(金)～ 2月 15日(日) 2泊3日

2月13日

東京羽田空港発 JAS545 6:30

奄美大島着 8:45

- ・現地の移動：レンタカー ハイエースワゴン2台（3日間）  
ドライバー：門口（一）、山崎（悠）
- ・ご案内頂いた地元の方（敬称略）  
文川 栄八郎 奄美野鳥の会 奄美大島空港出迎えと終日案内  
半田 ゆかり 奄美希少鳥獣研究会代表 昼食から終日案内と交流会
- ・コース  
笠利町の大瀬海岸・周辺一昼食（ばしゃ山 奄美料理；鶏飯）－平井オ  
レンジグロウヴ（タンカン狩り）－龍郷町の奄美自然観察の森一名瀬港  
（記念写 真撮影）－地元・奄美野鳥の会との交流会（名瀬市 居酒屋  
喜多八）－宿泊（名瀬市 ホテルニュー奄美）交流会当会参加者は全員  
出席
- ・交流会に出席された奄美大島の方々（敬称略）  
半田 ゆかり 奄美希少鳥獣研究会  
恵沢 岩生 奄美野鳥の会 事務局長



大野 登希子 奄美野鳥の会

伊東 則子 奄美野鳥の会 画家

榎 安男 奄美野鳥の会 写真家

文川 栄八郎 奄美野鳥の会

奄美自然観察の森で南海日日新聞高槻義隆記者（奄美希少鳥獣研究会の主要メンバーでもある）の取材を受けた。

交流会にて、半田さん、恵沢さんに、当会の贈物として、粕谷会長から「数えあげた浅川の野鳥」、阿江編集長から「かわせみ」18・19号が手渡された。

鈴木幹事はルリカケス木鳥ブローチを進呈し、同じ絵のTシャツを頂いた。

ばしや山の由来  
ばしや山とは、ばし  
よの群生林の事で  
す。  
むかしは、ばしよ  
のセンイからバシヤ  
ギン（大島紬の前セ  
イ）を作っており、  
又、唯一の水源地で  
もあり当時は生活の  
場であったと言いま  
す。又、たくさんの  
ばしや山を持つてい  
ると言う事で、財産  
を誇った時代でもあ  
りました。  
むかし、村一番のば  
しや山を持った人が  
娘の婿がなかなかき  
まらないので、ばし  
や山を付けて婿さが  
しをしたと言う事か  
らばしや山を不美人  
の代名詞でもつかわ  
れます。又、一説に  
よりますと「奄美な  
でしこ」いわゆる年  
ごろの娘の譲渡語で  
あったとも伝えられ  
ております。

2月14日 ・南海日日新聞に当会の今回の記事が載る

・ご案内頂いた地元の方（敬称略）

恵沢 岩生 奄美野鳥の会 事務局長（早朝～夜間～懇親会）

大野 登希子 奄美野鳥の会（早朝）

文川 栄八郎 奄美野鳥の会（夜間）

・コース

早朝（朝食前）金作原自然観察教育林—小湊水田地帯—住用村—マングローブ群生林—昼食（レストラン祭ばやし；鶏飯）—東仲間（住用村文化財モダマ）—神屋国有林—役勝川（宿）周辺—夜間（夕飯後）三太郎峠—恵沢さんを囲んで懇親会・宿泊（みどり旅館）

2月15日 ・地元の方のご案内辞退

・コース

早朝（朝食前）役勝川（宿）周辺—名瀬市（昼食購入）—秋名水田地帯—龍郷町の奄美自然観察の森—笠利町の大瀬海岸—奄美大島空港—東京（奄美大島空港ロビーで「とりあわせ」を行った）

奄美大島空港発 JAS548 18:10  
 東京空港着 20:20

鳥合わせ結果：野鳥62種 その他3種 ◎印は今回のベスト10  
 カイツブリ・チョウゲンボウ・カワセミ・シロハラ・カワウ・バン  
 ◎オーストンオオアカガラ・ツグミ・ウミウ・シロチドリ・コゲラ  
 ウグイス・アマサギ・メダイチドリ・ツバメ・セッカ・ダイサギ  
 タゲリ・リュウキュウツバメ・ヤマガラ・チュウサギ・キョウジョシギ  
 キセキレイ・シジュウカラ・コサギ・ハマシギ・ハクセキレイ  
 ◎ホオジロハクセキレイ・メジロ・クロサギ・アオアシシギ・ピンズイ  
 アオジ・アオサギ・クサシギ・タヒバリ・スズメ・カルガモ  
 ◎タカブシギ・サンショウクイ・◎リュウキュウサンショウクイ  
 ◎ルリカケス・コガモ・イソシギ・ヒヨドリ・ハシブトガラス  
 オカヨシガモ・◎アマミヤマシギ・コマドリ・アヒル・ヒドリガモ  
 ウミネコ・◎アカヒゲ・ドバト・オナガガモ・キジバト・ショウビタキ  
 バリケン・ハシビロガモ・◎ズアカアオバト・アカハラ・ミサゴ  
 リュウキュウコノハズク・イソヒヨドリ・◎サシバ・ヒメアマツバメ  
 ◎オオトラツグミ



奄美大島空港発 奄美大島の自然を満喫する鳥の観察会  
 (奄美大島空港発 奄美大島の自然を満喫する鳥の観察会)

## 2. 私の所感 一個人的感動の切抜き

今回の奄美大島行きについて、私の仕事のご縁で、本業が獣医師という繁忙の人・半田さんをお願いしたところ、快く承諾され、現地案内・移動手段・宿泊所など、一切の手筈を適切にとりまとめ頂きました。そのうえ、「八王子カワセミ会」の名入りソテツの実プローチを全員にプレゼント下され、おいしいタンカンも頂きました。

直前の連絡の都合上、到着直後の行動予定に、一抹の不安を抱いていたのですが、文川さんの空港出迎えを受け、本当に助かりました。明るいお人柄で、楽しく気持ち良いご案内を頂きました。

恵沢さんの豪快なお人柄から、居酒屋喜多八での交流会は盛り上がりました。2日目は早朝から夜間探鳥までご案内頂き、さらに夜遅まで、懇談等にお付き合い頂きました。また、奄美野鳥グッズ斡旋も熱心に対応して下さいました。

**味** 奄美料理亭「ばしゃ山」・レストラン「祭ばやし」の鶏飯は、奄美大島独特のお茶づけなのですが、それぞれの店の味があり、さっぱりしていて、けっこう腹ごたえのある昼食でした。何種類もの具が見た目にもきれいでした。はじめて味わった旬のタンカンは糖度の高さ、袋の薄さ、種子なし、たっぷりの水分等、柑橘類の最高傑作と思われ



まず。タンカン狩りでお腹いっぱいご馳走になり、自宅への発送注文も盛況でした。

居酒屋喜多八では、本格的な奄美大島の郷土料理と思われる、骨つき肉と野菜の煮物や海産物の煮物など、味がよく透みて、地焼酎との相性が際立って良く、つい杯が重なりました。

## 植物

金作原原生林のヘゴ群生には度肝を抜かれました。凛として泰然、風格、気品、みずみずしく美しい緑、南国気分を堪能させてくれました。話には聞いていましたが、住用村の天然記念物モダマの実の大きいこと、これにも、びっくりしました。オキナワチドリ、アカボシタツナミソウ、などの野草が、辛うじて、盗掘から逃れて道端に花をつけ、アマミエビネも山あいによく見られました。

## 鳥以外の動物

ハブ、マングース、イノシシは、姿は無かったが、罾の標識や獣道跡などが多く見られました。リュウキュウアサギマダラの群舞と多種の蝶類を目にしました。もしやと、密かに期待していたアマミノクロウサギには残念ながら会えませんでした。

## 野鳥

雑誌「BIRDER」などで、一応予備勉強して、とにかく、ルリカケスとアカヒゲだけは絶対見たいとの願いを込めて、ルリカケスの木鳥ブローチを作製（奄美大島探鳥会記念にと24個作り、参加者や現地のお世話になった方々にお配りしました）し、1ケを目立つように帽子に付けて参りました。

奄美自然観察の森に着いて間もなく、願望のひとつ・アカヒゲにご体面のラッキーに恵まれました。樹間に光り輝くアカヒゲ、あのなんとも言えない、赤みの多い橙色と純白（夏羽になり切っていないせいか図鑑に出ているような黒は余り目立たなかったようです）の美しさには息をのみ、飛び去るまでのしばしの間、うっとり魅入られ続けました。

さて次はルリカケスです。帽子のブローチが急立っています。すでに見たという人がお仲間が増えてきても、私の目には捕らえられず、焦りはじめました。この森の飼育舎に飼われているルリカケスをじっくり観察し、とにかく、生きてるのを見た、と、多少気休めにしていると、腹の中を見透かされて、「そんなの見たうちに入らないよ」と、ご親切に声を掛けてくれるご仁が出る始末でした。残念ながら、どうしても、目に捕らえることができませんでした。

二日目もマングローブ群生林で多くの人は見たいのですが、依然私の目には入れることができないしていると、「未だ見ていないの?」「へー、未だ見てない人がいるんだって!」の音が耳に入ってきます。嫉妬と我が身の心がいなさに、頭の中がカッカしてきます。この気持、本当に嫌ですよ。そんな状況のまま、とうとう、宿泊予定の「みどり旅館」に着いてしまいました。

「ルリカケスかい?この庭にもよく来るよ」との宿のご主人の言葉を聞いて、荷物を置き、すぐ側の役勝川でウォチングを開始しました。期待に胸ときめかせ、しばらく探していると、対岸の森にズアカアオバト数羽発見しました。けっこう、いろんな鳥が行き交っています。なんとか探し出そうと目を凝らしていると、「ルリカケスだ!」「ほら!あそこ・あそこ」と、少々うわずった声が耳に入りました。今度こそはと必死に探しました。興奮の血が熱くなりつつあるなか、ついに見つけました。それほど大きくない木の中ほどの枝に、「さあ見て頂戴」と言わんばかりのいい格好で、図鑑から飛び出したような姿・色彩で、我がフィールドスコープいっぱい「お疲れ様、昨日今日悔しかったでしょ」と微笑んでくれているようです。誰かが、「今まで見ないでいてよかったよ。第一印象をこんなに良い状態で持てて…」と





言ってくれました。嬉しいです、きっと森の精が最高の感激を与えるために今の今まで私の目から隠し抑えていて下さったのでしょう。溜まりに溜まった願望と期待が一気に叶い、しばらく、感謝・感激・感無量に、全身がしびれました。

さて、この件を境に、ツキがまわってきたようです。夕食後の、夜間ウォチングでは、アマミヤマシギをたっぷり2番い、オオトラツグミ1番い（多分番いと思いますが？）をこの目でしっかり観察できました。この夜間探鳥は、恵沢さんと文川さんの両地元ベテランのご案内と諸手筈（ヘッドライト照明など）のおかげでした。本当に有り難く感謝致します。粕谷会長の提案もあり、これ以上、奄美野鳥の会の方々に、ご面倒をお掛けしては誠に申し訳ないので、明日については、自分達だけで行動することとし、ご好意に感謝しつつ、ご案内をご辞退申し上げました。

三日目も、ホオジロハクセキレイなど、今回の探鳥会のしめくりに相応しい収穫を得ることができました。

以上、人・味・植物・鳥以外の動物そして野鳥と、抜き書き的に所感を述べてきましたが、この素晴らしい自然、その恵みに支えられた心豊かな人々、蕩けるような味、その上、超魅力的な野鳥、「帰りたくない!」、



「もう一度来たい!」、「余生をここで過ごしたい!」参加者全員が完全に魅了させられてしまいました。心から『奄美大島の豊かな自然よ永遠れ!』で最後に、今回の探鳥会3日間で、奄美大島固有種の野鳥の殆どを含め、多くの自然観察・体験ができましたこと、ご当地、半田ゆかり代表はじめ奄美希少鳥獣研究会および高<sup>たかし</sup>美喜男会長・恵沢事務局長はじめ奄美野鳥の会の方々の、ご配慮・お骨折りなどのご支援の賜物です。重ね重ね厚くお礼申し上げます。今後とも、何かと八王子カワセミ会とご交流賜ること、お願い申し上げます。拙文を限りといたします。

## 奄美大島探鳥会

佐伯 直寛

立春を迎えたが今だ冬真っ盛りで山野には雪が残っている。八王子より早朝の羽田空港（JAS545便）をあとに幻想的大自然が残る南国奄美大島に向け出発。

快適な飛行だ、機内で野鳥図鑑を検索すると国の天然記念物である絶滅の危険性が高いと云われているオオトラツグミ。夜行性のアマミヤマシギ。橙赤色の美しいアカヒゲ。頭、翼、尾が瑠璃色他は赤褐色、くちばしと尾先が白のルリカケス等は奄美を象徴する留鳥で是非とも探鳥する価値がある野鳥と記されており、大きな夢を持った旅となる。

空から眺めた白い砂浜、コバルトブルーの海と燃え立つ空の青さ、鮮やかな野山の緑を感じ空港到着、天候は晴れ、初夏を思わせる暑さのもと、地元野鳥の会文川氏の出迎えを受け、空にはリュウキュウツバメ、サシバの歓迎もあり、八王子では空高く舞う、ノスリ、サシバの姿をかいま見るが、当地では人里近くの松、電柱等近くで観察が出来た。

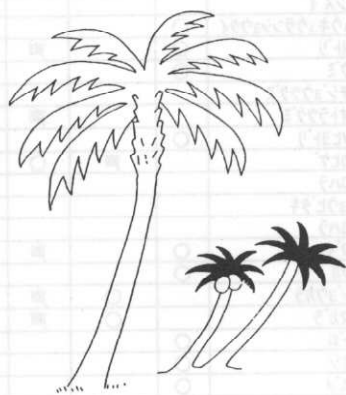
文川氏の案内で島内の代表的探鳥地を回る。始めはシギ、チドリ類の宝庫笠利町大瀬海岸の干潟で探鳥。龍郷町奄美自然観察の森では期待する野鳥達のさえずる声を聞きながら入ると同時に橙赤色の美しいアカヒゲが目の前に現われ「あっ」と驚き、又ルリカケス、絶滅危惧のオーストンオオアカゲラ（雌雄）が見られ、次から次へと珍鳥が現れ多いに感動した。

夜には地元野鳥の会の恵沢氏、奄美哺乳類研究会の半田氏、他の会員と交流会を行い、自然と野鳥に関する体験談及び意見の交換を致し、大いに盛り上がり親交を深めた。

早朝小雨の中、恵沢氏案内で名瀬市、金作原原生林にてオオトラツグミ、アカヒゲ、リュウキュウコノハズク等の鳴き声を耳にすることが出来た後、大川沿い小湊水田（パン）、住用（昼食）周辺（ハチジョウツグミ）、カヤク峠（サンショウクイ）、秋名水田（ホオジロハクセキレイ）を探鳥し、住用村役勝川ではフクヨウの新芽を摘むズアカアオバト多数とルリカケス等を十二分に堪能しました。

今回最大のイベント夜の探鳥では夜行性のアマミヤマシギが暗闇にライトアップされた姿は幻想的であり、みなさん興奮して歓声を上げていた。地元の人もあり姿を確認できない絶滅寸前の幻の鳥オオトラツグミの姿に遭遇しその美しさに感動致しました。

最後になりましたが、地元野鳥の会、奄美哺乳類研究会の皆様の協力により珍鳥を含む63種を観察し大成功に終わり誠に有り難うございました。幹事の皆様、大変お疲れ様でした。私としては子供の頃から折りにふれ色々な生き物が好きで楽しんでおりましたが、このたび三好さんとの出会いがあり誘われて四ヶ月前から会に参加し、南国の奥深いロマンと亜熱帯特有のマングローブが群生する、大いなる自然の景観にふれ貴重な体験が出来た事を心から感謝致します。



奄美大島探鳥会

連番	場所	1998年2月13日				2月14日				2月15日				
		時間(自)	9:20	13:20	6:30	10:00	11:30	12:40	16:00	19:00	7:00	11:00	12:30	15:25
		時間(至)	10:55	15:30	7:30	10:45	12:30	14:00	17:30	21:30	8:00	12:10	14:30	16:30
		大瀬 海岸	奄美自然 観察の森	金作 原生林	小湊	マン グ ロー プ 原生	住用(昼 食)周辺	役勝川 (宿)周 辺	三太郎 ンネル周 辺の林道	役勝川 (宿)周 辺	秋名の 水田	奄美自 然観察 の森	大瀬 海岸	
1	カイツブリ	△												
2	カワウ									○				
3	ウミウ	○											○	
4	ダイサギ	○				○							○	
5	アオサギ	○				○								
6	クロサギ	○												
7	コサギ	○				○				○	○			
8	アマサギ					○								
9	チュウサギ					○					○			
10	カルガモ	○											○	
11	オナカガモ	○												
12	オカヨシガモ	△												
13	ヒトリガモ	○											○	
14	ハシビロガモ	△												
15	コガモ	○											○	
16	ミサコ	○					○						○	
17	サシハ	○				○				○	○			
18	チョウゲンボウ					○								
19	バン					○				○				
20	タケリ										○		○	
21	イソシギ	○											○	
22	アオアシシギ	○											○	
23	アマミヤマシギ								○					
24	クサシギ										○			
25	タカアシギ										○			
26	キョウジョシギ												○	
27	ハマシギ												○	
28	シロチドリ												○	
29	ウミネコ	△												
30	メダイチドリ												○	
31	キジハト	○				○				○				
32	スアカアオハト						○		○			○		
33	リュウキュウコノハズク				声									
34	ヒメアマツバメ										○			
35	カワセミ	○				○				○			○	
36	コゲラ	○					○					○		
37	オーストンオオカゲラ		○				○							
38	ツバメ													
39	リュウキュウツバメ					○								
40	ホオシロハクセキレイ										○			
41	ハクセキレイ	○				○							○	
42	キセキレイ	○											○	
43	タヒバリ					○		○						
44	ヒンズイ													
45	リュウキュウサンショウクイ	○						○						
46	ヒヨドリ	○			声					○		○		
47	ツグミ	○						○						
48	ハチジョウツグミ							○						
49	オオトラツグミ				声				○					
50	イノヒヨドリ	○												
51	アカヒゲ		声	○										
52	シロハラ					○		○				○		
53	シヨウビタキ									○				
54	アカハラ													
55	ウグイス	○			声			○		○		○		
56	セッカ	○									○			
57	シショウカラ		○		声					○		○		
58	ヤマカラ		○		声					○		○		
59	メジロ	○					○			○		○		
60	アオジ	○								○				
61	スズメ	○									○			
62	ルリカケス		○				△	○		○				
63	ハシブトガラス	○				○				○	○			
64	ドバト							○						
65	ハリケン							○		○				
66	アヒル							○		○				



奄美大島探鳥語呂あわせ

豊 興大

青木繁昌

あちこちに やたら目につく サシバかな

すぐそばで オオアカゲラの ドラミング (オオストンオオアカゲラ)

梢にて 朝日に映える ルリカケス

夜の道 ライトにすくむ ヤマのシギ (アマミヤマシギ)

夜明け前 じっとたたずむ 人の影

(オオトラツグミ・リュウキュウコノハスク)

対岸に アオバトの群れ 木の芽食む (ズアカアオバト)

アカヒゲの 姿は見えぬ 声しきり

止まり木で ジックリ確認 ミサゴかな

## 1. 親子その1

5月の初夏、環境アセスの鳥類調査でルートセンサスをしていた時のことあります。場所は昔の森林鉄道の廃道で、今は草が生い繁りその面影はありませんが石組みをした後があり、わずかにその名残を見せています。

オオルリのさえずりを聞きながら歩いていると、前方にエナガを発見しました。数の確認をしようと数歩踏み出したところ、突然、草むらから谷下へ飛び出した鳥がいました。種の確認をしようと更に一步踏み出すと、今度は私の足元から小鳥が数羽、放射線状に谷下に飛び出したのであります。一瞬のことで何が起きたのか分かりませんでした。すぐ目の前の谷下にヤマドリがいました。小鳥と思ったのはヒナで、私が近寄った為、驚かせてしまったことにやっと理解できました。

それにしても、何故もっと早く逃げなかったのか不思議でしたが、おそらく上を見ているので興味は別のところにあり、このままじっとしていれば通り過ぎると様子を見ていたのだと思います。ところが急に向きを変え自分の方へ来たものだから、あわてて、しかも唯一の逃げ場の谷下に飛び出したものと推察しました。

逃げた谷は深く、下はダム湖です。小さなヒナの転げ落ちる様を見て心配でしたが、外敵との遭遇は自然界では試練と考え、また親も附いているので大丈夫と心に言い聞かせました。が、驚かせてしまった事に対し悔いと反省の一日でした。

## 1. 親子その2

6月末の早朝、穂高川の定期カウントでキジの親子に出会いました。堤防を横切るように親が姿を現して消えましたが、ヒナはまだ横切れずに付近に居たようです。その内の一羽が何を思ったのか、私の足元に寄ってきてうずくまってしまったのです。逃げると思っていたので、しばらく対面していましたが、動かないので拾い上げました。ヒヨコぐらいのまだ小さなヒナでした。

ヒナを手にして、実は色々なことが一瞬ではありますが頭の中をめぐりました。このヒナの処遇についてであります。このまま持って帰って育ててみようか、でも多分面倒を看られないな、ヒナを拾わないでキャンペーンもあるし、人には拾わないでと言っているしな、でもちゃんと育つのだろうか、この間のヤマドリの親子には迷惑かけたしな、今ならまだ親が近くにいるはずだ、さあどうすると言うようなことを葛藤していたのです。当然、親の居る方向に逃がしてやりました。

## 楽しかった白馬山麓探鳥会

鈴木 章七

「また雨か、雨男はだれだ!」。前回の遠出探鳥会(5月24日利根川; 坂東大橋付近)の出発の時とまったく同じような霧雨で、出鼻を挫かれた気分になってしまいました。八王子カワセミ会の遠出は小雨決行と決まっていた、追い出し弁当も作ってくれてあるので、「よっしゃ!出掛けるか」と、気を取り戻しました。「急がないと間に合わないわよ」「それっ!」と、いい加減に揃えておいた、ビデオカメラ・雨具・焼酎瓶・パジャマなど、大急でザックに詰め込み、出ている靴を構わず突掛けて、やっとのこと、一番バスに乗れました。

いつもこんな調子で、なんでも切羽詰まらないと、本腰を入れない自分に、我ながら呆れてしまうのですが、それでも何とかなってしまうので、この癖は治りそうもありません。この原稿も、今回の担当者;三好さんに指名され「ハイッ!」と、筆不精のくせに、すぐ安請け合いしてしまい、期限が来てから慌てて、胃がいたくなる思いでやっと書き終えるのが常なのです。

さて、今回の貸し切りバスは会員21名の赤い鳥との出会いなどの期待を乗せて、白馬山麓目指し予定どおり、快調に発車し、途中忙しくワイパーを使った時もありましたが、山梨県に入ると雨は止み、長野県に入ると明るくなってきました。「今回は、雨男なんか居ないよ」と、皆の気持ちも明るくなり始め、三好さんから「私と赤い鳥との関わり合い」と題して、各自発言するようマイクが回されました。「台湾では見たことはあるが、日本ではまだ見てない、今回、日本のアカショウビンをしっかり見たい」などのお話の後に、私にマイクが回って参りました。私は一昨年、日本野鳥の会・東京支部主催の『裏磐梯探鳥会』で、たっぴり観察でき、声・姿をビデオに収めることも出来ました。その三週間後に、同じ場所へ有志数名をご案内しましたが、声すら確認できませんでした。お詫びに、私の作ったアカショウビンのプローチを参加の皆さんに進呈いたしました。それ以来今日まで、その場所では、確認されたとの情報は得られていません。「今夜の宴会にはアカショウシチとイッシュウビンとが出て、麩でご迷惑お掛けすると思いますが、何卒、よろしくお願ひします。」てなことを、申し上げたと思いますが、「鈴木さんが(アカショウビンを)食べちゃたんじゃないか?…」と、粕谷会長の声が飛んで、爆笑が車中に響きました。

順次マイクが回っていくうちに、「この眼ではっきり見るまでは帽子のアカショウビンを絶对外さないつもりです」、「声を聞いたことはあるが、まだ眼にしていない、今回、何としても見たい」、「今回、会いたい一心で、アカショウビンのブローチをザックに付けて来ました」…と、今回の探鳥会に寄せる願望・期待が高まってまいりました。その切実さに、「こりゃやバイ！」とお察しか、粕谷会長は「今回、赤い鳥を見られなくても、担当者を責めるような発言・態度は絶対に慎むこと」とクギをさす按配でした。

そうしているうちに、今回の地元案内役の大関さんが待つ、安曇野わさび園に到着し、早速、園内をご案内いただき、オオヨシキリの大合唱とひっそりと泳いでいるカルガモなどと会え、わさび田も見学いたしました。ここは、ガラス工芸品やいろいろな美術館・記念館も隣接している公園ですので、また来たいなと思いました。

さて、一気に白馬山麓めざし、車は走り出しましたが、雨は上がってはいるものの、山間部は霧が深く、探鳥の条件が極めて悪いので、本日は、予定を変更して、湿原の鳥と、露天風呂の温泉を楽しむことに全員賛成となりました。

まず、木崎湖近くの『居谷里湿原』に入りました。いきなり、サンショウクイが美しい姿で歓迎してくれました。ノジコ・チゴモズなど、惜し気もなく、声・姿を披露してくれました。アヤメ・カキツバタも満開で、歓迎してくれました。咲き終わっていましたが、ミスバショウ・ザゼンソウなど、湿地特有の植物にも感動しました。昼食後、青木湖からの湧水を主な源とする『姫川源流自然探勝園と親海湿原』に入りました。特に、親海湿原では、ハチクマが、ゆっくり旋回しては美しい翼模様を、木に止まっては特徴ある嘴まで、存分に得意なポーズで楽しませてくれました。こちらでも、サワオグルマ・カキツバタが満開で、トキソウも感激を一層高めてくれました。

さて、お待ちかねの、白馬塩の道温泉・露天風呂『倉下の湯』では、ゆっくり、しょっぱい塩の湯で身も心も、柔らかくほぐし、冷たい缶ビールで天国を彷徨う気分になり、「今日は何しに来たのかなあ！」と、誰かが呟きました。ゆったり気分で、早めに白馬村ペンション・夢の山小屋「にほんめ的一步」に到着しました。早速の個別宴会のあと、品数多い当宿ご自慢の料理で、アルコールへの渴きがつのり、「温めの熱燗」などご主人を惑わす言葉も飛び交い、白馬の宴会は盛り上りました。

いつものことではありますが、部屋割りには、黙っていても、心置きなく眠

れるようにとのご配慮で、鼾グループに入れて頂けております。本人自身は、かって鼾の音を聞いたことは有りません。

明け方3時ごろ、トイレに起き、外は真っ暗なので、まだ早いな、とベッドで、うつらうつらしていました。しばらくすると、「アカショウビンとヨタカとジュウイチが鳴いていますよ」と、同室の関根さんが張り詰めたような小さい声で知らせてくれました。「それっ！」と素早く着替えて、双眼鏡を手に外へ飛び出すや、例の「キョロロ キョロロ キョロロン…」のなんとも懐かしい声が聞こえて来ます。どうやら、二方向から聞こえてくるようでした。清純で可愛らしく、透通って転がるような、まろやかで悩ましく、森の精の奏でる管楽器を思わせます。「分かるナア！…アカショウビンに会いたくて、お互いムキになる気持ちは…」と、昨日のバスの発言を思い出したり、しばし、万感、頭をよぎるにまかせつつ、息を殺して、声を運ぶ冷気に全身・全霊、浸りきりました。ふと我に返り、薄暗いのだが、もしかすると姿も、と欲を出し、フィールドスコープを取りに部屋にかえりました。しかし、戻った時にはもう鳴声は有りませんでした。結局、この時、「キョロロ…」を聞いたのは、鼾グループ4人だけだったようです。だいぶ経って、予定の早朝探鳥の時間になりました。大方の人同様、私もアカショウビンで頭一杯でしたが、たっぷり4時間、ご対面の夢を追い続けた結果、「アカショウビンよ、いつの日か、お互いにいい状態で会いましょう。それまで、達者で幸せにナ！」と心を納めました。宿周辺で、ベニバナイチヤクソウやヒメシジミの愛らしい美しさに、心和まされ、そのうえ、宿のご主人の腕によりをかけた、自家製のパンとパンプキンスープの朝食に胃も心も満足し、白馬村ペンションにサヨウナラしました。

さて、今回最後の探鳥地『樽池高原』に到着しました。そこには、ゴルフ場のコース配置図のように、リフトのロープウェイやゴンドラのケーブルウェイがびっしり張りめぐされ、「こんな所に野鳥がいるのか？」と思わせるほど、森がはぎ取られ、裸地となった痛々しい姿を一面に露呈させていました。それでも、ノビタキ・ホオアカ・サンショウクイ・ニューナイスズメなど、声も姿もよく見せてくれました。また、ゴンドラケーブル支柱の鉄パイプに巣づくりし、せっせと餌運びしているコムクドリの健気さに感動させられ、ケーブル下の裸地には、シロバナニガナに心和まされたり、けっこう楽しみました。

「うまい蕎麦を食わず店」と教えられ、先の長野オリンピックで活躍した萩



原兄弟選手の寄せ書きもある、梅池高原手打ちそばの店；『ふるさと』のザルソバ2枚は確かに美味で腹ごたえがありました。

一方、いつも並ザル+100 円のオオザルソバで、ほぼ、満足していた私として、「当店ではオオザルソバの設定は有りません」での倍額ソバには、純朴そうな容貌ながら、その商魂のしたたかさには恐れ入りました。

とりとめなく、楽しかったことを、書き並べてきましたが、バードウォチングをとうして、自然のなかで接する全ての在様・生様に、大いなる感動と生き甲斐を享受させて頂いています。何に増しても、一か所（乗り物、大風呂、食堂、大部屋、等）に集まった、または集められた、同じ目的を持った人間という生きものは、真に、他（野鳥等）を上回る、興味溢れる魅力満点な動物に思えます。特に、貸し切りバスの旅は大好きです。いろんな情報交換ができ、鳥合わせ、反省会も車の中で済ませられます。その上、今回は安い会費で、無事、速く帰れて、担当の三好さん、日野観光自動車の丸山運転手さん、お仲間の皆さん、本当に有り難うございました。心よりお礼申し上げます。最後に、文中、数々の記述のご無礼は平にご容赦の程、お願い申し上げます。



白馬山麓探鳥会（1998年6月6日～7日）とりあわせ結果

参加者：22名  
確認種：55種

確認野鳥	A	B	C	D	E	備考	確認野鳥	A	B	C	D	E	備考
88 カルガモ	○						400 アカハラ					○	
163 ヒクイナ				○			409 ヤブサメ		○	○	○		
119 ハチクマ		◎	◎	○		嘴翼はっきり	410 ウグイス		○	○	○	○	
120 トビ		○		○			416 オオヨシキリ	○					
129 ノスリ				○			422 センダイムシクイ		○				
296 キジバト				○	○		427 キビタキ		◎	◎	○		
300 シュウイチ				○			430 オオルリ		○	○			
302 カッコウ			○	○			438 コガラ		○	○			
303 ツツドリ				○			439 ヒガラ		○	○			
304 ホトトギス				○			440 ヤマガラ		○	○	○		
317 ヨタカ				○			441 シジュウカラ		○	○	○		
320 アマツバメ		○	○	○			442 ゴジュウカラ				◎		
323 アカショウビン				○		声のみ数名	444 メジロ		○	○	○		
326 カワセミ		○					449 ホオジロ		○	○	○	○	
331 アオゲラ				○			452 ホオアカ					◎	
336 アカゲラ			○	○		親子睦し	460 ノジコ		○	○	○		姿声大サビ入
339 コゲラ		○	○				471 カワラヒワ		○	○	○		
344 ヒバリ				○			485 イカル		○	○			
347 ツバメ	○	○	○	○	○		487 ニュウナイスズメ					◎	
350 イワツバメ				○	○		488 スズメ			○	○	○	
354 キセキレイ				○	○		490 コムクドリ					◎	
355 ハクセキレイ				○			493 ムクドリ					○	
365 サンショウクイ		◎	◎	○	○		496 カケス		○				
367 ヒヨドリ		○	○	○	○		503 ハシボソガラス			○	○		
368 チゴモズ		◎					504 ハシブトガラス	○	○	○	○	○	
369 モズ				○									
376 ミソサザイ				○									
385 コルリ				○									
388 ノビタキ					◎								
399 クロツグミ		◎	◎										

入ゲ ッテ 餌多種声帯模写見事

観察日時・場所と感動した鳥以外の生き物

A 6月6日（曇） 9:15～9:45 安曇わさび田

B // （曇） 10:35～13:35 居谷里湿原

C // （曇） 14:00～15:30 姫川源流・親海湿原

D 6月7日（曇） 10:35～13:35 〆ッソソ（白馬村「にほめの一步」）周辺

E // （晴） 10:15～12:20 柵池高原

○ 6月6日の露天風呂は白馬塩の道温泉「倉下の湯」でした。

○ 6月7日の手打ち蕎麦は柵池高原「ふるさと」でした。

日野観光自動車のドライバーは丸山さんでした。

尚、鳥名の番号は98.3以前からのものを使用しています。

（植物）

カヅバ タ・サワグ ルマ

ザゼソリ

カヅバ タ・サワグ ルマ

トキワ

〆ニバ チャクワ

トキワ・蝶ヒメツグミ

シロバナナガサ

## 年々減って行く自然

小助川千恵子

私たちが八王子の陣馬街道付近に超してきたのは二十年前だった  
玄関を掃いていると若い郵便局員さんが恥ずかしそうにそばに来て

「隣に郵便物を入れたいのですが蛇がいて」と言う

見ると お玄関に四十センチほどの蛇がいる

ホウキで脅かすと茂みの中に入って行った

局員さんのお礼の言葉を聞きながら

(自然一杯の所に越して来たなあ)と微笑んだ

夜になるとガヤガヤ にぎやかになった

「この辺も結構さわがしいのね」

受験勉強の娘と話し合っていたら それは水田の蛙の大合唱だった

翌日、愛犬ジュンが狂ったように吠え立てた

近所のジイサマが言われた

「昔のこの辺は蛭が エラ飛んでいたよ もう一匹をイネエな」

庭の竹の子が年々少なくなり とうとう一昨年から一本を顔を出さない。

うぐいすも来なくなって久しい

蛇も蛙も来ない庭にジュンのお墓がある

「ジュンごめんね 一日中蚊取り線香を焚ければよかったのにね」

と マラリヤで死んだジュンに涙して詫げる

ここに来た当時 一年の半分は吊っていた蚊帳を昨年捨てた



## 探鳥日誌（京都深泥池）

阿江範彦

6月上旬、探鳥地ガイドブックに記載されている、京都府の深泥池周辺を散策してきました。

地下鉄北山駅“出口1”から北山通りを横断し、下鴨中通りを北上します。下鴨通りは道路沿いの建物がセットバックしており、歩道が広く快適に歩けます。途中、浄福寺や京都らしい垣根を見ながら歩くこと約20分。深泥池に着きます。

深泥池は、周囲1.5km、面積約9ha。現在でも氷河時代以来の動植物が生息する貴重な池です。1927年に「深泥池生物群集」として国の天然記念物として指定されています。池の中央に浮島が広がり池全体の1/3を占めます。西側と南側が道路に面し、北東側は、松などの既存林が水際まで接し細い道が池の周辺を回っています。

西側の道路は道幅が狭い上に交通量が多くゆっくり観察することは危険です。池の南側から東の方に廻り、既存林の途中で引き返すコースが最適のようです。

池には、ミツガシワ、ヒメコウホネ、ジュンサイなどが繁茂していました。タヌキも生息しているとのこと。

ミツガシワは、3枚の小葉がカシの葉に似ているところから名前がついたとされます、リンドウ科の多年草の水草です。先端に白色または淡紫色を帯びた花をつけます。この植物は氷河期からの生き残りと言われていました。

目的は植物でなく野鳥でしたが、植物も懐かしいものがありました。学童の頃、糸の先に重りをつけて投げその糸を手繰り寄せ取ったヒシです。その実は茹でると栗のような味がしたものです。

当日は、珍しい野鳥は見られませんでした。コゲラの親子やエナガ、シジュウカラの混群約20羽を身近に見ることができました。革靴、スーツ姿で山の中を歩くのも変な気分でした。

その後、上賀茂神社から賀茂川の河川敷を北大路橋まで下り、地下鉄で京都に戻りました。

加茂川の風景には懐かしさがあり、私の好きな風景の一つです。この日は曇り空でしたが、水の香、風の香りまで懐かしく感じられ、香もけしきの一つだと思いました。

(編集メモ)

今年は、梅雨あけなし。梅雨前線影響で雨の多い北陸と東北地方では梅雨あけ宣言が発表されなかった。関東甲信越地方でも8月2日に梅雨あけが発表されたが、気温は低めで天気は曇り空が多く、真夏の熱気を感じる間のないままお盆あけとなった。そのせいか、編集は意外と捗った。

東大大学院の樋口広芳教授の調査によれば、今年は南方から渡ってくるカッコウ、ホトトギスの飛来が例年より1ヶ月近く遅く6月中旬になって見かけるようになり、飛来数は大幅に減ったという。インドネシア・スマトラ島で発生した森林火災が原因という説がありますが詳しいことは分かっていません。本会のデータによると本年だけ減少しているとは判断できない結果がでていますが、調査結果が少しでも役立つことは嬉しいことです。

機関紙の発行も21号となり、回を重ねるたびに充実してくるようです。今回もたくさんの調査結果の報告や探鳥会の感想文があつまり100頁弱の構成となった。調査される方、収集分析される方、執筆される方、ご苦労さまです。

先日、日野の神社でアオバズクの雛鳥を見ました。ケヤキの根元数十cmの所に1羽いまだ産毛の抜けきらない状態の雛鳥でした。数人のカメラマンがしきりにシャッターを切っていました。巣から落ちたのか人為的な行為があったのか分かりませんがネコに襲われなければ良いかと思いました。その後、ヒナは4羽無事巣立ったとのことでした。(N/ae)

カワセミ

1998年8月発行 第21号

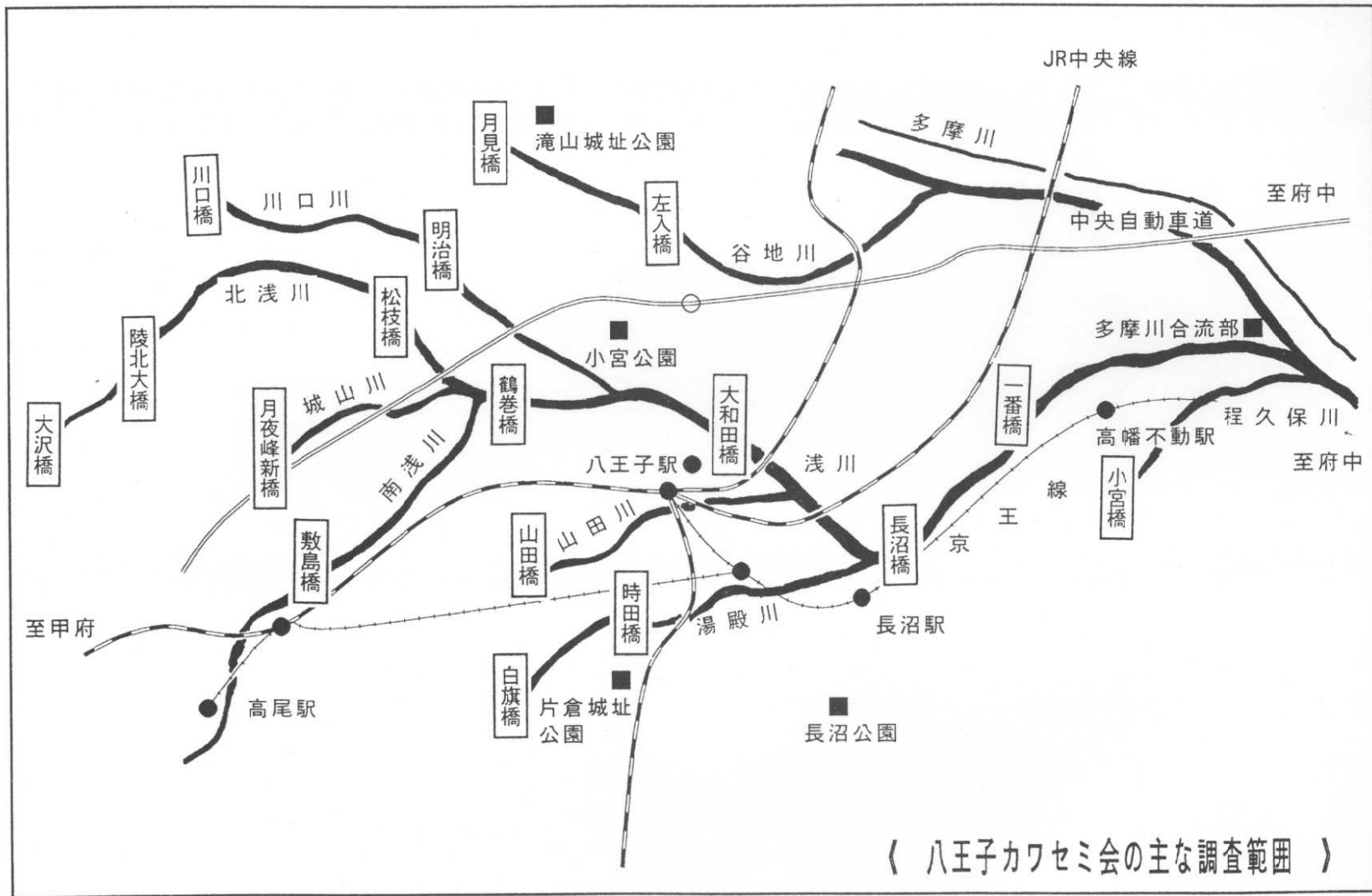
発行 八王子カワセミ会

発行人 粕谷 和夫

編集人 阿江 範彦

連絡先 日野市三沢 2-6-42









**Hachiōji  
Kawasemikai**